

# 消防年報



高知市消防局

(令和5年刊行)



## は し が き

- 1 本年報は高知市消防行政を広く一般に紹介するとともに、将来の参考に資するため、本市消防現勢及び消防業務の内容、火災、救急統計等を収録編さんいたしました。
- 2 本書の人口、世帯数等は高知市総務部総務課及び市民協働部中央窓口センターの統計資料（令和5年4月1日現在）によるものです。
- 3 本書の気象関係資料は高知地方气象台調べによるものです。
- 4 本書の記載内容中、災害に関する統計編については暦年とし、その他の事項について特に年月日を記載しないものについては会計年度としています。
- 5 本書の記載事項でお気付きの点、あるいは御不明の点がございましたら高知市消防局総務課までお問い合わせください。

令和5年7月

高知市消防局

# 高知市消防局 概要



高知市

【面積】  
309.00km<sup>2</sup>

【世帯数】  
164,077世帯

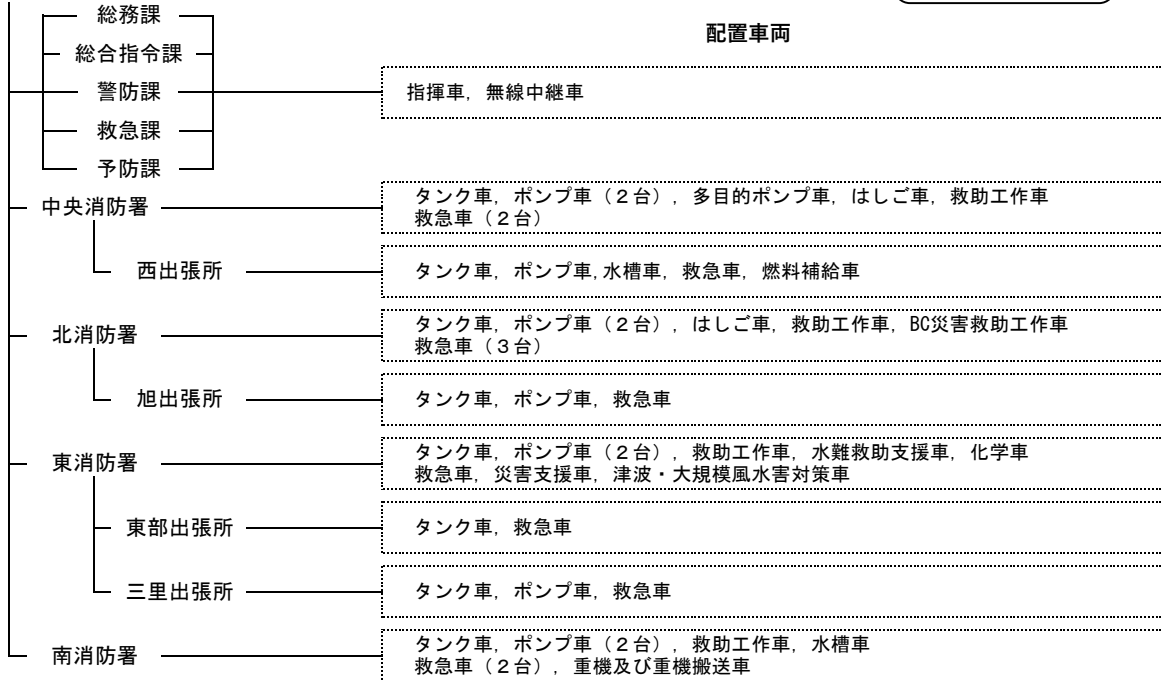
【人口】  
317,639人

## 【 消防局の構成 】

定数 369人  
実数 360人



高知市消防局



## 【 119番等受信件数 】

29,748件 (内, いたづらや間違い等, 本来の目的以外の通報件数 5,114件)

## 【 災害種別出動件数 】

火災

火災件数 101件

建物: 66件, 林野: 5件  
車両: 9件, 船舶: 2件  
その他: 19件



救急

出動件数 20,432件

急病: 13,597件  
一般負傷: 3,277件  
転院搬送: 1,611件

搬送人員 18,183人

死亡: 272人 重症: 2,571人  
中等症: 6,688人 軽症: 8,627人



救助

出動件数 83件

交通事故: 21件  
水難事故: 13件

救助人員 70人

交通事故: 16人  
水難事故: 11人



## 【 主要出火原因 】

1

こんろ

17件

2

放火(放火の疑い含む)

16件

3

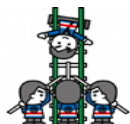
たばこ

14件

## 【 高知市消防団 】

団本部 14

定数 900人  
実数 720人



第1大隊

朝倉 29  
鴨田 15  
旭 16  
鏡 31  
上街 17  
小高坂 22  
高知街 10

第2大隊

北街 12  
江ノ口 23  
初月 26  
下知 13  
秦 23  
一宮 39  
土佐山 30

第3大隊

五台山 19  
三里 37  
介良 18  
布師田 21  
高須 16  
大津 20

第4大隊

南街 24  
潮江 20  
港 15  
長浜 19  
横浜 17  
浦戸 15  
御置瀬 17  
南部 15

第5大隊

春野北 29  
春野東 29  
春野中 29  
春野西 21  
春野南 19

※数字は分団員の実数

## 自治体消防発足後の高知市消防の沿革

年 月 日	沿 革
昭和23. 3. 7	消防組織法施行により自治体消防として発足，帯屋町1番地の警察署の内にあった消防団本部を仮庁舎として同年12月28日消防本部を設置 総務，予防，教養の3係，職員8名，初代消防長に鈴木利茂発令
24. 3. 5	鈴木消防長警察長に転出，後任消防長（2代）に米岡猛馬発令
3. 12	高知市消防署設置 職員定数改正，定数30名（19名増員，本部員兼務），ポンプ車2台配備
25. 4. 6	職員定数改正，定数38名（8名増員，内1名雇員）
7. 1	本部，署庁舎新築落成，所在地が帯屋町2番地となる
10. 1	職員定数改正，定数41名（3名増員）
29. 4. 1	職員定数改正，定数43名（2名増員）
30. 3. 31	中短波無線電話を導入使用開始
10. 31	米岡消防長退任，後任消防長（3代）に佐々木正道発令
31. 5. 1	職員定数改正，定数45名（2名増員）
8. 15	一斉指令装置付消防専用電話設置
32. 6. 1	職員定数改正，定数50名（5名増員）
36. 11. 6	高知市消防審議会設置
37. 4. 1	職員定数改正，定数56名（6名増員）
9. 1	消防審議会答申書提出
10. 1	消防団常勤機関員18名を正員化，職員定数改正，定数74名
38. 4. 1	消防本部を消防局と改称，総務課に庶務係，人事教養係，警防課に消防係，予防係をおき，2課4係となる 職員定数改正，定数89名（15名増員）
10. 1	旭出張所開設・業務開始
12. 1	救急業務を開始，中短波無線を超短波無線に切替る
40. 4. 1	長浜出張所開設・業務開始 職員定数改正，定数103名（14名増員）
8. 3	警防課に通信係をおき2課5係となる
42. 10. 1	職員定数改正，定数117名（14名増員）
11. 15	消防総合庁舎竣工・業務開始
43. 1. 1	消防署機構を3分隊制に改正
44. 10. 1	職員定数改正，定数143名（26名増員）
45. 2. 20	高知市消防署を中消防署と改称
3. 1	東消防署開設・業務開始
10. 1	職員定数改正，定数171名（28名増員）
46. 1. 1	中消防署江ノ口出張所開設・業務開始
1. 31	佐々木消防長退任
2. 1	消防長事務取扱に市長 坂本昭（4代）発令
4. 1	消防長（5代）に佐竹楠馬発令
10. 1	職員定数改正，定数181名（10名増員）

年 月 日	沿 革
昭和47. 4. 1	職員定数改正, 定数186名 (5名増員)
48. 10. 1	職員定数改正, 定数197名 (11名増員)
49. 1. 1	消防局に予防課を新設, 予防係をおき3課6係となる 中消防署長浜出張所増改築, 救急業務を開始
50. 1. 1	職員定数改正, 定数212名 (15名増員)
2. 1	中消防署江ノ口出張所増築
4. 1	職員定数改正, 定数232名 (20名増員)
10. 20	南消防署開設・業務開始, 消防特別救助隊発足, 南消防署長浜出張所となる 中消防署江ノ口出張所救急業務を開始 15メートル級スノーケル車導入 (寄贈)
52. 4. 1	予防課に危険物係をおき3課7係となる 職員定数改正, 定数234名 (2名増員)
53. 4. 1	職員定数改正, 定数236名 (2名増員)
10. 2	消防局に次長を配置
54. 1. 1	職員定数改正, 定数257名 (21名増員)
5. 1	東消防署東部出張所開設・業務開始
55. 12. 26	佐竹消防長退任
12. 27	消防長職務代理者に梅谷淳一発令
56. 3. 4	消防長 (6代) に山本堯茂発令
4. 1	総務課に課長補佐を配置
58. 4. 1	鏡村, 土佐山村の消防事務を受託する 職員定数改正, 定数265名 (8名増員)
6. 1	中消防署旭出張所移転改築, 救急業務を開始
6. 2	山本消防長退任
6. 21	消防長事務取扱に助役土居博 (7代) 発令
8. 1	消防長 (8代) に山崎義郎発令
59. 7. 1	機構改革により消防局警防課, 予防課に課長補佐, 消防署に専従の庶務係, 予防係を 配置, 消防署機構を2分隊制に改める
60. 4. 1	現場指揮体制の強化を図る為, 当直司令制度を発足
61. 3. 31	山崎消防長退任
4. 1	消防長 (9代) に近藤晋発令 職員定数改正, 定数269名 (4名増員)
9. 1	消防救急指令通信システム完成, 運用開始
62. 4. 1	職員定数改正, 定数280名 (11名増員)
10. 1	中消防署西出張所開設・業務開始
63. 3. 31	近藤消防長退任
4. 1	消防長 (10代) に和田隆頼発令 次長2人制を採用, 警防課に通信指令室をおき3課1室7係となる
平成元. 4. 22	4週6休制実施 (昭和62年1月4日から試行)
2. 3. 31	和田消防長退任
4. 1	消防長 (11代) に岡崎素発令 職員定数改正, 定数303名 (23名増員)

年 月 日	沿 革
平成 3. 10. 7	東消防署三里出張所開設・業務開始, 南消防署西出張所となる
4. 4. 1	職員定数改正, 定数311名 (8名増員)
9. 1	週40時間制実施 (平成2年7月15日から試行)
9. 28	50メートル級はしご車導入 (寄贈) 南消防署へ配備
5. 7. 1	高規格救急車導入 (寄贈) 中消防署へ配備・運用開始
6. 4. 1	消防署に署長補佐を配置
7. 3. 31	岡崎消防長退任
4. 1	消防長 (12代) に深田武俊発令 警防課に救急係をおき3課1室8係となる 通信指令室に通信主幹制導入
5. 1	高規格救急車導入東消防署へ配備・運用開始
11. 1	消防広報紙「あんしん119」創刊
8. 2. 1	高知県消防防災航空隊発足 (職員2名派遣)
2. 2	震災対策のため消防局庁舎望楼撤去
2. 21	15メートル級はしご車導入, 中消防署へ配備
4. 1	職員定数改正, 定数333名 (22名増員) 消防局機構 総務課庶務係を庶務企画係に, 警防課消防係, 救急係を警防係, 救急救助係に改称 消防署機構 消防隊を消防係に, 消防特別救助隊を救助係に改称
4. 2	高規格救急車導入, 南消防署へ配備・運用開始
4. 16	消防局庁舎耐震補強工事竣工
9. 2. 28	緊急消防援助隊用災害救助支援車及び支援資機材整備
3. 25	画像伝送システム運用開始
7. 1	高規格救急車導入, 中消防署江ノ口出張所へ配備・運用開始
12. 1	消防局機構 警防課に指揮班及び指揮調査第1係, 第2係をおき, 3課1室1班10係となる
10. 1. 20	高知市消防整備計画策定懇話会設置
2. 1	予防業務システム導入
3. 1	高規格救急車導入, 中消防署旭出張所へ配備・運用開始 中消防署江ノ口出張所に高速救急隊を配備・運用開始
3. 16	中消防署江ノ口出張所増改築
3. 31	深田消防長退任
4. 1	消防長 (13代) に岸野信之発令 消防局機構 警防課通信指令室に消防緊急通信指令システム整備担当をおく 消防署機構 庶務係と予防係を統合し庶務予防係に改称 本署に救急第1係, 救急第2係をおき, 中消防署江ノ口出張所の消防係を救急消防係に改称 女性消防吏員2名採用
8. 13	予防OAシステム稼働

年 月 日	沿 革
平成10. 11. 9	消防広報紙「あんしん119」消防庁長官賞（最優秀賞）受賞
12. 25	高知市消防整備計画策定への提言書提出
11. 1. 1	救急報告システム稼働
3. 1	消防緊急通信指令システム更新（地図検索装置導入） 高規格救急車導入，東消防署東部出張所へ配備・運用開始
4. 1	総務課に消防団係新設，3課11係制に改める 高知市消防音楽隊発足
6. 1	消防職・団員にアポロキャップ導入
12. 1	高知市消防整備計画策定
12. 3. 10	南消防署西出張所高規格救急車配備・運用開始 発信地表示システム・消防団FAX指令書送信システム導入
4. 1	通信指令室を情報指令課に昇格，局機構を4課12係制に改め，通信係3部制勤務導入 消防職員の前倒し採用制度導入
13. 2. 12	第1回高知市消防音楽隊演奏会（追手前高校芸術ホール）
4. 13	救助工作車Ⅲ型東消防署に配備
10. 12	東消防署本署・南消防署長浜出張所高規格救急車配備・運用開始
10. 25	東消防署・南消防署水難救助支援車配備
11. 1	東消防署移転開設・業務開始 救急救助隊発足 女性救急隊員誕生（四国初） 東消防署東部出張所の消防係，救急係を統合し救急消防係とする 中消防署江ノ口出張所の救急消防係を消防係に改称する
14. 3. 31	岸野消防長退任
4. 1	消防長（14代）に武政孝典発令 出張所に救急1係，救急2係をおく
9. 14	東消防署東部出張所新築竣工
11. 9	東消防署三里出張所高規格救急車配備・運用開始
15. 4. 1	総務課にシステム係をおく 警防課指揮班を指揮支援班とし火災調査業務は予防課へ 情報指令課通信係4部制勤務導入 予防課予防係を予防調査係とし原因調査担当をおく
12. 22	30メートル級はしご車導入，東消防署へ配備
17. 1. 1	消防事務受託の鏡村，土佐山村と合併し新「高知市」となる
3. 23	車両動態管理システム導入
3. 31	武政消防長退任
4. 1	消防長（15代）に西川博行発令 警防課指揮支援班を指揮班とし3部制勤務導入
18. 2. 28	西川消防長退任
3. 1	消防長事務取扱に助役 山下司（16代）発令
4. 1	消防長（17代）に武内正久発令
19. 3. 31	武内消防長退任
4. 1	消防長（18代）に山中次男発令 情報指令課通信係を通信班とする 予防課予防調査係を予防係と火災調査係とし火災調査業務は火災調査係へ
20. 1. 1	高知市と春野町が合併，南消防署春野出張所開設 職員定数改正，定数354名（21名増員）



年 月 日	沿 革
平成20. 3. 1	I P・携帯電話位置情報通知システム導入
4. 1	消防職員の再任用制度導入
21. 3. 31	東消防署に高度救助隊発足
4. 1	情報指令課通信班3部制勤務導入
22. 3. 31	山中消防長退任
4. 1	消防長（19代）に高橋政明発令 全署所3部制勤務導入 中消防署旭出張所，江ノ口出張所の消防係，救急係を統合し救急消防係とする 東消防署三里出張所の消防係，救急係を統合し救急消防係とする 南消防署長浜出張所，西出張所の消防係，救急係を統合し救急消防係とする 国際消防救助隊隊員登録（6名）
7. 1	消防局4課総合あんしんセンターへ移転
12. 8	総務省消防庁から支援車I型貸与
23. 3. 8	第1回警防技術発表会開催
3. 14	東日本大震災を受け緊急消防援助隊高知県隊を岩手県大船渡市に派遣（～3.21）
24. 3. 31	高橋消防長退任
4. 1	消防長（20代）に蒲原利明発令 予防課に違反是正担当をおく
6. 5	総務省消防庁から都道府県指揮隊車貸与
10. 26	総務省消防庁から燃料補給車貸与
25. 2. 28	消防救急デジタル無線・共通波を烏帽子山基地局に整備（土佐市消防本部と共同運用）
3. 19	総務省消防庁から無線中継車貸与
4. 1	警防課に防災担当及び救命講習担当をおく
9. 27	第1回高知県緊急消防援助隊受援・応援合同訓練開催
26. 10. 23	指揮広報車（寄贈）平成27年4月1日 南部分署へ配備
12. 1	高知市消防局中堅職員育成計画策定
27. 3. 10	高知市消防署所再編計画2015策定
3. 31	南消防署長浜出張所，春野出張所閉所 高知市消防活動支援員発足
4. 1	南消防署南部分署開設・業務開始（救急車2台運用） 救急医療・広域災害情報システム救急医療連携機能運用開始
28. 1. 19	消防司令補昇任資格試験実施
3. 31	蒲原消防長退任
4. 1	消防長（21代）に宮脇良平発令 総務課に消防署所再編推進担当をおく 消防救急デジタル無線正式運用開始
4. 16	平成28年熊本地震を受け緊急消防援助隊高知県隊統合機動部隊を熊本県阿蘇郡南阿蘇村に派遣（～4.22）
29. 1. 1	女性消防吏員の活躍推進に係る方針策定
2. 1	高知市消防局人材育成基本計画策定
3. 22	総務省消防庁から津波・大規模風水害対策車貸与
3. 31	宮脇消防長退任
4. 1	消防長（22代）に高井祐介発令 情報指令課に指令システム担当をおく 予防課に予防啓発担当をおく

年 月 日	沿 革
9. 21	国際消防救助隊員 1 名をメキシコ合衆国に派遣 (H29.9.20発災 メキシコ地震)
9. 30	中消防署江ノ口出張所閉所
10. 1	北消防署開設・業務開始, 北消防署中出張所・北消防署旭出張所となる
30. 4. 1	職員定数改正, 定数369名 (15名増員) 総務課に人材育成担当をおく 警防課に救助担当をおく
5. 22	第 1 回高知市消防局消防ポンプ操法大会開催
31. 3. 31	高井消防長退任
4. 1	消防長 (23代) に本山和平発令 局機構を 5 課体制に改編 総務課 消防署所再編推進担当・庶務企画係・システム係を政策推進係・財務契約係に改編 人材育成担当・人事教養係を人事管理係・人材育成係に改編 総合指令課 情報指令課・警防課指揮班を統合新設, 指揮指令担当・指令システム係をおく 警防課 防災担当を防災係とし救助担当を救助係とする 救急課 警防課救命講習担当・救急救助係を統合新設, 救急管理係・救急指導係をおく 予防課 違反是正担当を違反是正係とする
令和元. 9. 25	13メートルブーム付多目的消防ポンプ自動車 (MVF) 導入
9. 30	南消防署閉署, 中出張所閉所
10. 1	中央消防署閉署, 南部分署を南消防署に格上げし, 4 署 4 出張所体制に改編 中央消防署・中央消防署西出張所 北消防署・北消防署旭出張所 東消防署・東消防署東部出張所・東消防署三里出張所 南消防署 中央消防署・北消防署・南消防署に特別消防係をおく
2. 3. 10	総務省消防庁から重機及び重機搬送車貸与
2. 3. 31	総務省消防庁から高機能救命ボート貸与
2. 4. 1	消防局に消防団担当次長をおき次長 3 人制とする
2. 7. 7	高知市消防局理念策定
3. 1. 15	高知市・土佐市消防指令業務共同運用協議会設立
3. 4. 1	救急課に特命救急担当をおく 南消防署に特別救助係をおく
4. 4. 1	「高知市消防局総合戦略2022」策定
5. 4. 1	「第 2 版高知市消防局人材育成基本計画」策定

# 目 次

## 〔 総 務 編 〕

### 庶 務

1	消防機関の配置図	1
2	消防局庁舎概要	2
3	高知市消防局の組織	3
4	事務分掌	4
5	署所別面積・人口・世帯数状況	5
6	行政区別人口統計	6

### 予 算

1	一般会計予算と消防予算の推移	7
2	消防予算の構成	7
3	消防予算に対する負担比較	7
4	年度別消防費（当初）予算内訳	8

### 人 事

1	職員の諸手当支給基準	9
	(1) 交替制勤務消防吏員の消防業務手当	
	(2) 毎日勤務消防吏員の消防業務手当	
	(3) その他の手当	
2	職員の年齢調	10
3	職員の勤続年数調	11
4	過去5年間の職員公務災害等取扱状況	12
5	再任用職員	12
	(1) 年度別再任用職員数	
	(2) 年齢別再任用職員数	
	(3) 所属及び業務内容	

### 人 材 育 成

1	過去5年間の職員教養状況	13
2	職員の資格取得（講習修了）者数状況	14

# 目 次

## 音 楽 隊

消防音楽隊・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

## そ の 他

各種協定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

## [ 総 合 指 令 編 ]

## 通 信

1 消防通信系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17～18

2 高所監視カメラ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

(1) 概要

(2) 高所監視カメラネットワーク網

3 通信回線種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

4 消防無線通信施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～21

(1) 無線チャンネルの種別等

(2) 基地局

(3) 移動局

# 目 次

## 〔 警 防 編 〕

### 消 防

- 1 消防機械配備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～23
  - (1) 消防車両等
  - (2) 消防車両等内訳表
- 2 主な消防機材の配備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 3 消防水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
  - (1) 消火栓整備状況表
  - (2) 防火水槽整備状況表
  - (3) その他の水利整備状況表
  - (4) 指定消防水利整備状況表
- 4 要整備メッシュと整備済メッシュの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
  - (1) 要整備メッシュと整備済メッシュの充足数及び充足率
  - (2) 要整備メッシュと整備済みメッシュの状況図

### 救 助

- 1 救助隊編成表（高度・特別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 2 救助隊装備資機材・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

### 防 災

- 1 月別防災講習・防災訓練・防災広報等実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 2 自主防災組織連合会区域別防災講習・防災訓練等実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 3 近年における消防対策本部体制動員配備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

緊急消防援助隊・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

国際消防援助隊・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

# 目 次

## 〔 救 急 編 〕

### 救 急

1	救急業務体制	32
2	救急自動車及び主な資器材	33
3	主な救急資器材配備状況	34
4	高知市の救急及び災害医療機関	35

## 〔 予 防 編 〕

	防火対象物に関する概要説明	36
--	---------------	----

### 予 防

1	防火対象物状況	37～39
	(1) 署所別一覧表	
	(2) 用途別・行政区別一覧表	
	(3) 署所別・階数別建物一覧表	
2	防火対象物立入検査状況	40
3	消防用設備等点検結果報告状況	41
	(1) 特定防火対象物 点検報告状況	
	(2) 非特定防火対象物 点検報告状況	
4	防火管理・統括防火管理状況	42
5	防火対象物定期点検結果報告状況	43
6	消火・避難訓練実施状況	44
	(1) 特定防火対象物 消防訓練実施状況	
	(2) 非特定防火対象物 消防訓練実施状況	
7	防災管理等に係る状況	45
	(1) 特定防火対象物 防災管理等状況	
	(2) 非特定防火対象物 防災管理等状況	
8	各種届出・証明書等受付・交付状況	46
9	火災予防広報等活動状況	47
	(1) 署所別 火災予防広報等活動件数	
	(2) 用途別 消防訓練立会件数	
10	建築同意事務	48
11	防火クラブの状況	49

# 目 次

## 危 険 物

1	行政区別危険物施設一覧表	50
2	署所別 危険物施設数	50
3	消防手数料徴収状況	51
4	署所別・施設別 危険物施設査察実施数	51

[ 災害に関する統計 ]

## 119 番等受信状況

119 番等受信状況	52
------------	----

## 火 災 統 計

1	火災概要	53
2	火災件数	54
3	四季別発生状況	54
4	行政区別発生状況	55
5	建物用途別発生状況	56
6	建物用途別火災件数	56
7	過去 10 年間の火災概況	57
8	死傷者の発生状況	58～59
	(1) 年齢別死者発生状況	
	(2) 死者の発生した火災の一覧	
	(3) 負傷者発生状況	
9	初期消火状況	59
10	月別火災統計	60
11	署所別火災統計	61
12	気象別火災件数	62
13	時間帯別火災件数	62
14	過去 5 年間の覚知別火災状況	63
15	過去 5 年間の曜日別火災件数	63
16	損害額別火災件数	63
17	原因別・火災別件数及び損害額	64
18	原因別・月別件数及び損害額	65

# 目 次

## 救 急 統 計

1	救急出動件数及び搬送人員の推移	66
2	救急出動件数及び平均所要時間の推移	66
3	事故種別の救急出動件数（対前年比）	67
4	事故種別の搬送人員（対前年比）	67
5	事故種別不搬送理由別件数	68
6	不搬送理由別割合	68
7	事故種別傷病程度別搬送人員	69
8	傷病程度別搬送割合	69
9	年齢区分別の搬送人員及び人口当たり搬送割合	70
10	年齢区分別事故種別の搬送人員	70
11	年齢区分別傷病程度別の搬送人員	71
12	急病に係る発生場所別年齢区分別搬送人員	71
13	急病に係る傷病程度別の年齢区分別搬送人員	72
14	急病に係る年齢区分別搬送割合	72
15	急病に係る疾病分類別年齢区分別搬送人員	73
16	急病に係る年齢区分別受傷形態	74
17	一般負傷に係る発生場所別年齢区分別搬送人員	75
18	一般負傷に係る傷病程度別年齢区分別搬送人員	76
19	一般負傷に係る年齢区分別搬送割合	76
20	一般負傷に係る年齢区分別受傷形態	77
21	行政区別事故種別出動件数	78
22	月別事故種別出動件数及び搬送人員	79
23	曜日別事故種別出動件数及び搬送人員	80
24	時刻・事故種別ごとの出動件数	80
25	熱中症に係る年齢区分別発生場所別搬送人員	81
26	熱中症に係る年齢区分・時間帯別発生状況	81
27	熱中症に係る傷病程度別年齢区分別搬送人員	81
28	救急隊員による応急処置等の状況	82
29	応急手当の普及活動	83
30	応急手当有資格者数	83
31	応急手当の実施及び救命効果の推移	84
32	口頭指導・応急手当件数及び応急手当実施率	84
33	署所別出動件数，救急救命士乗車率	85
34	署所別所要時間	85
35	署所別救急救命処置件数	86
36	署所（車両）別地区別出動状況	87



# 目 次

37	署所（車両）別時間帯別出動状況	88
38	事故種別受入照会回数	89
39	急病に係る疾病分類別受入照会回数	89
40	医療機関等への搬送状況	89

## 救 助 統 計

1	救助状況	90
2	事故種別出動人員	90
3	事故種別・発生場所別出動件数	91
4	事故種別・年代別救助人員数	91
5	事故種別月別件数	92
6	事故種別曜日別件数	92
7	時間帯別救助出動件数	93
8	行政区別救助出動件数	94
9	署所別出動状況	94

## [ 消 防 団 編 ]

1	高知市消防団の沿革	95～97
2	高知市消防団編成	98
3	消防団部隊編成表	99
4	消防団庁舎概要	100
5	分団管轄区域	101
6	消防団の分団別定員と実員	102
7	分団別勤続年数状況	103
8	分団別年齢状況	104
9	階級別年齢状況	105
10	階級別勤続年数状況	105
11	実員及び平均年齢の推移	105
12	ポンプ車配置状況	106
13	ポンプ車以外の車両配置状況	107
14	小型動力消防ポンプ配置状況	108
15	団員報酬及び出動手当一覧表	109
16	消防団運営交付金等一覧表	109
17	運営交付金内訳	109
18	過去5年間の分団別火災出動状況	110

# 目 次

19	消防団出動状況	111
20	消防団出動件数の推移	111
21	過去5年間の団員公傷取扱状況	111
22	消防団の装備	112

## [ 参 考 ]

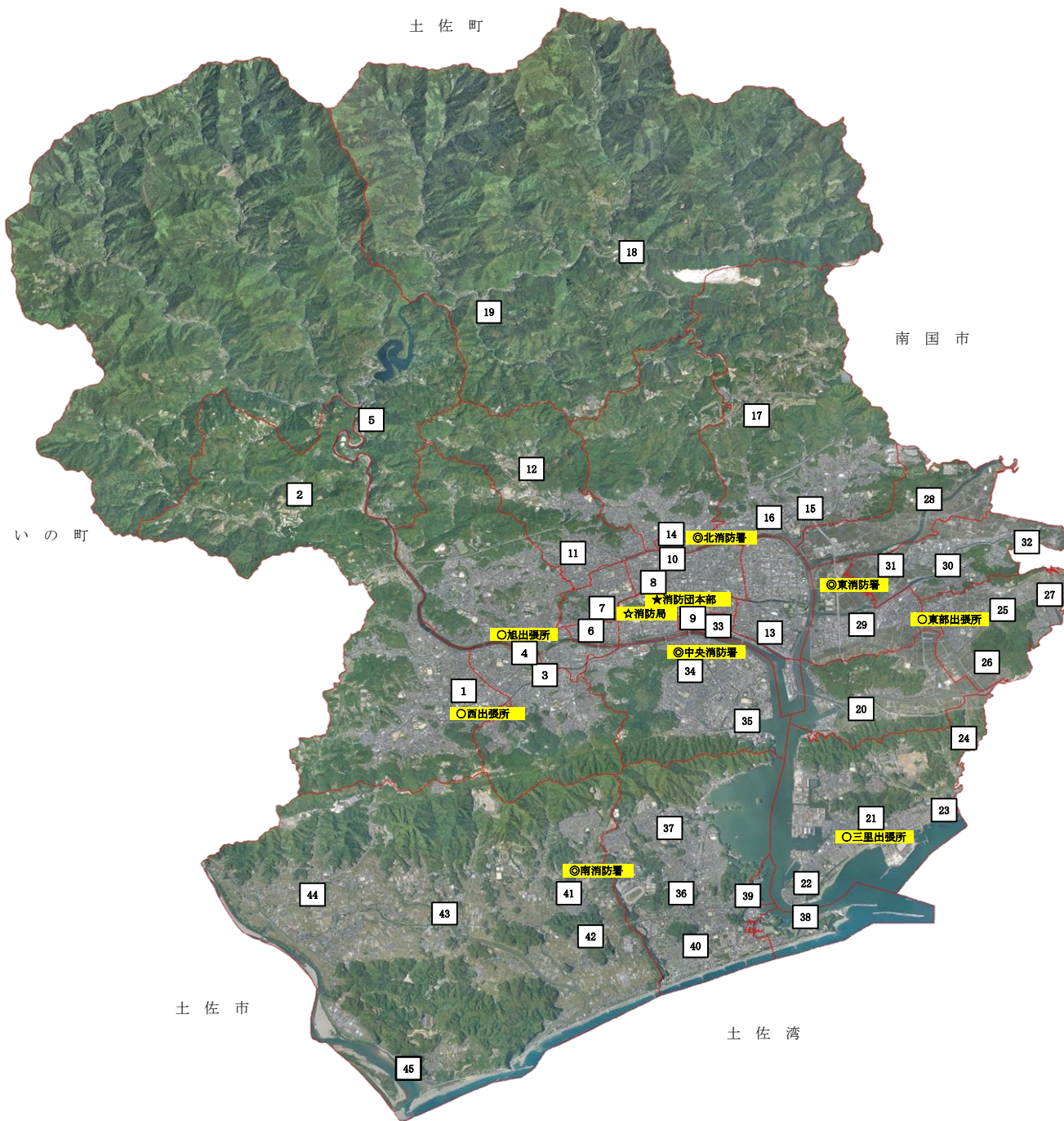
### 四国四県県庁所在地消防現勢等比較

1	市勢	113
2	消防職員の状況	113
3	職員一人当たりの現況	113
4	一般予算と消防予算	113
5	一般予算と消防予算の市民負担	114
6	消防車両の現況	114
7	消防団の現況	115
8	消防無線の現況	115
9	火災状況	115
10	救急状況	115



# 庶務

## 1 消防機関の配置図



1	朝倉分団	13	下知分団	25	介良分団	37	横浜分団
2	" 行川部	14	秦分団	26	" 西部部	38	浦戸分団
3	鴨田分団	15	一宮分団	27	" 介良野部	39	御畳瀬分団
4	旭分団	16	" 薊野部	28	布師田分団	40	南部分団
5	鏡分団	17	" 久重部	29	高須分団	41	春野北分団
6	上街分団	18	土佐山分団	30	大津分団	42	春野東分団
7	小高坂分団	19	" 西部部	31	" 田辺島部	43	春野中分団
8	高知街分団	20	五台山分団	32	" 長崎部	44	春野西分団
9	北街分団	21	三里分団	33	南街分団	45	春野南分団
10	江ノ口分団	22	" 種崎部	34	潮江分団		
11	初月分団	23	" 砂地部	35	港分団		
12	" 円行寺部	24	" 吹井部	36	長浜分団		

### 凡 例

☆	消 防 局
◎	消 防 署
○	消 防 出 張 所
★	消 防 団 本 部
□	消 防 分 団 ・ 部

2 消防局庁舎概要

名称	所在地	敷地面積 (㎡)	庁舎		建築 年月日	非常用発電		備蓄関係		訓練用施設	
			延床面積 (㎡)	構造		稼働時間(ℎ)	浸水対策	自家給油施設(ℓ)	職員用備蓄食糧 食糧(食) 水(本)		
消防局	高知市丸ノ内一丁目7番45号 総合あんしんセンター5F TEL 822-8151 FAX 824-5082	9,242.87 (別棟 498.91)	12,225.57 (5F 1,810.00) (別棟 498.91)	鉄筋コンクリート造5階建 (免震構造、一部3階) 別棟 鉄骨造2階建	平成22年3月10日 (消防局移転) 平成22年7月1日	指令機器 185 庁舎 128 ※地下タンク備蓄時	・高さ対策 ・防水対策	／	654	429	訓練塔 (394.94㎡) 鉄筋コンクリート造(地下1階・地上10階建) ・はしご車用放水施設 ・正気救助訓練スペース
中央消防署	高知市薬山町4番5号 TEL 856-9902 FAX 856-9903	3,536.25	2712.15 (別棟 622.8)	鉄筋コンクリート造4階建	令和元年6月19日	82 ※地下タンク備蓄時	・高さ対策 ・防水対策	／	373	318	訓練塔 (394.94㎡) 鉄筋コンクリート造(地下1階・地上10階建) ・はしご車用放水施設 ・正気救助訓練スペース
西出張所	高知市朝倉南町8番55号 TEL 843-8313 FAX 843-8119	1,000.15	1,693.02	鉄筋コンクリート造3階建 (一部4階)	昭和62年8月31日	15	・高さ対策 ・防水対策	／	164	132	／
北消防署	高知市薬南町一丁目4番63-22号 TEL 802-6021 FAX 802-6022	3,900.32	3,604.19	鉄筋コンクリート造6階建 (一部鉄骨造)	平成29年6月9日	60 ※地下タンク備蓄時	・高さ対策 ・防水対策	【総容量30,000ℓ】 軽油：18,000 ガソリン：12,000	406	330	訓練塔 (297.28㎡) 鉄筋コンクリート造(地上5階建) ・バンクーキータラックス訓練設備 ・山岳救助訓練スペース (S区訓練棟 (138.26㎡) 操縦塔 (2区訓練棟) ・浸水応付訓練場 ・倒壊家屋模型
旭出張所	高知市本宮町277番地1 TEL 844-3961 FAX 844-1190	600.08	693.63	鉄筋コンクリート造3階建 (地下1階)	昭和58年5月23日	庁舎 7.3 指令機器 6.1 予備 5	・高さ対策 ・防水対策	／	184	150	／
東消防署	高知市高須砂地2番地2 TEL 866-3119 FAX 866-3159	2,667.28	3,208.91	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建	平成13年11月1日	108 ※地下タンク備蓄時	・高さ対策 ・防水対策	／	321	264	訓練塔 (A塔：310.26㎡、B塔：91.37㎡、C塔：29.85㎡) 鉄筋コンクリート造 (A塔：地上6階建、B塔：地上3階建、C塔：地上2階建) ・消防救助技術指導会用訓練用施設 ・潜水訓練用プール (掘削5×3m、深さ約6m) (消防救助技術指導用規格)
東部出張所	高知市高須東町8番21号 TEL 882-3505 FAX 880-3283	461.57	479.13	鉄筋コンクリート造3階建 (一部鉄骨)	平成14年9月14日	4.6	—	／	96	78	／
三里出張所	高知市仁井田4196番地1 TEL 847-6773 FAX 847-2119	954.39	768.27	鉄筋コンクリート造2階建	平成3年9月5日	庁舎 10 指令機器 6.1	・高さ対策 ・防水対策	／	164	132	／
南消防署	高知市春野町芳原1015番地 TEL 821-9560 FAX 821-9561	4,649.23	1,537.23	鉄筋コンクリート造3階建	平成27年3月27日	60 ※地下タンク備蓄時	・高さ対策 ・防水対策	【総容量20,000ℓ】 軽油：12,000 ガソリン：8,000	299	240	訓練塔 (369.07㎡) 鉄筋コンクリート造(地上4階建) ・機庫火災訓練施設 ・共同住宅想定訓練室 ・躯体検地下想定室 ・CS訓練場
消防団本部	高知市水国寺町6番18号 TEL 872-0690 FAX 872-0692	356.64	723.25	鉄筋コンクリート造3階建 (地下1階) (高知衛分団併設)	平成元年8月29日	7.3	—	／	39	60	／

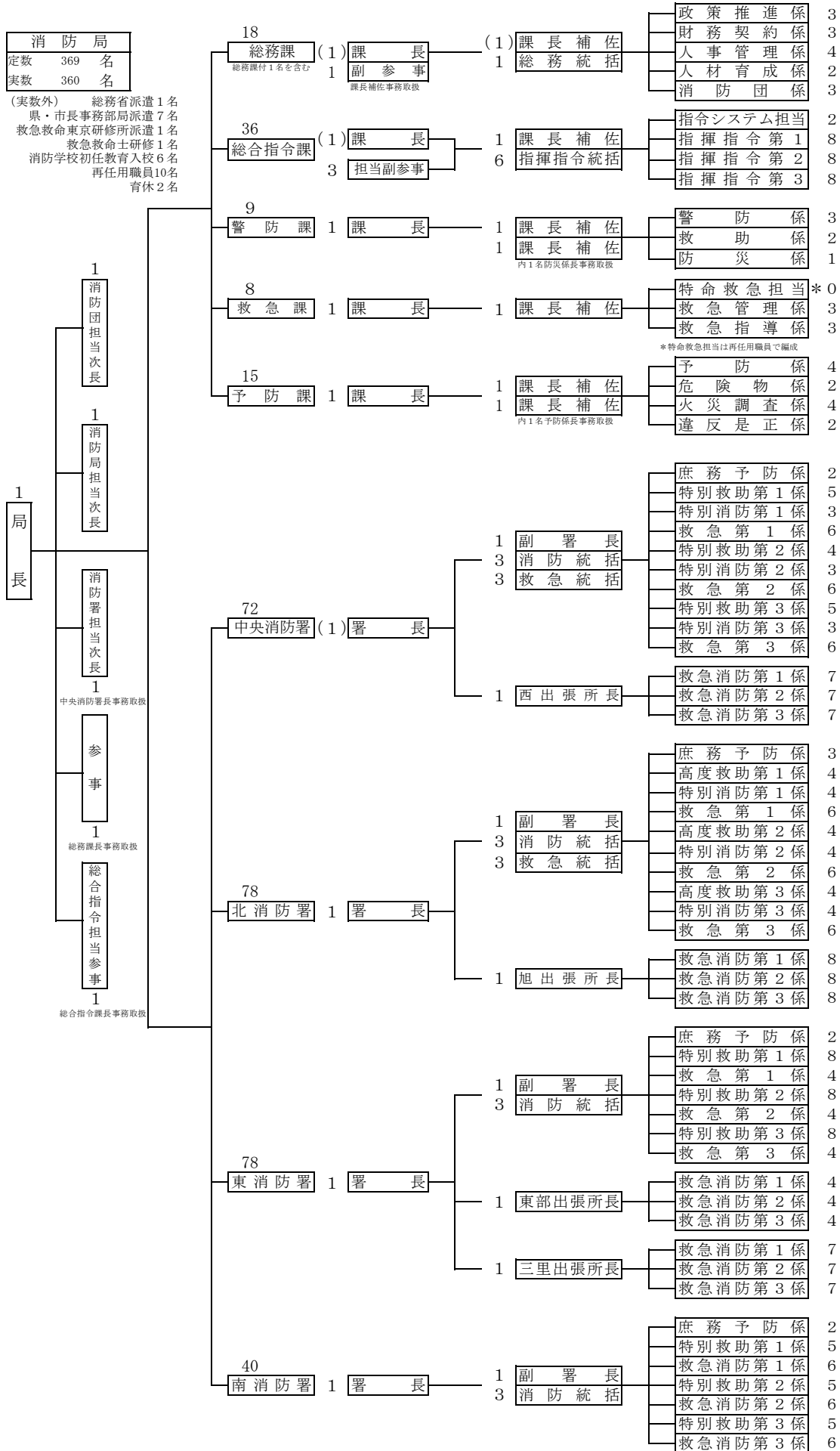
【飲料種別に係る協定】  
 災害時における燃料の供給に関する協定  
 ※高知県石油業協同組合(平成11年12月1日)

【浸水対策】  
 高さ対策 ・想定される浸水深より高い場所に、非常用電源装置等が設置されている。  
 防水対策 ・水が入らない建物構造(区画)になっている。  
 ・水が入っても非常用電源装置が作動するように措置されている。

食糧 [各所職員数の80% (職団にたどり着ける想定人数) ] × 3食 × 3日分  
 水 [各所職員数の80% (職団にたどり着ける想定人数) ] × 3L × 5日分  
 2L/本

### 3 高知市消防局の組織

(令和5年4月1日)



4 事務分掌

【高知市消防局の組織に関する規則・高知市消防署の組織に関する規程】

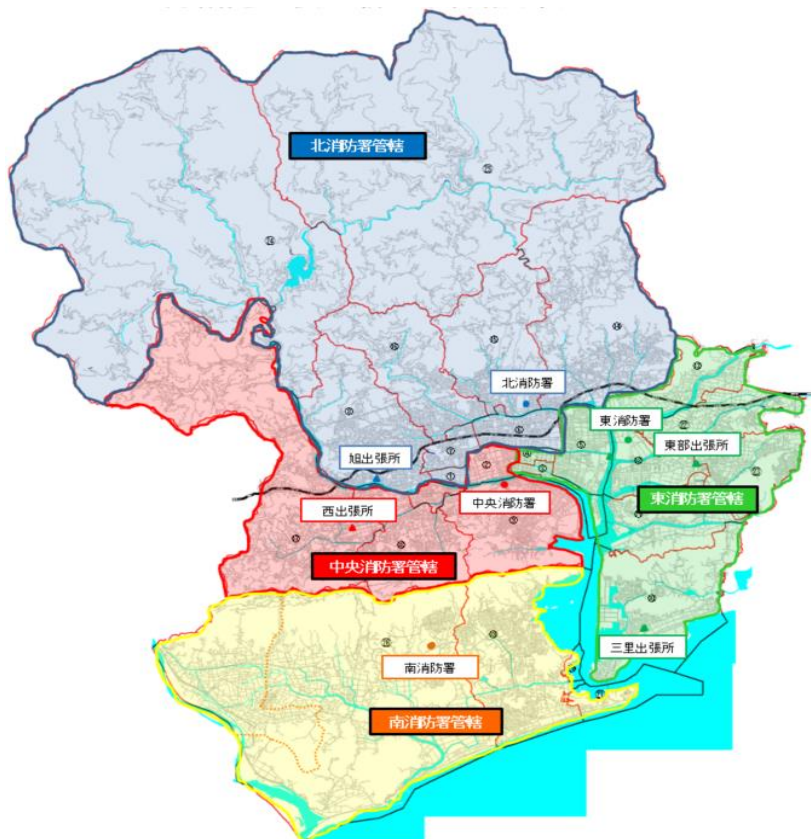
<p>総務課</p>	<p>(1) 消防の総合企画及び調整に関すること。  (2) 条例，規則及び諸規程に関すること。  (3) 公印に関すること。  (4) 文書に関すること。  (5) 財務に関すること。  (6) 渉外に関すること。  (7) 消防団に関すること。  (8) 職員の人事，給与，研修及び福利厚生に関すること。  (9) 消防音楽隊に関すること。  (10) 消防業務システム及び消防局内のネットワークに関すること。  (11) 他の課の所管に属しない事項に関すること。</p>
<p>総合指令課</p>	<p>(1) 水害，火災等災害の警戒，防御等に関すること。  (2) 災害現場における指揮に関すること。  (3) 消防通信指令システムに関すること。  (4) 災害通報の受付及び出動指令に関すること。  (5) 災害情報の収集及び消防活動の支援に関すること。  (6) 気象情報の収集及び伝達に関すること。  (7) 消防通信施設の整備及び保全に関すること。  (8) 広域応援活動に関すること。</p>
<p>警防課</p>	<p>(1) 水害，火災等災害の警戒，防御等の計画に関すること。  (2) 消防機械器具に関すること。  (3) 消防水利に関すること。  (4) 救助業務に関すること。  (5) 土地開発同意に関すること。  (6) 防災業対策に関すること。  (7) 地域防災に関すること。  (8) 国際消防救助隊に関すること。  (9) 緊急消防援助隊に関すること。</p>
<p>救急課</p>	<p>(1) 救急業務に関すること。  (2) 救急救命士に関すること。  (3) 救命講習に関すること。</p>
<p>予防課</p>	<p>(1) 火災予防対策及び広報に関すること。  (2) 防火対象物及び防火管理に関すること。  (3) 消防用設備に関すること。  (4) 建築同意に関すること。  (5) 火災原因，損害調査及び被災等証明に関すること。  (6) 危険物規制等に関すること。  (7) 違反処理に関すること。  (8) 予防関係団体との調整及び渉外に関すること。</p>
<p>消防署</p>	<p>(1) 公印に関すること。  (2) 文書に関すること。  (3) 署員の人事，服務，研修及び福利厚生に関すること。  (4) 署の庶務に関すること。  (5) 防火対象物及び防火管理に関すること。  (6) 火災予防対策及び広報に関すること。  (7) 自衛消防隊の訓練指導に関すること。  (8) 消防用設備に関すること。  (9) 自主防災組織に関すること。  (10) 危険物規制等に関すること。  (11) 水害，火災の予防，警戒及び鎮圧に関すること。  (12) 管轄及び受持区域内の警防対策等に関すること。  (13) 救急及び救助業務に関すること。  (14) 署，所内勤務に関すること。  (15) 機械器具の維持管理に関すること。  (16) 火災の原因及び損害の調査等に関すること。</p>

5 署所別面積・人口・世帯数状況

署所	区分	管轄面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人口	男	女
中央消防署		42.374	47,435	88,981	41,782	47,199
	中央署	10.678	20,539	36,066	16,778	19,288
	西出張所	31.696	26,896	52,915	25,004	27,911
北消防署		169.285	56,962	112,263	52,075	60,188
	北署	99.317	40,393	79,489	36,998	42,491
	旭出張所	69.968	16,569	32,774	15,077	17,697
東消防署		39.066	40,337	76,340	35,620	40,720
	東署	18.603	27,616	50,752	23,522	27,230
	東部出張所	5.222	5,910	12,562	5,926	6,636
	三里出張所	15.241	6,811	13,026	6,172	6,854
南消防署		57.907	19,343	40,055	19,002	21,053
	南署	57.907	19,343	40,055	19,002	21,053
計		309.00	164,077	317,639	148,479	169,160

※ 管轄面積について

平成28年、面積測定方法の変更に伴い高知市の面積が309km<sup>2</sup>に変更されたが、最新の町丁別面積が不明のため、平成28年4月1日時点の町丁別面積を参考にして、おおよその管轄面積を算出したもの。このため、管轄面積を合算しても309km<sup>2</sup>にはならない。





## 6 行政区別人人口統計

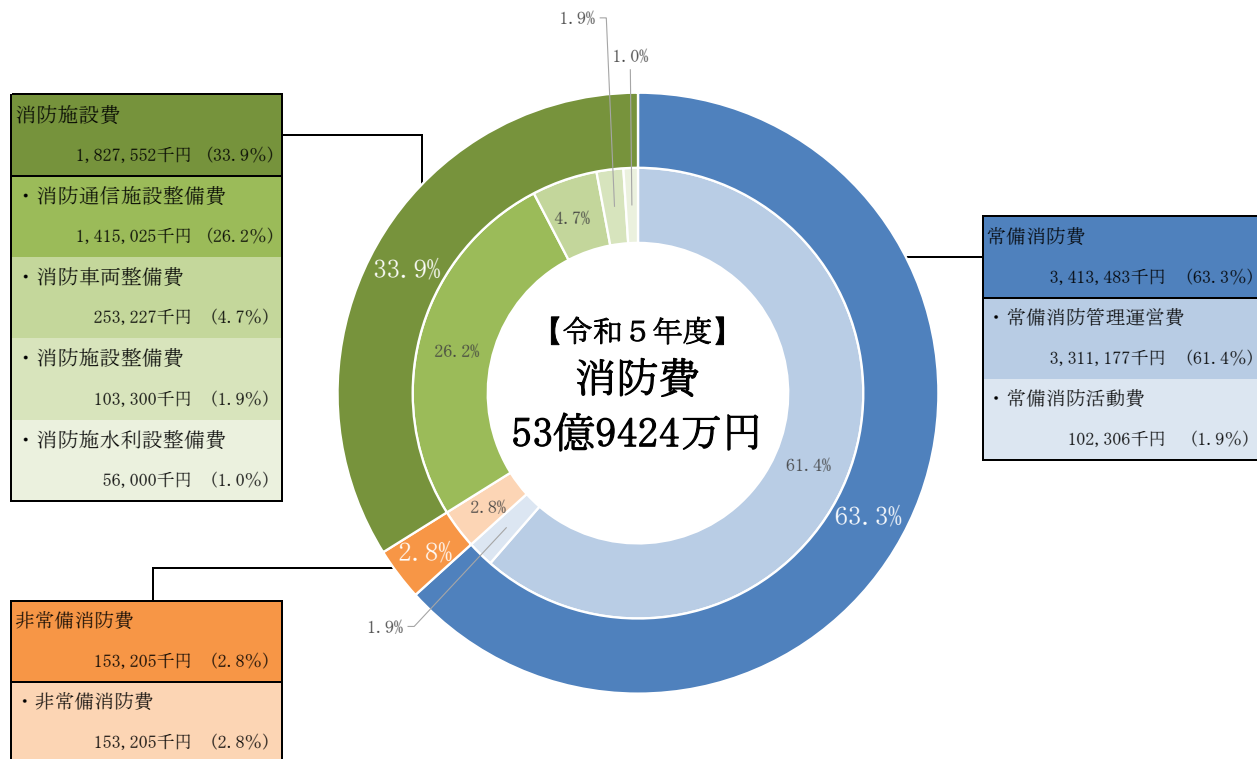
行政区	令和5年4月1日住民基本台帳			
	世帯数	人口	男	女
上 街	1,779	2,974	1,287	1,687
高 知 街	3,305	5,454	2,415	3,039
南 街	1,902	3,095	1,363	1,732
北 街	2,205	3,664	1,733	1,931
下 知	8,822	15,691	7,197	8,494
江 ノ 口	9,791	17,134	7,578	9,556
小 高 坂	4,823	9,037	4,080	4,957
旭 街	16,802	33,532	15,476	18,056
潮 江	14,683	25,746	12,142	13,604
三 里	5,691	10,858	5,186	5,672
五 台 山	1,120	2,168	986	1,182
高 須	6,522	12,172	5,693	6,479
布 師 田	696	1,377	687	690
一 宮	12,553	24,787	11,876	12,911
秦	8,089	16,549	7,716	8,833
初 月	7,217	15,652	7,295	8,357
朝 倉	14,003	27,354	13,011	14,343
鴨 田	12,893	25,561	11,993	13,568
長 浜	12,322	25,177	11,933	13,244
御 豊 瀬	184	263	119	144
浦 戸	446	784	359	425
大 津	4,977	10,183	4,863	5,320
介 良	5,910	12,562	5,926	6,636
鏡	539	1,134	535	599
土 佐 山	412	900	439	461
春 野	6,391	13,831	6,591	7,240
計	164,077	317,639	148,479	169,160

# 予算

## 1 一般会計予算と消防予算の推移

区分 年度	一般会計予算 (千円)	消 防 予 算 (千円)			重点施策	
		合計 (比率%)	常備消防費	非常備消防費		消防施設費
令和元年度	148,000,000	4,036,246 ( 2.73 %)	3,323,817	150,129	562,300	(仮称) 中央消防署建設事業 (仮称) 中央消防署整備事業 (仮称) 横浜分団屯所建設事業 (3月補正含む)
令和2年度	147,600,000	3,907,758 ( 2.65 %)	3,390,586	150,572	366,600	御登瀬分団屯所建設事業 南部分団屯所建設事業 消防対策本部機能強化事業
令和3年度	146,100,000	3,798,732 ( 2.60 %)	3,369,137	146,185	283,410	消防指令システム共同運用整備事業 南部分団屯所建設事業 介良分団介良野部屯所整備事業
令和4年度	151,000,000	3,825,531 ( 2.53 %)	3,350,315	154,373	320,843	消防指令システム共同運用整備事業
令和5年度	148,500,000	5,394,240 ( 3.63 %)	3,413,483	153,205	1,827,552	消防指令システム共同運用整備事業 消防署所建設事業

## 2 令和5年度 消防予算の構成



(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある

## 3 消防予算に対する負担比較

区分 年度	消防予算 (千円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	負 担 (円)	
				市民一人当り	一世帯当り
令和元年度	4,036,246	328,283	163,182	12,295	24,735
令和2年度	3,907,758	325,706	163,448	11,998	23,908
令和3年度	3,798,732	323,544	164,143	11,741	23,143
令和4年度	3,825,531	320,722	164,084	11,928	23,314
令和5年度	5,394,240	317,639	164,077	16,982	32,876

4 年度別消防費（当初）予算内訳

細目	事業名	令和5年度(千円) (A)	令和4年度(千円) (B)	前年度差額(千円) (A)-(B)
	<b>消防費合計</b>	<b>5,394,240</b>	<b>3,825,531</b>	<b>1,568,709</b>
01	<b>常備消防費</b>	<b>3,413,483</b>	<b>3,350,315</b>	<b>63,168</b>
539	常備消防管理運営費	3,311,177	3,239,409	71,768
001	職員給与費	3,064,323	2,991,209	73,114
002	会計年度任用職員給与費	9,706	4,753	4,953
003	管理運営費	72,838	77,535	▲ 4,697
004	職場研修費	1,701	1,751	▲ 50
020	施設管理運営費	116,226	112,960	3,266
021	消火栓維持管理費	11,000	12,000	▲ 1,000
022	消防無線システム管理運営費	25,420	31,766	▲ 6,346
030	高所監視カメラ管理運営費	263	7,435	▲ 7,172
033	消防指令システム管理運営費	9,700	0	9,700
540	常備消防活動費	102,306	110,906	▲ 8,600
001	常備消防活動費	86,077	92,198	▲ 6,121
031	消防音楽隊推進事業費	390	395	▲ 5
033	救助隊強化推進事業費	4,909	5,720	▲ 811
034	地域防災力育成強化事業費	1,219	304	915
035	常備消防活動強化事業費	791	1,219	▲ 428
036	救急救命講習事業費	2,746	3,000	▲ 254
038	常備消防活動衛生用品等確保事業費	0	581	▲ 581
090	緊急消防援助隊等活動体制整備事業費	2,362	3,677	▲ 1,315
093	救急安心センター事業費負担金	3,812	3,812	0
02	<b>非常備消防費</b>	<b>153,205</b>	<b>154,373</b>	<b>▲ 1,168</b>
544	非常備消防費	153,205	154,373	▲ 1,168
001	団員報酬	60,882	66,499	▲ 5,617
002	管理運営費	29,886	28,683	1,203
030	消防団員等公務災害補償費	3,661	3,661	0
031	消防団員退職報償金	18,381	16,303	2,078
032	消防団員等公務災害補償基金掛金	19,644	19,644	0
033	消防団運営交付金	18,101	18,191	▲ 90
090	消防団安全装備品等緊急整備事業費	2,650	1,392	1,258
03	<b>消防施設費</b>	<b>1,827,552</b>	<b>320,843</b>	<b>1,506,709</b>
546	消防車両整備費	253,227	239,900	13,327
061	○消防ポンプ自動車等整備事業費	221,500	204,600	16,900
063	○災害救助ボート購入費	500	2,300	▲ 1,800
072	○救急高度化推進事業費	31,227	33,000	▲ 1,773
547	消防通信施設整備費	1,415,025	0	1,415,025
055	○消防指令システム共同運用整備事業費	1,415,025	0	1,415,025
549	消防水利施設整備費	56,000	56,000	0
052	○消火栓設置費	52,000	33,000	19,000
094	○防火水槽設置費	4,000	23,000	▲ 19,000
550	消防施設整備費	103,300	24,943	78,357
050	○消防署所建設事業費	89,600	0	89,600
051	○消防署所施設整備事業費	13,700	0	13,700
053	○消防団本部施設整備事業費	0	21,000	▲ 21,000
061	○東消防署施設整備事業費	0	2,043	▲ 2,043
065	○消防分団屯所建設事業費	0	1,900	▲ 1,900

# 人事

## 1 職員の諸手当支給基準

### (1) 交替制勤務消防吏員の消防業務手当

支給基準	金額	支給対象業務
1 勤務	550円	特別救助隊の業務のために出動した職員(①)
1 勤務	770円	①のうち、消防車の運転手であって機関整備に従事した職員
1 勤務	780円	潜水器具を着用して潜水業務に従事した職員
1 勤務	360円	防火防災活動のために出動した職員・消防通信の業務に従事した職員(②)
1 勤務	540円	②のうち、消防車の運転手であって機関整備に従事した職員
1 勤務	360円	救急車による救急業務のために出動した職員(③)
1 勤務	540円	③のうち、救急車の運転手であって機関整備に従事した職員
1 勤務	590円	③のうち、救急救命士の資格を有する職員

その勤務1回につき、上記に掲げる区分に応じ、当該区分に定める額を支給する。ただし、当該勤務1回になされた業務が2つ以上の消防業務手当の支給要件に該当することとなる場合は、その支給額の上位の区分による消防業務手当を、その支給額の区分が同じときは、その主たる業務に対する消防業務手当を支給するものとする。

### (2) 毎日勤務消防吏員の消防業務手当

支給基準	金額	支給対象業務
1 勤務	110円	防火防災活動のために出動した職員
1 勤務	220円	上欄のうち、消防車の運転手であって機関整備に従事した職員
1 勤務	110円	消防通信の業務に従事した職員

### (3) その他の手当

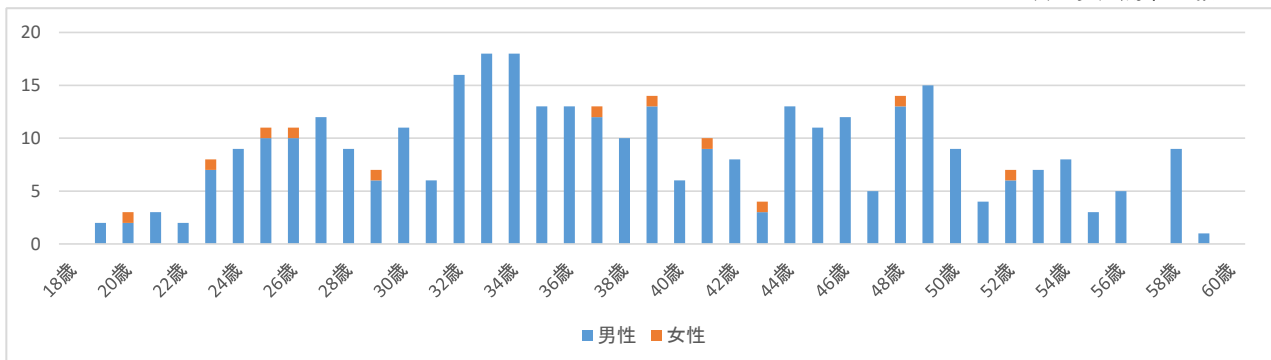
名称	支給基準	金額	支給対象業務
消防夜間業務手当	1 回	410円	正規の勤務時間内の業務が深夜において行われる業務 (深夜勤務時間2時間未満)
		730円	正規の勤務時間内の業務が深夜において行われる業務 (深夜勤務時間2時間以上4時間未満)
		1,100円	正規の勤務時間内の業務が深夜において行われる業務 (深夜勤務時間4時間以上)
消防宿日直手当	1 回	6,100円	消防職員の宿日直
夜間勤務手当	1 当務 25/100×勤務時間		正規の勤務時間として深夜に行われる業務の時間

2 職員の年齢調

(令和5年4月1日)

階級 年齢	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	その他	合計
	実 数	1	5	10	39	121 (2)	90 (2)		92 (5)	2 (2)
18										0
19								2		2
20								3 (1)		3 (1)
21								3		3
22								2		2
23								8 (1)		8 (1)
24								9		9
25								11 (1)		11 (1)
26								11 (1)		11 (1)
27								12		12
28								9		9
29								7 (1)		7 (1)
30						4		7		11
31						3		3		6
32						13		3		16
33						17		1		18
34						18				18
35					4	8		1		13
36					7	6				13
37					9	4 (1)				13 (1)
38					8	2				10
39					9	5 (1)				14 (1)
40					5	1				6
41					8 (1)	2				10 (1)
42					5	3				8
43					3				1 (1)	4 (1)
44					12	1				13
45					11					11
46				1	9	2				12
47				1	3	1				5
48			1	5	8 (1)					14 (1)
49			1	4	10					15
50			1	5	3					9
51				2	2					4
52				4	2				1 (1)	7 (1)
53			2	4	1					7
54		1	3	4						8
55				3						3
56		2	2	1						5
57										0
58		2		5	2					9
59	1									1
60										0
平均年齢	59.0	56.4	52.7	52.0	43.2	35.0	0.0	26.2	47.5	38.3

※( )は女性職員の内数

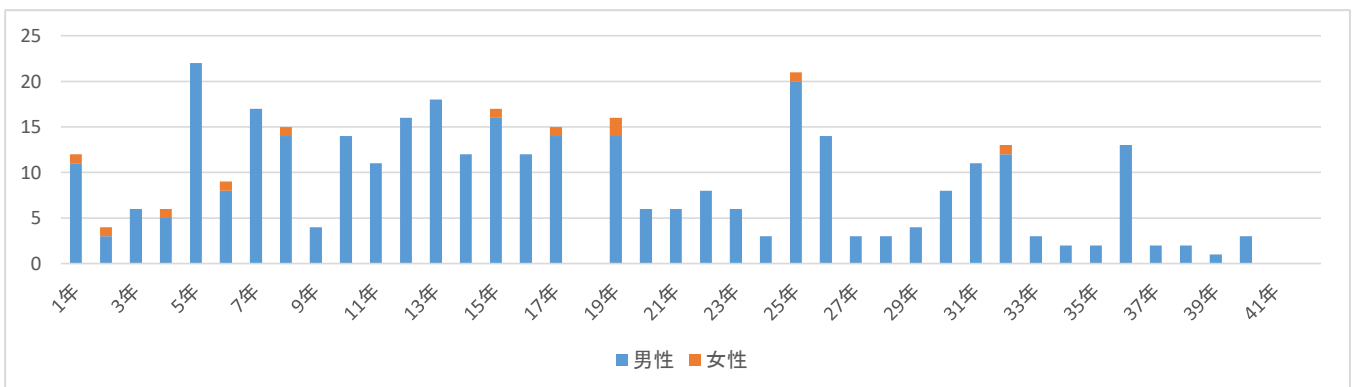


3 職員の勤続年数調

(令和5年4月1日)

階級 年数	階級										合計
	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	その他		
実 数	1	5	10	39	121 (2)	90 (2)		92 (5)	2 (2)	360 (11)	
1								12 (1)		12 (1)	
2								4 (1)		4 (1)	
3								6		6	
4								6 (1)		6 (1)	
5								22		22	
6								9 (1)		9 (1)	
7								17		17	
8						9		6 (1)		15 (1)	
9						2		2		4	
10						10		4		14	
11						8		3		11	
12						16				16	
13					7	10		1		18	
14					8	4				12	
15					8	9 (1)				17 (1)	
16					7	5				12	
17					9	6 (1)				15 (1)	
18										0	
19					11 (1)	4			1 (1)	16 (2)	
20					6					6	
21					4	2				6	
22				1	6	1				8	
23				1	4	1				6	
24					3					3	
25			1		18 (1)	2				21 (1)	
26				2	11	1				14	
27			1	1	1					3	
28				1	2					3	
29				2	2					4	
30			1	5	2					8	
31			1	8	2					11	
32			1	5	6				1 (1)	13 (1)	
33				2	1					3	
34				1	1					2	
35				2						2	
36	1	2	3	6	1					13	
37		1	1							2	
38		1	1							2	
39					1					1	
40		1		2						3	
41										0	
42										0	
平均年数	36.0	37.4	32.8	31.6	21.7	13.5	0.0	5.4	25.5	17.2	

※( )は女性職員の内数



4 過去5年間の職員公務災害等取扱状況

	現場			訓練中	通勤災害	その他	合計
	火災	救助	救急				
平成30年度	1			2	1		4
令和元年度				1	2		3
令和2年度		3					3
令和3年度				1		2	3
令和4年度				1			1

5 再任用職員

(1) 年度別再任用職員数 【短時間毎日勤務・条例定数外】

階級 年度	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	合計
令和2年度	1	2	1	6	10
令和3年度	1	1	1	8	11
令和4年度	1	1	1	5	8

※ 退職時階級から2階級引き下げ（消防士長まで）

(2) 年齢別再任用職員数 (令和5年4月1日)

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	合計
60歳			2	1	3
61歳					
62歳			1	2	3
63歳			1		1
64歳			1	2	3
65歳					

※ (R5.4.1 制度改正)  
退職時：消防司令長～消防正監 → 消防司令補  
消防士長～消防司令 → 消防士長

(3) 所属及び業務内容

所属	係・担当	主な業務内容	合計
総務課	消防団係	消防団事務	2
総合指令課	指令システム担当	指令システム整備	1
救急課	救急指導係	救命講習	1
	特命救急担当	転院搬送	4
中央・東消防署	庶務予防係	庶務予防事務	2

# 人材育成

## 1 過去5年間の職員教養状況

研修機関		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高知県消防学校	初任教育		22	7	6	4	12
	救助科		3	3	開催中止	4	4
	救急科		22	7	6	4	12
	予防査察科(隔年開催)			3		2	
	火災調査科(隔年開催)		3		2		3
	警防科		3	4	4 (業務都合により他1派遣中止)	3	3
	幹部科		3	5	2 (他1途中退校)	派遣中止	4
	火災性状体験研修		3	4	29	22	29
	火災性状指導者研修				4	2	5
	若年層研修		3	8	8	8	6
	予防査察指導者育成研修(隔年開催)		3		4		4
	地域防災指導者研修			1	1	2	2
小計			65	42	66	51	84
消防大学校	幹部科		1	1	1		1
	警防科			1			1
	救助科		1			1	1
	救急科			1			
	予防科			1	1		1
	危険物科					派遣中止	
	火災調査科						
	指揮隊長コース		2	2	2	1	1
	高度救助・特別救助コース		1	開催中止	1		1
	NBCコース		1				1
	自主防災育成コース					1	
	消防団活性化コース		1		派遣中止		1
	女性活躍推進コース						
査察業務マネジメントコース							
小計			7	6	5	3	8
その他の研修	局内企画	階層別研修	42	53	60	46	33
		潜水士研修 (資格取得に伴うもの及びスキルアップ)	10	10	6	10	
		ハラスメント・人権研修		35	22		
	外部関係機関企画	機関員関係研修	15	14	16	17	41
		潜水技術研修	1	1		1	
		潜水業務管理研修	1	1	派遣中止	派遣中止	
		救急救命士業務実地修練		1		1	1
		違反是正	1	1	1	1	1
		惨事ストレス研修	3	4	4		4
小計			73	120	109	76	80
合計			145	168	180	130	172

※ 「その他の研修」の「外部関係機関企画」については研修に専門性があり、継続して実施しているものを掲載。



2 職員の資格取得（講習修了）者数状況

令和5年4月1日

種 別	所属別資格取得・講習修了者数													
	総務課	総合 指令課	警防課	救急課	予防課	中央署		北署		東署			南署	合計
						中央	西	北	旭	東	東部	三里	南	
大型自動車運転免許	20	24	8	7	10	28	11	29	7	25	6	8	19	202
中型自動車運転免許	11	12	0	5	5	27	12	24	17	20	6	13	20	172
2級小型船舶操縦士	20	20	6	6	8	28	9	25	9	20	7	6	27	191
玉掛け技能講習	11	16	7	1	6	14	4	20	5	13	1	3	11	112
酸素欠乏・硫化水素危険作業 主任者技能講習	11	13	6	5	3	8	5	15	3	8	2	4	7	90
小型移動式クレーン技能講習	15	14	8	0	6	11	3	22	6	17	2	4	8	116
巻上げ機運転業務特別教育	2	1	1	0	0	2	0	6	0	3	0	1	4	20
クレーン運転業務特別教育	2	2	1	0	2	3	0	3	1	3	0	0	3	20
小型車両系建設機械（3 t級） 運転特別教育（整地等）	2	6	1	0	2	2	1	6	1	1	0	0	9	31
小型車両系建設機械（3 t級） 運転特別教育（解体用）	2	6	1	0	2	2	1	5	1	1	0	0	7	28
潜水士	19	29	8	5	6	27	8	25	10	28	6	6	15	192
第一種衛生管理者	4	4	1	2	0	1	0	2	0	3	0	0	4	21
救急救命士	3	6	0	8	1	10	6	14	8	11	3	7	9	86
指導救命士 （高知県救急医療協議会認定）	1	0	0	3	0	3	0	1	1	2	1	0	1	13
予防技術資格者（防火査察）	9	4	2	2	7	13	2	8	3	4	1	1	12	68
予防技術資格者（消防用設備等）	4	3	0	2	5	3	0	4	2	2	0	0	6	31
予防技術資格者（危険物）	2	1	0	1	2	4	0	4	1	1	0	0	4	20

# 音楽隊

## 消防音楽隊

消防音楽隊は、平成10年4月1日に高知市が中核市に移行し、また、平成14年には高知県で国体が開催されることなどから、消防のイメージアップ、防火・防災意識の普及や消防広報の積極的な推進を目的に、平成11年に高知県内では初、四国でも徳島市に次いで2番目の消防音楽隊として発足しました。

消防職員に限らず、消防団員も含めて編成し、文字どおり消防の音楽隊として発足したものの、経験者は数名しかおらず、ほとんどの隊員が初めて楽器を手にするものばかりでした。市民に愛される消防音楽隊を目指し、平成13年2月には演奏会を開催し、また、高知国体、ねんりんピック、高知龍馬マラソンでも活躍してきました。令和3、4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で広く演奏会を開催することはできませんでしたが、活動の制限がある中でも練習を積み重ねてきました。令和5年度は、令和3年度に20年ぶりにリニューアルした制服を着て本格的な演奏を目標に、活動していきます。

- 名 称 : 高知市消防音楽隊
- 発 足 : 平成11年4月1日
- 所 管 : 消防局総務課
- 構 成 : 消防職員, 消防団員, 一般

- ・ 毎日勤務 (4名)
  - ・ 交替制勤務 (2名)
  - ・ 消防団員 (8名)
  - ・ 一般, 講師 (18名)
- } 32名



令和5年4月2日 活動の様子 (わんぱくこうち)

## 音楽隊の編成等

区 分	隊 長	副隊長	楽 長	隊 員					合 計
				消防司令長	消防司令補	消防士	消防団員	一般・講師	
階 級	消防監	消防司令長	消防司令補	消防司令長	消防司令補	消防士	消防団員	一般・講師	
人 員	1	1	1		1	1	8(3)	18(8)	32(11)

※ ( ) は女性の内数

## 楽器編成

- ・ フルート
- ・ トロンボーン
- ・ クラリネット
- ・ バストロンボーン
- ・ アルトサクソ
- ・ ホルン
- ・ テナーサクソ
- ・ ユーフォonium
- ・ バリトンサクソ
- ・ チューバ
- ・ トランペット
- ・ パーカッション

## 活動状況 (令和4年度)

項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
練習回数	4	3	4	2	0	2	6	6	3	2	7	7	46
演奏回数								1			1		2

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、練習回数及び演奏回数が減少している。

## その他

### 各種協定状況

No.	協定名	相手方	締結日	所管課
1	産官学連携の協力推進に関する協定書	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	令和元年10月29日	総務課
2	高知県消防総合支援事業等の推進に関する協定書	高知県	令和5年2月9日	
3	高知県内広域消防相互応援協定	高知県内市町村、消防の一部事務組合、消防を含む一部事務組合	平成8年2月29日	警防課
4	高知自動車道大豊須崎間に係る消防業務に関する覚書	9消防本部ほか	平成14年9月9日	
5	高知自動車道大豊須崎東間消防相互応援協定	高知自動車道大豊須崎東間敷設市町村（組合消防含む。）	平成14年9月9日	
6	鉄道災害時の安全対策に関する覚書	四国旅客鉄道株式会社 安全推進室	平成15年8月1日	
7	大規模地震災害時における緊急消防援助隊の活動拠点として敷地及び付帯施設を使用することに関する協定書	学校法人土佐高等学校	平成25年6月14日	
8	大規模地震災害時における緊急消防援助隊の活動拠点等として敷地等を使用することに関する協定書	高知学芸中学高等学校	平成25年6月14日	
9	高知県中央地区消防相互応援協定	高知県中央地区消防協議会に加盟している市町村及び一部事務組合	平成26年11月1日	
10		香美市消防本部管内の水難事故における高知市消防局の応援に関する覚書	平成26年11月1日	
11		仁淀消防組合消防本部管内の水難事故における高知市消防局の応援に関する覚書	平成26年11月1日	
12	高知東部自動車道高知南IC・なんこく南IC間消防相互応援協定	南国市	平成27年3月22日	
13	国道56号線仁淀川大橋4車線化に伴う消防相互応援に関する覚書	土佐市消防本部	平成27年4月13日	
14	緊急用開口部の使用に関する協定書	西日本高速道路株式会社 四国支社 高知高速道路事務所	平成28年1月4日	
15	大規模災害時における緊急消防援助隊の宿营地として敷地等を使用することに関する協定書	学校法人高知学園	令和2年7月16日	
16	産官学連携の協力推進に関する協定書	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	令和3年10月29日	
17		学校法人常翔学園大阪工業大学		
18		株式会社ファーストパーソン		
19	救急救命士に対する指示並びに救急隊員への指導及び助言に関する協定書	高知赤十字病院	平成15年11月1日	
20		近森病院	平成15年11月1日	
21		高知脳神経外科病院	平成15年11月1日	
22		愛宕病院	平成15年11月1日	
23		国吉病院	平成15年11月1日	
24		岡村病院	平成15年11月1日	
25		いずみの病院	平成15年11月1日	
26		国立高知病院	平成15年11月1日	
27		高知医療センター	平成17年2月26日	
28		集団災害等における救急医療活動についての協定書	日本赤十字社 高知県支部	平成19年7月5日
29	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター		平成22年7月23日	
30	社会医療法人近森会 近森病院		平成24年11月22日	
31	医療法人新松田会 愛宕病院		平成25年2月22日	
32	独立行政法人国立病院機構高知病院		平成26年2月6日	
33	高知市病院派遣型救急ワークステーションの設置に関する協定書	高知赤十字病院	平成31年2月15日	
34	高知市病院派遣型救急ワークステーションの設置に関する協定書	近森病院	令和4年4月20日	

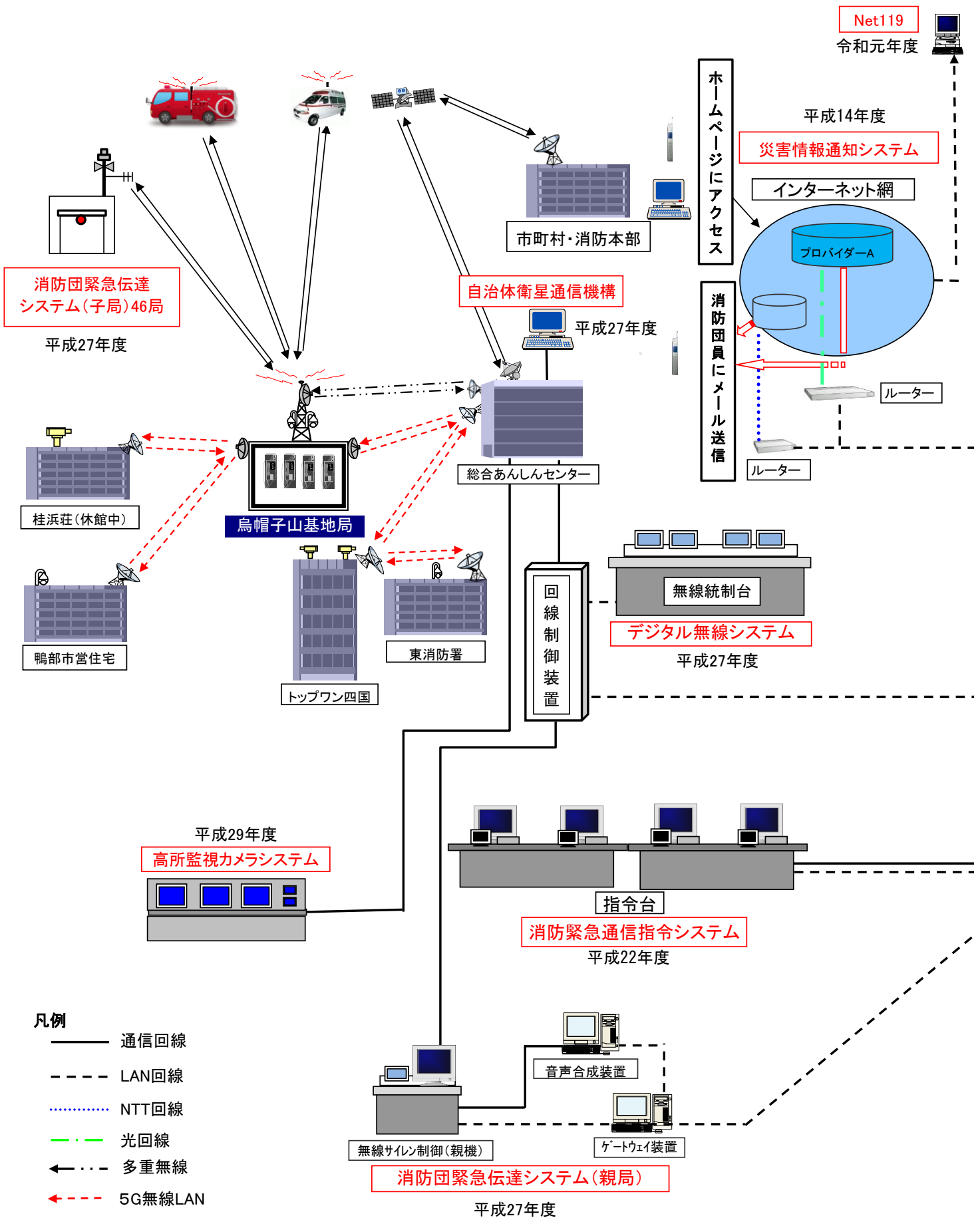


.....  
総合指令編  
.....

通 信

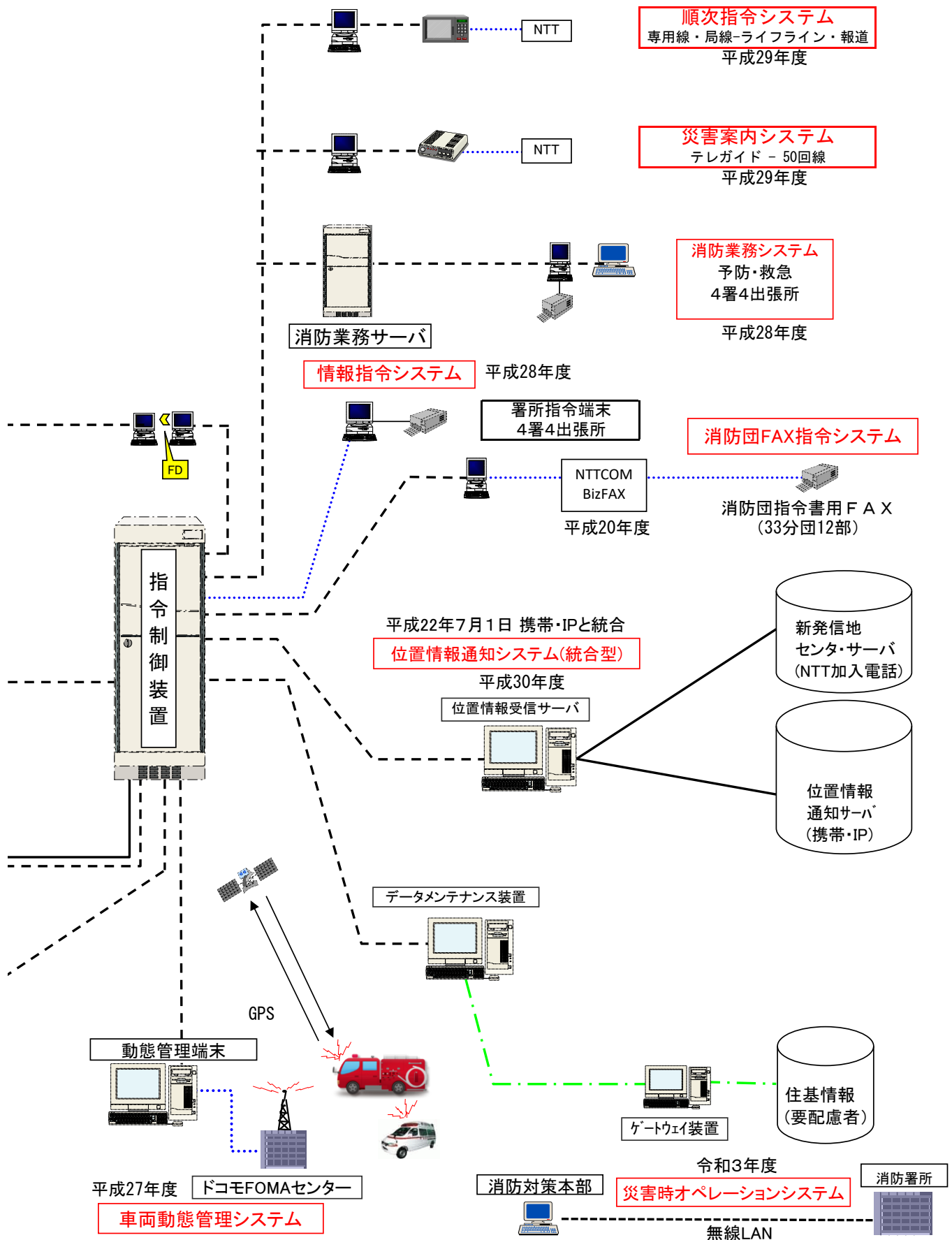
# 通信

## 1 消防通信系統図



### 凡例

- 通信回線
- - - LAN回線
- ..... NTT回線
- · - 光回線
- ← · · 多重無線
- ← - - 5G無線LAN



## 2 高所監視カメラ

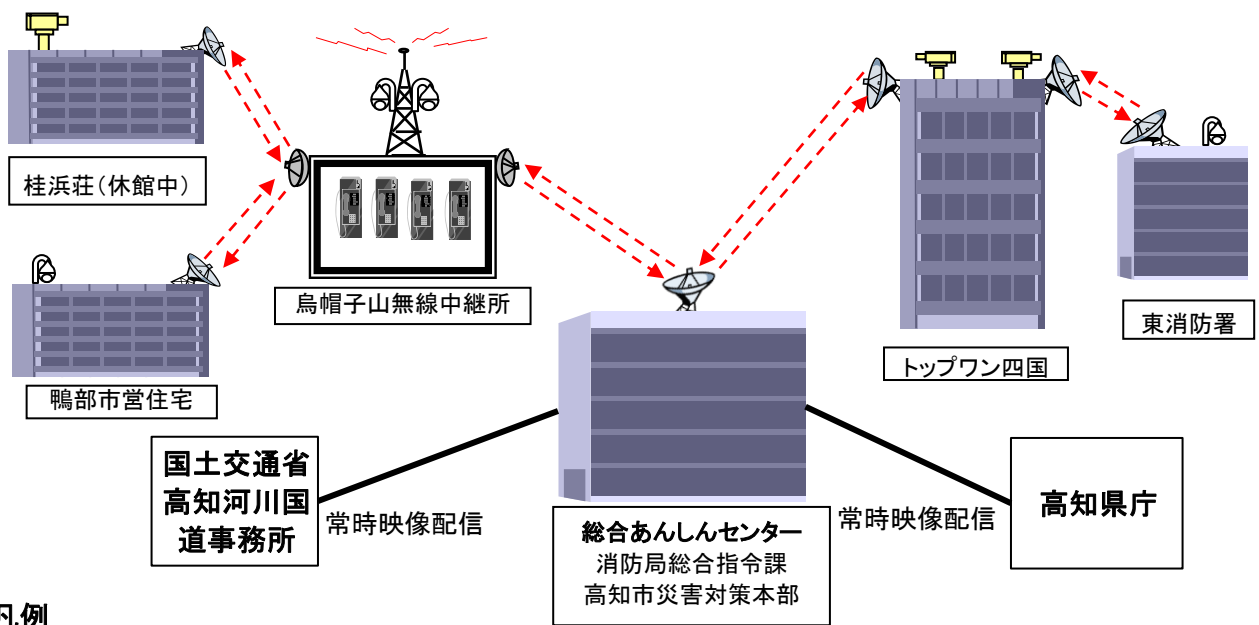
### (1) 概要

平成9年に整備した高所監視カメラ3台（トップワン四国2台、旧桂浜荘1台）の更新に合わせ、市内3か所（烏帽子山無線中継所2台、鴨部市営住宅1台、東消防署1台）に新たに4台カメラを追加し、全7台のカメラにより市街地の80%をカバーする高所監視カメラシステムの整備が完了し、平成29年11月1日から運用を開始しました。




高所監視カメラは、高知市災害対策本部でも操作、映像確認が可能となっており、火災発生時の状況や台風、豪雨災害等の浸水状況の監視をはじめ、発生が危惧されている南海トラフ地震発生時における海岸線の津波監視体制等にも役立てられています。

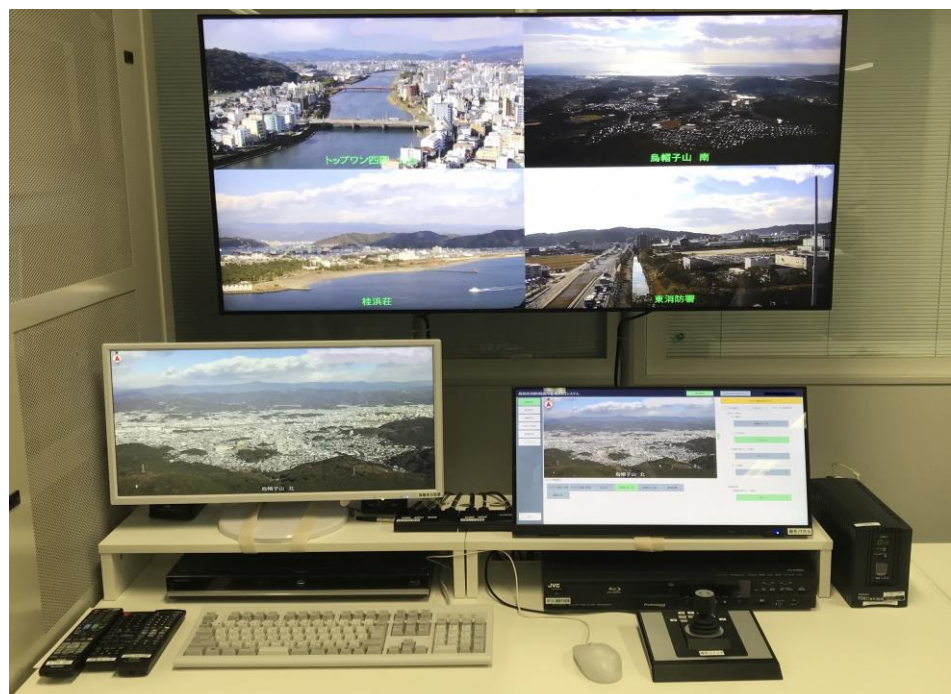
また、高所監視カメラの映像は、高知県庁及び国土交通省高知河川国道事務所にも常時配信され、他機関との情報共有も図られています。

### (2) 高所監視カメラネットワーク網



#### 凡例

-  高感度カメラ
-  ドーム型カメラ
-  5GHz帯アンテナ





### 3 通信回線種別

種 別	回線数等	用 途	契約・設置事業者等
加入電話	各 署 所 1 回線 各 課 1 回線	代表電話, 直通電話	NTT西日本
内線電話	署 2 回線 出 張 所 1 回線	署所間(市役所内)の連絡用電話	NTT西日本 (ビジネスイーサワイド)
FAX	局 1 回線 総合指令課 1 回線 各 署 所 1 回線	署所・局用FAX	NTT西日本
専用線(メタル回線)	各 1 回線	密関係機関連絡用	NTT西日本
専用線(光回線)	2 ルート各18ch	本庁とのデータ通信	高知市敷設
光回線(VPN)	署所各 1 回線 局, 団本部各 1 回線	庁内メール・庁内掲示板等の行政事務支援システム	NTT西日本 (ビジネスイーサワイド)
高知県情報ハイウェイ	1 回線 (VPN)	消防救急デジタル無線アプローチ回線	高知県(STNet)
高知県防災行政無線	2 回線	県内行政機関の通信網	高知県
携帯電話	各署所・各課 計43台	通常業務, 災害活動用	NTTドコモ (21台) au (22台)
衛星携帯電話	各署所 1 台 局 5 台 (固定 2) 計13台	災害時の非常通信用	NTTドコモ (ワイドスター II)
衛星通信	14GHz帯	総務省ほか導入行政機関(県内全市町村, 全消防本部)との通信	自治体衛星通信機構 (Lascom)

### 4 消防無線通信施設

#### (1) 無線チャンネルの種別等

名 称	型式	周波数	名 称	型式	周波数
統制波 1	5K80G1D 5K80G1E	260 MHz帯	活動波 4	5K80G1D	260 MHz帯
統制波 2			活動波 5	5K80G1E	
統制波 3			防災相互波 (アナログ)	F3E	150 MHz帯
主運用波 1			署活波 1	F3E	400 MHz帯
主運用波 2			署活波 2		
主運用波 3			ヘリテレ交信	F3E	380 MHz帯
主運用波 4			陸上多重 (デジタル無線用 アプローチ回線)	9M00G7W	7.5 GHz帯
主運用波 5			衛星多重 (Lascom)	7M38D7WG7W	14 GHz帯
主運用波 6					
主運用波 7					
活動波 1					
活動波 2					
活動波 3					

#### (2) 基地局

区 分 設置場所	実装チャンネル	空中線 電 力	設 置 年 月 日
烏帽子基地局	統制波 1・2・3・主運用波 7 活動波 1・2・3・4・5	20 W	平成25年 2 月

※ 基地局の通信所は, 総合あんしんセンター5階消防局総合指令課(高知市丸ノ内一丁目7番45号)

## (3) 移動局

		車載 (10W)	車載 (5W)	卓上型可搬 (10W)	携帯デジタル (5W)	可搬デジタル (10W)	携帯アナロ グ(5W)	可搬アナロ グ(10W)	署活系 (1W)	合 計
消 防 局		31	1	5	16	6	4	1	19	83
消 防 団 本 部		2		1	2	1				6
消 防 分 団		49			132					181
中央消防署	中 央 署	9		1	9	1	1		8	29
	西 出 張 所	4		1	4	1	1		4	15
北消防署	北 署	10		1	9	1	1		8	30
	旭 出 張 所	3		1	4	1	1		4	14
東消防署	東 署	8		1	8	1	1		9	28
	東部出張所	2		1	4	1	1		4	13
	三里出張所	3		1	4	1	1		4	14
南消防署	南 署	7		1	8	1	1		8	26
合 計		128	1	14	200	15	12	1	68	439



# 消 防

## 1 消防機械配備状況

### (1) 消防車両等

車 種	所 属 消防局	中央署		北署		東署			南署	合 計
		中央	西	北	旭	東	東部	三里	南	
ポンプ車	2	2	1	2	1	2		1	2	13
タンク車	4	1	1	1	1	1	1	1	1	12
はしご車		1		1						2
多目的ポンプ車		1								1
化学車						1				1
水槽車			1						1	2
救助工作車		1		1		1			1	4
救急車	1	3	1	4	1	2	1	1	3	17
救助支援車				1		1				2
災害支援車						1				1
津波・大規模風水害対策車						1				1
重機及び重機搬送車									1	1
燃料補給車			1							1
無線中継車	1									1
指揮車	2									2
指揮広報車		1		1		1			1	4
火災調査車										0
普及啓発車	1									1
予防啓発車	1									1
救命講習車	1									1
査察車	1									1
資機材搬送車	2									2
人員搬送車	3									3
作業車	3									3
マイクロバス	2									2
ボートトレーラー	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
二輪車	4	2	2	3	1	3	1	1	2	19
合 計	29	13	8	15	5	15	4	5	14	108

※詳細は次頁，消防車両等内訳表参照

(2) 消防車両等内訳表

所属	区分	車種車名		ぎ装	年式	備考		
				メーカー				
消防局		査察車	日産 SUV車	日産	平成28年			
		予防啓発車	トヨタ 普通貨物		平成8年			
		救命講習車	日産 普通貨物		平成26年			
		普及啓発車	日産 普通貨物		平成29年			
		資機材搬送車1	スズキ 軽自動車バン		平成26年			
		資機材搬送車3	日産 小型トラック		平成11年			
		人員搬送車1	トヨタ Sワゴン		平成18年			
		人員搬送車2	トヨタ Sワゴン		平成28年			
		人員搬送車3	日産 普通車		平成7年			
		無線中継車※	トヨタ ワンボックス		平成25年			
		作業車1号	日野 中型トラック		平成25年	バンボディ・最大積載量3t		
		作業車2号	日野 中型トラック		平成25年	平ボディ・最大積載量3t		
		作業車3号	三菱 中型トラック		平成5年	平ボディ・最大積載量2t		
		マイクロバス	トヨタ 29人乗り	キンパイ	令和3年	人員搬送車Ⅲ		
		マイクロバス	日産 26人乗り		平成15年			
		指揮車	トヨタ ワンボックス	キンパイ	令和4年			
		指揮車※	トヨタ ワンボックス	ヨコハマモーターセールス	平成24年	予備指揮車		
		消防車	日野 タンク車	G M	平成13年	予備タンク車1・1,700L水槽付		
		消防車	いすゞ タンク車	ドライ	平成11年	予備タンク車2・1,700L水槽付		
		消防車	いすゞ タンク車	モリタ	平成12年	予備タンク車3・1,500L水槽付		
		消防車	三菱 タンク車	日本機械	平成12年	予備タンク車4・1,700L水槽付		
		消防車	日産 ポンプ車	小川	平成13年	予備ポンプ車1		
		消防車	いすゞ ポンプ車	日本機械	平成10年	予備ポンプ車2		
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	平成22年	予備救急車21		
		中央署	中央	1号車	日野 タンク車	モリタ	平成26年	1,500L水槽付・CAFS付
				2号車	日野 ポンプ車	モリタ	平成24年	
3号車	いすゞ ポンプ車			吉谷	平成15年			
救急車	トヨタ 高規格			トヨタ	平成25年	救急車5		
救急車	トヨタ 高規格			トヨタ	平成29年	救急車15		
救急車	トヨタ 高規格			トヨタ	平成20年	予備救急車19		
救助工作車	日野 II型			モリタ	平成25年			
はしご車	日野 35m級			モリタ	平成27年	先端屈折式・水路管付		
西	多目的ポンプ車		日野 ポンプ車	モリタ	令和元年	13mブーム・900L水槽付・CAFS付		
	指揮広報車		日産 SUV車	日産	平成25年			
	1号車		いすゞ タンク車	ドライ	平成21年	1,500L水槽付・泡混合装置付		
	2号車		日野 ポンプ車	吉谷	平成26年			
	救急車		トヨタ 高規格	トヨタ	平成28年	救急車10		
	水槽車		三菱 水槽車	日本機械	平成7年	10,000L水槽付・小型ポンプ付		
	燃料補給車※		三菱 小型トラック		平成25年	軽油990L		
	北署		北	1号車	日野 タンク車	モリタ	平成25年	1,500L水槽付・CAFS付
2号車		トヨタ ポンプ車		小川	平成25年			
3号車		トヨタ ポンプ車		ドライ	令和4年			
救急車		トヨタ 高規格		トヨタ	平成29年	救急車1		
救急車		トヨタ 高規格		トヨタ	令和3年	救急車6		
救急車		スズキ 軽自動車		小川	平成29年	救急車20		
救急車		トヨタ 高規格		トヨタ	平成22年	予備救急車17		
救助工作車		日野 II型		帝国繊維	平成28年			
はしご車		日野 30m級	モリタ	平成15年	先端屈折式			
特殊災害救助支援車		日野 中型トラック	帝国繊維	令和3年	NBC災害等対応			
東署	東	指揮広報車	日産 SUV車	日産	平成15年			
		1号車	日野 タンク車	長野	令和4年	1,500L水槽付		
		2号車	トヨタ ポンプ車	モリタ	平成26年	600L水槽付・CAFS付		
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	平成28年	救急車8		
		1号車	日野 タンク車	モリタ	平成26年	1,500L水槽付・CAFS付		
		2号車	トヨタ ポンプ車	小川	平成25年			
	東部	3号車	トヨタ ポンプ車	ドライ	令和4年			
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	令和4年	救急車2		
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	平成22年	予備救急車18		
		救助工作車	日野 II型	帝国繊維	令和元年			
		水難救助支援車	日野 中型トラック	日本機械	平成31年			
		災害支援車※	日野 支援車I型	ヨコハマモーターセールス	平成22年			
三里	津波・大規模風水害対策車※	日野 大型トラック	帝国繊維	平成28年	小型特殊バギー積載			
	化学車	日野 IV型化学車	モリタ	平成22年	水2,000L・泡原液1,600L			
	指揮広報車	日産 SUV車	日産	平成25年				
	1号車	日野 タンク車	モリタ	平成29年	1,200L水槽付・泡混合装置付			
	救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	平成31年	救急車7			
	1号車	日野 タンク車	長野	平成24年	1,500L水槽付・泡混合装置付			
南署	南	2号車	日野 ポンプ車	モリタ	平成24年			
		3号車	日野 ポンプ車	G M	平成20年			
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	令和3年	救急車3		
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	令和元年	救急車13		
		救急車	トヨタ 高規格	トヨタ	平成22年	予備救急車16		
		救助工作車	日野 II型	帝国繊維	令和2年			
		水槽車	いすゞ 水槽車	吉谷	令和4年	10,000L水槽付・小型ポンプ付		
		重機及び重機搬送車※	日野 大型トラック	船山	令和2年	クレーン付・重機(3t未満)		
		指揮広報車	日産 SUV車	日産	平成26年			

車名の後に※印を付した車両は、国の無償使用制度による車両

## 2 主な消防機材の配備状況

消防機材		中央署		北署		東署			南署	消防局	合計
		中央	西	北	旭	東	東部	三里	南	警防課	
消防用ホース	65mm	86	82	62	58	82	22	69	81	88	630
	50mm	92	70	72	60	76	44	61	76	144	695
	40mm	35	14	26	14	20	8	14	20	78	229
ガンタイプ放水ノズル		8	2	7	7	10	2	2	8	7	53
管鎗（ガンタイプ放水ノズル以外）		8	18	9	4	11	2	10	17	20	99
背負式水のう		7	10	9	12	7	4	7	10	15	81
チェーンソー		4	1	3	1	3	1	1	5	2	21
エンジンカッター		6	1	4	2	2	1	1	3	10	30
電動式油圧救助器具		2	1	5	2	5	1	1	5	1	23
空気呼吸器(30MPa)		25	13	25	10	20	5	10	18	4	130
有毒ガス・可燃性ガス検知器		2	1	4	1	2	1	1	2	1	15
かぎ付はしご		5	1	4	2	4		1	2	5	24
三連はしご		3	3	4	2	4	1	1	3	4	25
携帯警報器		10	2	5	2	10	2	2	7		40
発動発電機		5	4	6	2	6	1	2	9	4	39
投光器		4	6	5	2	4	3	3	7	2	36
救命ボート		2	1	2	1	6	1	1	2		16
船外機		3	3	5	2	6	2	3	4	7	35
可搬式ウインチ		2	1	3		2			1		9
可搬ポンプ（B 2）			1	1		1			2		5
可搬ポンプ（C 1）		2	2	2	1	2	1	1	2	6	19
無人航空機（ドローン）		2		1					1	2	6

3 消防水利状況 (水利状況についてはすべて各年における4月1日現在の数値)

(1) 消火栓整備状況表

消火栓	区分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年
	消火栓総数		8,632	8,645
上記のうち耐震消火栓		24	90	147
耐震化率		0.28%	1.04%	1.70%

(2) 防火水槽整備状況表

防火水槽	区分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年
	100m <sup>3</sup> 以上		44 (36)	44 (37)
60m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満		78 (65)	79 (66)	80 (66)
40m <sup>3</sup> 以上60m <sup>3</sup> 未満		267 (77)	269 (79)	271 (81)
合計		389 (178)	392 (182)	396 (185)
耐震化率		45.8%	46.4%	46.7%

※防火水槽の( )内の数値は設置数のうち、耐震性を有するもの

(3) その他の水利整備状況表

その他の水利	区分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年
	水槽		91 (7)	86 (6)
その他		101	99	99
合計		192 (7)	185 (6)	183 (6)

※水槽とは、消防水利の基準を満たさない40m<sup>3</sup>未満のもの

※その他とは、井戸式等で水量の増減があり容量の区分けができないもの

※その他の水利の( )内の数値は設置数のうち、耐震性を有するもの

(4) 指定消防水利整備状況表

指定消防水利	区分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年
	河川		0	0
湖沼		0	3	3
その他		0	0	0
合計		0	3	11

※指定消防水利とは、管理者等の承諾を得て、消防局が指定した自然水利等

#### 4 要整備メッシュと整備済メッシュの状況

##### (1) 要整備メッシュと整備済メッシュの充足数及び充足率

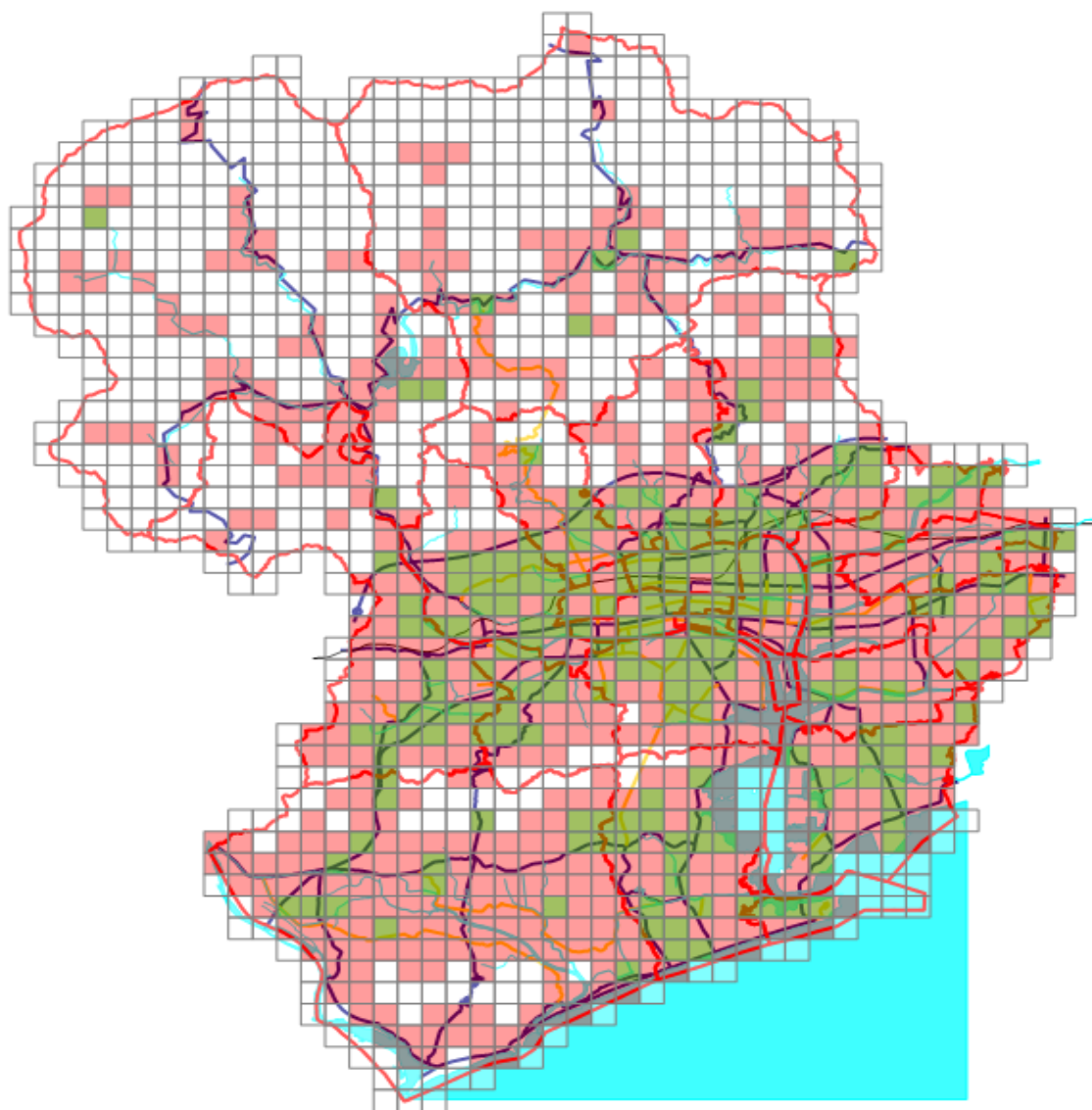
区分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年
充足数	151/778	173/778	202/778
充足率	19.4%	22.2%	26.1%

※メッシュとは、高知市を1辺500mの正方形の網目（以下「500mメッシュブロック」という。）状に分けたもの

※要整備メッシュとは、500mメッシュブロックのうち居住する家屋が3棟以上存在するメッシュブロック

※整備済みメッシュとは、要整備メッシュのうち、同メッシュ内に地震対策を施した強靱な消防水利を1基以上配置している、又は自然水利(指定消防水利)のあるメッシュ

##### (2) 要整備メッシュと整備済みメッシュの状況図



##### 凡 例

- : 要整備メッシュ
- : 整備済みメッシュ



# 救助

## 1 救助隊編成表（高度・特別）

隊 編 成			人 員	主な運用車両	主な救助資機材配備状況														
					一般救助用器具	重量物排除用器具	切断用器具	破壊用器具	検知・測定用器具	呼吸保護用器具	隊員保護用器具	検索用器具	水難救助用器具	山岳救助用器具	除染用器具	高度救助用器具	その他の救助器具		
高度 救 助 隊	北消防署	第1係	消防統括 1名 高度救助係長 1名 隊員 3名	計15名	救助工作車Ⅲ型 特殊災害救助支援車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
		第2係	消防統括 1名 高度救助係長 1名 隊員 3名																
		第3係	消防統括 1名 高度救助係長 1名 隊員 3名																
特 別 救 助 隊	中央消防署	第1係	特別救助係長 1名 隊員 4名	計15名	救助工作車Ⅱ型	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	-	-	○	
		第2係	特別救助係長 1名 隊員 4名																
		第3係	特別救助係長 1名 隊員 4名																
	東消防署	第1係	消防統括 1名 特別救助係長 1名 隊員 7名	計27名	救助工作車Ⅱ型 水難救助支援車 津波・大規模風水害対策車	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	-	-	○	
		第2係	消防統括 1名 特別救助係長 1名 隊員 7名																
		第3係	消防統括 1名 特別救助係長 1名 隊員 7名																
	南消防署	第1係	特別救助係長 1名 隊員 4名	計15名	救助工作車Ⅱ型 重機及び重機搬送車	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	-	-	○	
		第2係	特別救助係長 1名 隊員 4名																
		第3係	特別救助係長 1名 隊員 4名																

△：一部配備

2 救助隊装備資機材

種類	名 称	数量	種類	名 称	数量	
一般救助用器具	かぎ付はしご	5	呼吸保護用具	空気呼吸器	24	
	三連はしご	4		空気補充用ボンベ	0	
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	4		酸素呼吸器	12	
	空気式救助マット	4		簡易呼吸器	2	
	救命索発射銃	4		防塵マスク	24	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	16		送排風機	4	
	平担架	5		エアラインマスク	2	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	8	隊員保護用具	耐電装備一式	8	
	油圧スプレッダー	4		防塵メガネ	72	
	可搬ウインチ	4		携帯警報器	24	
	マンホール救助器具	4		防毒マスク	100	
	救助用簡易起重機	0		化学防護服	74	
	マット型空気ジャッキ一式	4		陽圧式化学防護服	20	
	大型油圧スプレッダー	4		耐熱服	0	
	救助用支柱器具	4		放射線防護服	8	
	チェーンブロック	4		特殊ヘルメット	0	
	ワイヤーロープ	15		除染用器具	除染シャワー	5
切断用器具	油圧切断機	8	水難救助用器具	除染剤散布器	4	
	エンジンカッター	4		潜水器具一式	17	
	ガス溶断器	4		救命胴衣	24	
	チェーンソー	4		水中投光器	7	
	鉄線カッター	4		救命浮環	9	
	空気鋸	4		浮標	3	
	大型油圧切断機	4		救命ボート	7	
	空気切断機	4		船外機	7	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	3		水中スクーター	0	
破壊用器具	万能斧	8	山岳救助用器具	水中無線機	5	
	ハンマー	4		水中時計	6	
	携帯用コンクリート破壊器具	4		水中テレビカメラ	0	
	削岩機	5		登山器具	24	
	ハンマドリル	4		バスケット担架	5	
検知・測定用器具	生物剤検知器	2	検索用器具	簡易画像探索機	4	
	可燃性ガス測定器	6		その他の救助器具	投光器一式	4
	有毒ガス測定器	6			携帯投光器	24
	酸素濃度測定器	6			携帯拡声器	10
	放射線測定器	74			携帯無線機	24
	化学剤検知器	2			応急処置用セット	4
高度救助用器具	画像探索機	2	その他の救助器具		車両移動器具	16
	地中音響探知機	3		緩降機	3	
	熱画像直視装置	4		ロープ登降機	24	
	夜間用暗視装置	2		救助用降下機	24	
	電磁波探査装置	0		発電機	8	
	二酸化炭素探査装置	0		その他の携帯救助工具	5	
	水中探査装置	0				
	地震警報器	2				

# 防 災

## 1 月別防災講習・防災訓練・防災広報等実施状況

令和4年度

種 別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自主防災組織 防災等講習・訓練	1	1	2	1	3	4	6	16	5	2	6	4	51
学校等防災学習				1					2			1	4
事業所等防災講習							1	1	2				4
計	1	1	2	2	3	4	7	17	9	2	6	5	59

## 2 自主防災組織連合会区域別防災講習・防災訓練等実施状況

令和4年度

防 災 講 習 ・ 訓 練 実 施 回 数	名 称	
	上街地区防災連合会	
	第四小学校区南部防災連合会	1
	第六小学校区防災専門部会	
	はりまや橋小学校区防災連合会	
	下知地区減災連絡会	
	江ノ口小学校区防災連合会	1
	江陽小学校区防災連合会	
	小高坂防災連合会	1
	旭小学校区自主防災会連合会	2
	旭西部防災連合会	3
	旭東小学校区防災連合会	1
	潮江小学校区防災連合会	4
	潮江東地区連合防災会	1
	種崎地区津波防災検討会	2
	十津小学校区防災連合会	
	三里小学校区津波防災検討会	
	五台山校区自主防災会連合会	2
	高須校区防災会	1
	布師田地区自主防災連絡協議会	4
	一宮小学校区町内会防災協議会	1
	一宮東小学校区町内会防災協議会	1
	秦地区自主防災組織連絡協議会	1
	泉野小学校区防災連合会	1
	初月地区防災連合会	1
	一ツ橋校区防災連合会	5
	朝倉地区連合防災会	1
	鴨田校区連合防災会	1
	神田地区町内会連合会防災会	3
	長浜防災連合会	3
	よこせと防災連合会	6
	横浜新町小学校区防災連合会	4
	浦戸地区津波防災検討会	
	大津地区地域防災会	4
	介良小学校区防災連合会	
	鏡防連合会	2
	土佐山自主防災連合会	
	久重自主防災連合会	
	春野防災ネットワーク会	

## 3 近年における消防対策本部体制動員配備状況

	災害名称等	配備体制	動員数	備考
令和4年9月19日(月)	台風第14号	第1次配備体制	93	
令和4年7月5日(火)	台風第4号	第1次配備体制	163	

# 緊急消防援助隊

平成7年（1995年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）において、全国41都道府県からの大規模な消防応援が実施されました。しかし、この大規模な消防応援は初めての事案だったこともあり、自治体消防として様々な課題が残りました。

緊急消防援助隊はその教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施するとともに、全国の消防機関相互による援助体制を構築するために平成7年に創設されました。

令和5年4月1日現在、緊急消防援助隊は全国の消防本部から、6,629隊が登録されており、高知市消防局からは、29隊113人（うち4隊17人重複）を登録しています。

平成7年の創設以来、令和3年3月末までの間に全国で合計40回を超える出動実績があり、高知市消防局においては、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震

（東日本大震災（高知県大隊12隊50名、うち高知市消防局からは6隊25名））や、平成28年4月16日に発生した熊本地震（高知県大隊延べ14隊52名、うち高知市消防局からは13隊49名）へ出動し、人命救助等の応援活動を実施しました。

また、緊急消防援助隊では大規模な災害に対し、様々な特殊車両が必要となるため、高知市消防局には、重機や水陸両用バギー、20人乗りの高機能救命ボート等が国から無償で配備されています。



熊本地震現場活動の様子

## 令和4年度 緊急消防援助隊訓練状況

訓練名（実施月：場所/実施隊等）
第6回緊急消防援助隊全国合同訓練【図上訓練】 （7月：総合あんしんセンター/高知県下15消防本部）
中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練 （10月：徳島県/高知県下13消防本部）
第6回緊急消防援助隊全国合同訓練【部隊運用訓練】 （11月：京都府、静岡県/高知県下8消防本部）

## 高知市消防局登録状況

部隊種類	部隊数	人数
県大隊指揮隊	1	4
統合機動部隊指揮隊	2 (1)	8 (4)
NBC災害即応部隊指揮隊	1 (1)	4 (4)
土砂・風水害機動支援部隊指揮隊	1 (1)	4 (4)
消火小隊	5	25
救助小隊	4	20
救急小隊	5	15
後方支援小隊	4	10
通信支援小隊	1	3
特殊災害小隊	2 (1)	10 (5)
特殊装備小隊	3	10
計	29 (4)	113 (17)

( ) 内は重複する隊数・隊員数

## 国際消防救助隊 ( I R T : International Rescue Team of Japan Fire-Service)

海外において、大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策及び災害復旧を目的として組織される部隊を国際緊急援助隊 ( J D R ) といい、救助、医療、専門家、自衛隊部隊及び感染症対策の各チームで構成されています。

救助チームは、「外務省・消防庁・警察庁・海上保安庁・医師・看護師・構造評価専門家」で構成されており、この中の消防救助チームが国際消防救助隊 ( I R T ) と呼ばれています。この国際消防救助隊は、全国の 77 の消防本部から選抜された 599 名の救助隊員で構成され、令和 5 年 2 月 6 日、トルコ共和国で発生した地震災害に対しても、国際消防救助隊 74 名が派遣され、6 名の要救助者を救出しました。

高知市消防局からは高度救助隊、特別救助隊等の隊員の中から選抜された 6 名を登録しています。平成 29 年 9 月 20 日 (水) 3 時 14 分頃 (日本時間) に発生したメキシコ地震災害に対し、日本から国際消防救助隊 (17 名) が派遣され高知市消防局からも登録隊員 1 名を派遣しました。

また、高知市消防局では上記の 6 名以外に予備登録隊員として数名を選出しており、登録隊員を中心に、救助チームを構成する他機関との連携を含め、国際消防救助隊研修を継続的に実施しています。

### 令和 4 年度 国際消防救助隊訓練状況

訓練名 (実施月：場所/人数等)
第 42 回高知市消防局国際消防救助隊研修 (5 月：北消防署/6 名)
第 43 回高知市消防局国際消防救助隊研修 (7 月：北消防署/6 名)
アリゾナボーテックス講習会 (9 月：北消防署/6 名)
第 44 回高知市消防局国際消防救助隊研修 (10 月：南消防署/6 名)
第 4 回国際消防救助隊四国地区合同訓練 (12 月：北・南消防署、消防学校/6 名)
令和 4 年度国際消防救助隊連携訓練 (1 月：熊本市/1 名)
携行資機材メンテナンス会 (令和 4 年度) (2 月：千葉県/1 名)
令和 4 年度国際消防救助隊セミナー (2 月：滋賀県/1 名)
第 45 回高知市消防局国際消防救助隊研修 (3 月：北消防署/6 名)

※人数は登録隊員を計上

### 高知市消防局国際消防救助隊員研修の様子



### 国際消防救助隊メキシコ地震災害派遣の様子



( J I C A 提供写真 )



救 急 編

救 急

## 1 救急業務体制

令和5年4月1日現在の救急隊数は4署4出張所に11隊（専任5隊，兼任6隊）配備されています。救急隊員は129名（うち女性5名）となっており，専任・兼任の状況は救急業務に専従している専任隊員は54名（うち女性3名），消防業務を兼務している兼任隊員は75名（うち女性2名）となっています。

救急隊員の資格については，救急救命士有資格者86名のうち，救急隊員として活動している救急救命士数は64名（うち女性2名）となっています。また，消防大学校や救急振興財団等での国が示す「指導救命士の養成に必要な研修カリキュラム」を修了した救急救命士は16名おり，そのうち13名が高知県救急医療協議会（県MC）から指導救命士として認定を受け，救急隊員の指導・育成に当たっています。

表1 救急資格別職員数

資格		消防法施行令第44条第5項各号に掲げる要件に該当する者							
		区分	合計	救急救命士資格者		救急科・標準課程	救急II課程	救急I課程	
				指導救命士研修修了者	県MC認定指導救命士				
実員数	救急隊員	専任	54	27	7	6	24	3	
		兼任	(A)	75	34	3	3	37	4
			(B)	119	3	0	0	102	14
			小計	194	37	3	3	139	18
	合計	248	64	10	9	163	21		
その他	108	19	6	4	67	20	2		

※ (A) 他の消防用自動車等の乗換兼任

(B) 専任及び兼任の休日等における代替要員

※実員数は本庁からの出向者を除く

表2 救急救命士の資格状況

資格等		認定なし	気管挿管	気管挿管 薬剤投与	薬剤投与 心肺停止前	気管挿管 薬剤投与 心肺停止前	合計
専任					5	22	27
兼任	(A)				9	25	34
	(B)				1	2	3
	小計	0	0	0	10	27	37
その他（日勤等）		1	1		1	16	19
合計		1	1	0	16	65	83

※ (A) 他の消防用自動車等の乗換兼任

(B) 専任及び兼任の休日等における代替要員

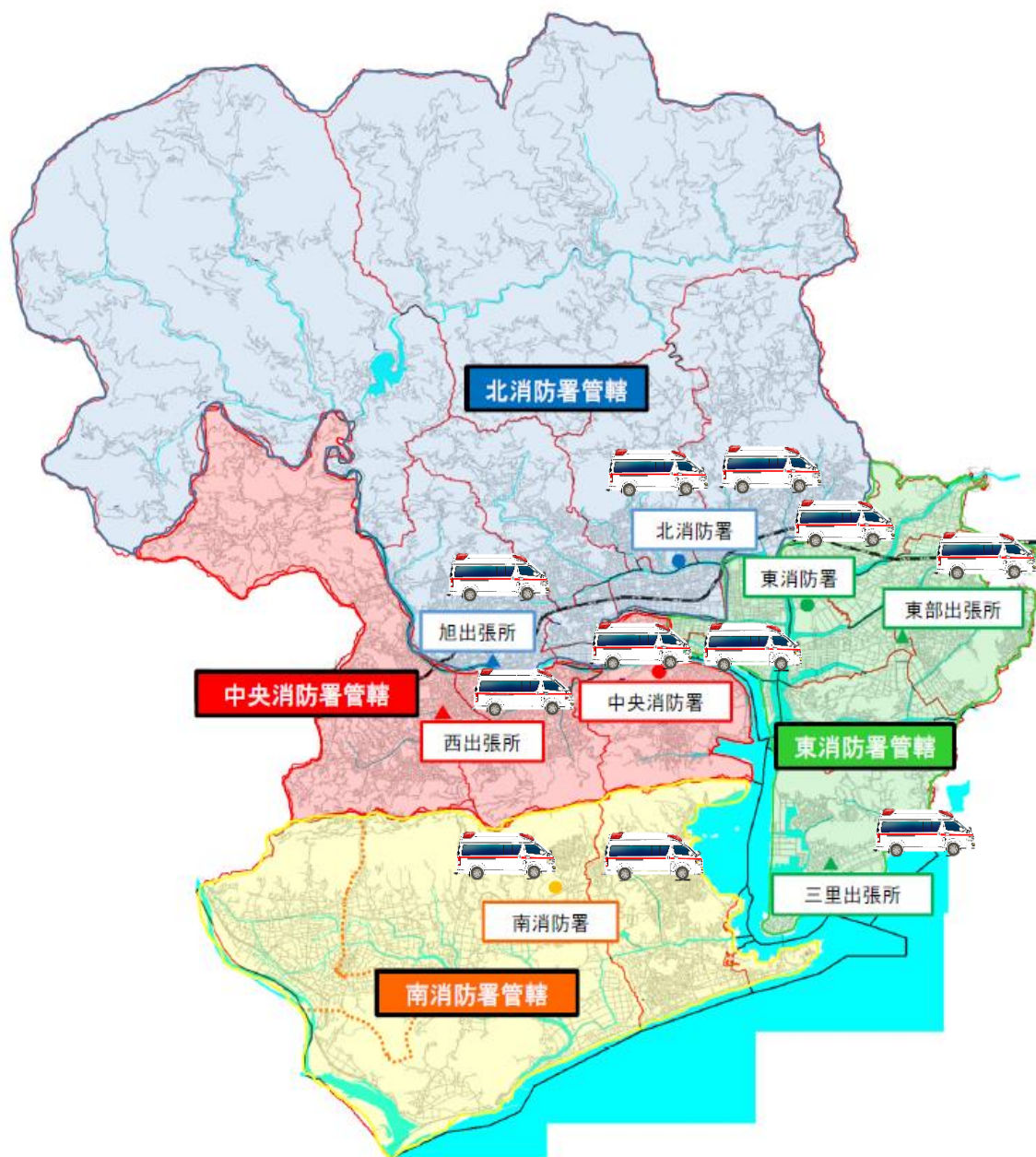


## 2 救急自動車及び主な資器材

救急自動車の保有台数は、予備車、小型救急車を含め全部で17台あり、そのうち16台が高規格救急自動車（救急隊員及び准救急隊員の行う応急処置等の基準（昭和五十三年消防庁告示第二号）第六条第三項に規定する応急処置を行うために必要な構造及び設備を有する救急自動車）です。17台のうち11台を市内4署4出張所に配備し、常時市内の救急要請に対応しています。

各署所それぞれの救急車配置台数は、北消防署に4台（うち小型救急車1台、予備車1台）、中央消防署及び南消防署に各3台（うち予備車各1台）、東消防署に2台（うち予備車1台）、西・旭・東部・三里の4出張所に各1台、消防局に予備車1台となっています。（図1参照）

図1 救急車配置状況（予備車及び小型救急車は除く）



3 主な救急資器材配備状況

資器材 署所	積載車両		除細動器		自動式人工呼吸器		自動式心肺蘇生器		高度訓練用入形	
	車両名	納入年月	品名	納入年月	品名	納入年月	品名	納入年月	品名	納入年月
中央署	救急5	平成26年2月	AX-12CESN	令和2年9月	パラパック300	令和2年10月	CLOVER3000	令和4年2月	高研シミュレーター	平成8年3月
	救急15	平成29年11月	光電EMS	令和4年2月	パラパック200D	平成29年9月	CLOVER3000	令和4年2月	高研シミュレーター	平成11年3月
	予備車	平成20年11月	TEC-2513	平成30年3月	パラパック200D	平成26年2月			高研シミュレーター(LM-119P)	令和4年10月
西	救急10	平成29年1月	AX-12CESN	平成30年3月	パラパック300	令和5年3月	CLOVER3000	令和2年10月	レーラダル ALSシミュレーター	平成20年12月
	救急1	平成29年9月	AX-12CESN	平成29年10月	パラパック200D	平成29年9月	CLOVER3000	令和4年2月	高研シミュレーター	平成29年10月
北署	救急6	令和3年2月	AX-12CESN	令和2年9月	パラパック300	令和2年10月	CLOVER3000	令和2年10月	高研シミュレーター(LM-051AB)	平成14年3月
	小型救急	平成29年9月	TEC-2513	平成24年11月	パラパック200D	平成28年1月	LUCAS3	平成31年3月	高研シミュレーター(LM-119P)	令和5年2月
	予備車	平成22年5月	AX-12CESN	平成30年3月	パラパック300	令和2年10月				
旭	救急8	平成28年1月	光電EMS	令和4年2月	パラパック300	平成28年1月	CLOVER3000	令和元年9月	高研シミュレーター(LM-073)	平成18年2月
	救急2	令和5年3月	光電EMS	令和5年3月	パラパック300	令和5年3月	CLOVER3000	令和4年2月	高研シミュレーター(LM-051AB)	平成12年2月
東署	予備車	平成22年3月	TEC-2513	平成28年1月	パラパック200D	平成29年9月			高研シミュレーター(LM-119P)	令和5年2月
	救急7	平成31年3月	AX-12CESN	平成31年3月	パラパック200D	平成31年3月	CLOVER3000	平成31年3月	高研シミュレーター(LM-073)	平成18年7月
三里	救急11	平成27年2月	AX-12CESN	平成31年3月	パラパック200D	平成31年3月	CLOVER3000	令和4年2月	高研シミュレーター(LM-073)	平成16年9月
	救急13	令和元年9月	AX-12CESN	令和元年9月	パラパック200D	令和元年9月	CLOVER3000	令和元年9月	高研シミュレーター(LM-051AB2)	平成14年3月
南署	救急3	令和4年2月	AX-12CESN	令和元年9月	パラパック300	令和4年2月	CLOVER3000	令和4年2月	レーラダル ALSシミュレーター	平成27年2月
	予備車	平成22年3月	TEC-2513	平成27年1月	パラパック200D	平成29年9月			高研シミュレーター(LM-119P)	令和5年2月
救急課	予備車	平成22年5月	AX-12CESN	平成29年10月	パラパック200D	令和元年9月				

4 高知市の救急及び災害医療機関

救急医療		災害医療		施設名	所在地
告示	救命救急センター	災害拠点病院	救護病院		
●			●	愛宕病院	愛宕町一丁目1番13号
●			●	いずみの病院	薊野北町二丁目10番53号
			●	潮江高橋病院	土居町9番18号
●				内田脳神経外科	塚ノ原37番地
●			●	国吉病院	上町一丁目3番4号
●	●	●		高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	池2125番地1
			●	高知厚生病院	葛島一丁目9番50号
●			●	高知生協病院	口細山206番地9
●			●	高知整形・脳外科病院	上町四丁目7番20号
●	●	●		高知赤十字病院	秦南町一丁目4番63-11号
●			●	高知高須病院	大津乙2705番地1
●			●	高知脳神経外科病院	朝倉戊767番地5
			●	三愛病院	一宮西町一丁目7番25号
●			●	島津病院	比島町四丁目6番22号
			●	竹下病院	与力町3番8号
●			●	田中整形外科病院	上町三丁目2番6号
●	●	●		近森病院	大川筋一丁目1番16号
●		●		独立行政法人国立病院機構高知病院	朝倉西町一丁目2番25号
●			●	独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院	神田317番地12
●			●	関南病院	知寄町一丁目5番15号
●			●	永井病院	春野町西分2027番地3
			●	長浜病院	長浜801番地
●			●	細木病院	大膳町37番地
			●	海里マリン病院	仁井田1617番地5
●			●	もみのき病院	塚ノ原6番地1
			●	リハビリテーション病院すこやかな杜	春野町芳原1316番地1



.....  
予 防 編  
.....

予 防

危 険 物

【防火対象物に関する概要説明】

高知市消防局の消防年報において「防火対象物」とは、消防法第17条第1項の規定により、消防用設備等を設置し、維持しなければならない対象物としています。

特定防火対象物とは、下表のうち、(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項、(9)項イ、(16)項イをいいます。

非特定防火対象物とは、特定防火対象物以外の防火対象物をいいます。

用途別	防火対象物の用途等	
(1)項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場
	ロ	公会堂又は集会場
(2)項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの
	ロ	遊技場又はダンスホール
	ハ ニ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗（ニ並びに(1)項イ、(4)項、(5)項イ及び(9)項イを除く。）その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む。）において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの
(3)項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの
	ロ	飲食店
(4)項	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	
(5)項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅
(6)項	イ	(1) 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。） i：診療科目中に特定診療科名（内科、整形外科等その他の総務省令で定める診療科名をいう。(2) i において同じ。）を有すること。 ii：医療法第7条に定める療養病床又は一般病床を有すること。 (2) 次のいずれにも該当する診療所 i：診療科目中に特定診療科名を有すること。 ii：四人以上の患者を入院させるための施設を有すること。 (3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く）又は入所施設を有する助産所 (4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、（軽費老人ホーム、有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（避難が困難な要介護者を主として入居、または宿泊させるものに限る。）、認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設等 (2) 救護施設 (3) 乳児院 (4) 障害児入所施設 (5) 障害者支援施設、短期入所若しくは共同生活援助を行う施設（「避難が困難な障害者等」を主として入所させるものに限る。）
	ハ ニ	(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター、（軽費老人ホーム、有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（6項ロ(1)に掲げるものを除く）） (2) 更生施設 (3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、一時預かり事業又は家庭的保育事業を行う施設、その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (4) 児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設又は児童発達支援若しくは放課後等デイサービスを行う施設 (5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設（6項ロ(5)に掲げるものを除く）、地域活動支援センター、福祉ホーム又は短期入所・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く） 幼稚園又は特別支援学校
(7)項	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	
(8)項	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
(9)項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場
(10)項	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物に限る。）	
(11)項	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
(12)項	イ	工場又は作業場
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ
(13)項	イ	自動車車庫又は駐車場
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫
(14)項	倉庫	
(15)項	前各項に該当しない事業場	
(16)項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が、(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物
(16の2項)	地下街	
(16の3項)	建築物の地階（(16の2項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの（(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）	
(17)項	文化財保護法の規定によって重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡若しくは重要な文化財として指定され、又は旧重要美術品等の保存に関する法律の規定によって重要美術品として認定された建造物	
(18)項	延長50m以上のアーケード	
(19)項	市長村長の指定する山林	
(20)項	総務省令で定める舟車	

※(16の2)項、(16の3)項、(19)項及び(20)項は、高知市に存せず、建築等の見込みも低いことから消防年報の表記から除外しています。

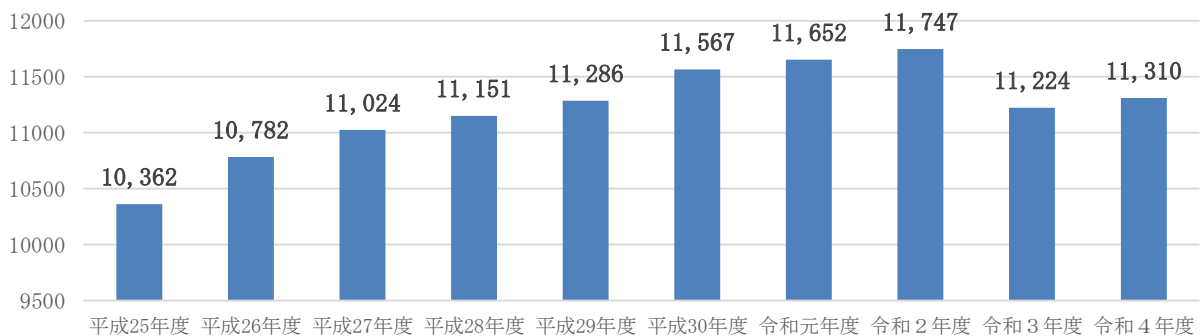
# 予 防

## 1 防火対象物状況

### (1) 署所別一覧表

用途別	合計	中央消防署		北消防署		東消防署			南消防署
		中央署	西出張所	北署	旭出張所	東署	東部出張所	三里出張所	南署
1項イ	17	2		1	1			2	11
1項ロ	50	8	9	4	2	6	2	4	15
2項イ	0								
2項ロ	29	6	5	5	3	9			1
2項ハ	1			1					
2項ニ	9	4	1	2		2			
3項イ	2					2			
3項ロ	479	193	41	62	12	112	8	10	41
4項	541	92	84	82	30	161	25	15	52
5項イ	193	48	1	47	6	26	6	3	56
5項ロ	3,634	696	776	847	209	775	78	106	147
6項イ(1)	24	2	4	5	3	7			3
6項イ(2)	12	1	1	2		7			1
6項イ(3)	73	12	6	24	11	6		3	11
6項イ(4)	200	39	26	31	27	50	4	7	16
6項ロ(1)	101	8	19	21	11	6	6	1	29
6項ロ(2)	1			1					
6項ロ(3)	0								
6項ロ(4)	3			2					1
6項ロ(5)	15	1	5	5			1	1	2
6項ハ(1)	148	20	29	27	16	19	6	5	26
6項ハ(2)	3			1					2
6項ハ(3)	153	18	20	32	14	35	4	10	20
6項ハ(4)	28	2	7	8		9			2
6項ハ(5)	111	11	21	23	10	16		3	27
6項ニ	58	7	5	23	11	3		1	8
7項	346	70	62	67	40	45	7	26	29
8項	15	3		1	1			6	4
9項イ	3			3					
9項ロ	6	1	1	2		2			
10項	1					1			
11項	82	25	6	14	3	17		5	12
12項イ	701	135	72	50	15	202	11	83	133
12項ロ	0								
13項イ	232	77	16	42	10	67	1	10	9
13項ロ	0								
14項	679	165	59	65	13	182	5	90	100
15項	1,237	268	93	193	75	353	14	72	169
16項イ	1,333	450	149	241	94	294	15	27	63
16項ロ	753	202	89	165	55	186	7	16	33
17項	21	8	1	8				3	1
18項	16	12		2		2			
合計	11,310	2,586	1,608	2,109	672	2,602	200	509	1,024

防火対象物数推移



※令和3年度にデータ元の棟区分を整理

(2) 用途別・行政区別一覧表

用途	合計	上街	高知街	南街	北街	下知	江ノ口	小高坂	旭街	潮江	三里	五台山	高須	布師田	一宮	秦	初月	朝倉	鴨田	長浜	御堂瀬	瀬戸	大津	介良	鏡	土佐山	春野
1項イ	17						1			2		2									1				1		10
1項ロ	50		2		1	3				6	4			2	3			4	5	5					2	2	10
2項イ	0																										
2項ロ	29		2			7	1		4	3			1		3		1	5	1		1		1				
2項ハ	1		3	1	1					1			1		1												
2項ニ	9			2																							
3項イ	2																										
3項ロ	479	3	155	15	38	51	17	6	9	39	9	1	16		6	5	8	22	19	23		3	11	8		15	
4項	541	7	35	10	13	87	41	5	29	51	12	3	31		23	5	16	56	28	39		6	11	25		7	
5項イ	193	1	23	6	11	1	19	3	3	25	2	1	1		11	7	10	1	1	49		4		6	2	7	
5項ロ	3,634	47	71	61	54	290	263	93	230	563	99	7	192	7	294	133	133	475	301	139			96	78		8	
6項イ(1)	24	2	2	1		4	4		1						2			2	2	3			1				
6項イ(2)	12		1			1							3	1		1	1		1	1			2				
6項イ(3)	73	7	6	2	1	1	12	6	10		2	1	1		5	1	1	6	5							6	
6項イ(4)	200	8	11	4	5	24	16	2	21	26	5	2	9		6	3	5	16	10	10			6	4		1	
6項ロ(1)	101		1			3	5	2	13	5	1		2		12	1	2	11	8	17		1		6		10	
6項ロ(2)	1														1												
6項ロ(3)	0																										
6項ロ(4)	3							2																			
6項ロ(5)	15						3			1	1				2			2	3	1				1		1	
6項ハ(1)	148	1	1			10	7	4	14	18	5		2	1	6	5	5	20	9	18		2	5	6	2	1	
6項ハ(2)	3														1												2
6項ハ(3)	153	1	4	2	4	7	10	4	13	13	8	2	5	5	14	4	5	11	9	7		1	6	4	1	12	
6項ハ(4)	28			1		3	2			2			2	1	4	1	1	6	1				2			1	
6項ハ(5)	111	3	1	1	1	10	14	6	8	9	2	1	1		2		4	11	10	11			1			16	
6項ニ	58		1			3	8	8	12	4	1	1	1		1		11	5	2				2	1		6	
7項	346	6	24	5	6	3	23	17	35	42	22	4	3	4	18	7	7	53	9	14		2	17	7	3	2	
8項	15	1	2				1			1		6								1			2				1
9項イ	3			3																							
9項ロ	6		1			2	1	1											1								
10項	1				1																						
11項	82		10	2	2	3	7	1	5	13	2	3	4		5	2		5	1	8		1	5			3	
12項イ	701	2	4	12		57	4	2	15	125	70	13	28	55	30	8	2	32	40	81		2	48	11	4	6	
12項ロ	0																										
13項イ	232	5	47	10	12	15	31	7	7	28	5	5	6	5	9	6		12	4	5			7	1		4	
13項ロ	0																										
14項	679	4	12	21	9	91	13	1	7	153	76	14	18	15	41	1	3	36	23	59		1	2	29	5	5	
15項	1,237	27	112	49	24	136	93	27	49	150	50	22	62	38	41	17	16	55	38	114		1	4	36	14	7	
16項イ	1,333	35	296	45	98	100	105	26	68	143	22	5	58	4	25	27	24	88	61	43		1	3	19	16	3	
16項ロ	753	19	61	29	24	77	87	23	41	134	15	1	17	2	36	14	17	54	35	21		2	24	7	3	10	
17項	21		7					1		1	1	2			7			1									1
18項	16		12	1	3																						
合計	11,310	179	907	283	307	987	783	244	594	1,558	413	96	464	140	609	248	272	990	618	679	5	34	329	201	28	36	



## (3) 署所別・階数別建物一覧表

階数	合計	中央消防署		北消防署		東消防署			南消防署
		中央署	西出張所	北署	旭出張所	東署	東部出張所	三里出張所	南署
地階のみ	3	1							2
1～6階	10,611	2,360	1,573	1,983	630	2,354	197	499	1,015
7～10階	557	182	28	99	31	200	3	8	6
11階以上	139	43	7	27	11	48		2	1
合計	11,310	2,586	1,608	2,109	672	2,602	200	509	1,024

2 防火対象物立入検査状況

用途	合計		中央消防署				北消防署				東消防署						南消防署	
			中央署		西出張所		北署		旭出張所		東署		東部出張所		三里出張所		南署	
	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数	対象数	検査数
1項イ	17	10	2				1		1					2	1	11	9	
1項ロ	50	2	8		9		4		2		6	1	2		4	1	15	
2項イ	0																	
2項ロ	29	14	6	2	5	3	5	3	3	3	9	3					1	
2項ハ	1	1					1	1										
2項ニ	9	3	4	1	1		2	1			2	1						
3項イ	2	1									2	1						
3項ロ	479	48	193	31	41	3	62	6	12		112	4	8		10	1	41	3
4項	541	23	92	4	84	2	82	3	30	1	161	7	25		15		52	6
5項イ	193	29	48	6	1		47	14	6		26	6	6		3		56	3
5項ロ	3,634	5	696		776		847	1	209		775		78		106		147	4
6項イ(1)	24	2	2		4	1	5		3		7						3	1
6項イ(2)	12	0	1		1		2				7						1	
6項イ(3)	73	9	12		6	2	24	3	11	1	6	1			3	1	11	1
6項イ(4)	200	7	39		26	2	31	1	27	2	50	1	4		7		16	1
6項ロ(1)	101	10	8	1	19		21	1	11	2	6	1	6		1		29	5
6項ロ(2)	1	0					1											
6項ロ(3)	0																	
6項ロ(4)	3	1					2										1	1
6項ロ(5)	15	4	1		5		5						1	1	1	1	2	2
6項ハ(1)	148	12	20	2	29	2	27		16		19		6	1	5	2	26	5
6項ハ(2)	3	1					1										2	1
6項ハ(3)	153	2	18		20		32		14	1	35	1	4		10		20	
6項ハ(4)	28	7	2		7	3	8	1			9	2					2	1
6項ハ(5)	111	16	11	1	21	2	23	7	10		16	3			3		27	3
6項ニ	58	7	7	2	5		23		11	2	3				1		8	3
7項	346	9	70		62		67		40		45		7		26		29	9
8項	15	1	3	1			1		1						6		4	
9項イ	3	3					3	3										
9項ロ	6	1	1		1		2				2	1						
10項	1	0									1							
11項	82	9	25	2	6		14	1	3		17				5	1	12	5
12項イ	701	10	135		72	1	50		15	1	202		11	1	83		133	7
12項ロ	0																	
13項イ	232	13	77	3	16	2	42	4	10		67	3	1		10		9	1
13項ロ	0																	
14項	679	10	165		59	1	65		13	1	182	4	5		90	2	100	2
15項	1,237	34	268	7	93		193	1	75	2	353	5	14		72	2	169	17
16項イ	1,333	107	450	55	149	6	241	18	94	4	294	20	15		27		63	4
16項ロ	753	6	202	1	89		165	1	55		186	1	7		16		33	3
17項	21	13	8	7	1	1	8	3							3	2	1	
18項	16	0	12				2				2							
合計	11,310	430	2,586	126	1,608	31	2,109	73	672	20	2,602	66	200	3	509	14	1,024	97
対象数	11,310		4,194				2,781				3,311						1,024	
検査数	430		157				93				83						97	

### 3 消防用設備等点検結果報告状況

#### 【消防用設備等点検結果報告とは】

防火対象物の関係者は、消防法第17条第1項により設置している消防用設備等の機能等を点検し、特定防火対象物は1年に1回、非特定防火対象物は3年に1回、消防機関に報告しなければなりません。

これにより、消防用設備等の適切な機能維持を図ることを目的としています。

#### (1) 特定防火対象物 点検報告状況 (2022. 4. 1～2023. 3. 31) (↑=増, ↓=減)

用途	対象物数	報告数	報告率(%)	報告率前年比
1項イ	17	12	70.6	↓ 5.9
1項ロ	50	39	78.0	↓ 6.6
2項イ	0			→ 0.0
2項ロ	29	25	86.2	↑ 6.2
2項ハ	1	1	100.0	↑ 100.0
2項ニ	9	4	44.4	↓ 46.5
3項イ	2	0	0.0	↓ 50.0
3項ロ	479	134	28.0	↑ 0.6
4項	541	345	63.8	↓ 9.2
5項イ	193	66	34.2	↓ 5.3
6項イ(1)	24	19	79.2	↓ 4.8
6項イ(2)	12	10	83.3	↓ 1.3
6項イ(3)	73	50	68.5	↓ 5.8
6項イ(4)	200	119	59.5	↓ 3.5
6項ロ(1)	101	75	74.3	↓ 14.6
6項ロ(2)	1	1	100.0	→ 0.0
6項ロ(3)	0			→ 0.0
6項ロ(4)	3	1	33.3	→ 0.0
6項ロ(5)	15	11	73.3	↑ 9.0
6項ハ(1)	148	75	50.7	↓ 2.1
6項ハ(2)	3	1	33.3	→ 0.0
6項ハ(3)	153	105	68.6	↓ 1.6
6項ハ(4)	28	11	39.3	↑ 0.2
6項ハ(5)	111	59	53.2	↓ 4.9
6項ニ	58	25	43.1	↓ 2.5
9項イ	3	2	66.7	↑ 33.3
16項イ	1,333	482	36.2	↓ 0.5
合計	3,587	1,672	46.6	↓ 3.0

#### (2) 非特定防火対象物 点検報告状況 (2020. 4. 1～2023. 3. 31) (↑=増, ↓=減)

用途	対象物数	報告数	報告率(%)	報告率前年比
5項ロ	3,634	1,361	37.5	↑ 1.1
7項	346	115	33.2	↓ 2.0
8項	15	7	46.7	↓ 7.1
9項ロ	6	3	50.0	↓ 10.0
10項	1	1	100.0	→ 0.0
11項	82	30	36.6	↓ 0.0
12項イ	701	228	32.5	↓ 1.3
12項ロ	0			→ 0.0
13項イ	232	43	18.5	↓ 2.3
13項ロ	0			→ 0.0
14項	679	199	29.3	↑ 0.2
15項	1,237	644	52.1	↑ 0.8
16項ロ	753	207	27.5	↓ 5.7
17項	21	8	38.1	→ 0.0
18項	16	1	6.3	→ 0.0
合計	7,723	2,847	36.9	↓ 0.2

#### 4 防火管理・統括防火管理状況

##### 【防火管理とは】

火災予防のために、関係者自らが果たすべき役割として、多数の人を収容する防火対象物には、資格を持つ者を防火管理者として選任し、消防計画を作成する等、防火管理上の必要な業務を行うことをいいます。

##### 【統括防火管理とは】

管理について権原が分かれている防火対象物においては、複数の防火管理者が選任されることとなりますが、統一性のない防火管理業務となるおそれがあるため、火災時の混乱等を防止する観点から、一部の防火対象物については、防火対象物全体の防火管理業務を統括する統括防火管理者を選任し、全体についての消防計画の作成や、避難上必要な施設の管理等の防火管理業務を行うことをいいます。

(単位＝敷地)

用途	防火管理者 選任義務数	完全選任数	完全選任率 (%)	消防計画 作成済数	消防計画 作成率(%)	統括防管 選任義務数	統括防管 選任数	統括選任率 (%)	消防計画 作成済数	消防計画 作成率(%)
1項イ	7	5	71.4	4	80.0					
1項ロ	37	36	97.3	35	97.2					
2項イ	0									
2項ロ	25	25	100.0	25	100.0					
2項ハ	0									
2項ニ	9	9	100.0	8	88.9					
3項イ	1	0		0						
3項ロ	240	155	64.6	139	89.7	17	1	5.9	1	5.9
4項	368	271	73.6	257	94.8	1	0	0	1	100.0
5項イ	79	75	94.9	75	100.0	1	0	0	1	100.0
5項ロ	408	239	58.6	222	92.9	5	0	0	0	0
6項イ(1)	23	23	100.0	23	100.0					
6項イ(2)	10	10	100.0	10	100.0					
6項イ(3)	44	44	100.0	44	100.0					
6項イ(4)	16	14	87.5	14	100.0					
6項ロ(1)	79	76	96.2	74	97.4					
6項ロ(2)	1	1	100.0	1	100.0					
6項ロ(3)	0									
6項ロ(4)	1	1	100.0	1	100.0					
6項ロ(5)	8	8	100.0	7	87.5					
6項ハ(1)	50	46	92.0	43	93.5					
6項ハ(2)	1	1	100.0	1	100.0					
6項ハ(3)	104	103	99.0	100	97.1					
6項ハ(4)	4	4	100.0	4	100.0					
6項ハ(5)	20	20	100.0	18	90.0					
6項ニ	26	24	92.3	24	100.0					
7項	115	109	94.8	108	99.1					
8項	6	6	100.0	6	100.0					
9項イ	1	1	100.0	1	100.0					
9項ロ	3	3	100.0	3	100.0					
10項	0									
11項	42	32	76.2	26	81.3					
12項イ	38	35	92.1	34	97.1					
12項ロ	0									
13項イ	0									
13項ロ	0									
14項	4	4	100.0	4	100.0					
15項	254	212	83.5	201	94.8	2	0	0	0	0
16項イ	580	399	68.8	375	94.0	74	6	8.1	18	24.3
16項ロ	62	41	66.1	35	85.4	7	0	0	1	14.3
17項	4	4	100.0	4	100.0					
18項	0									
合計	2,670	2,036	76.3	1,926	94.6	107	7	6.5	22	20.6
前年数	2,649	2,041	77.0	2,011	75.9	112	28	25.0	25	89.3

※防火管理者の消防計画作成率は、防火管理者完全選任数に対する作成率

5 防火対象物定期点検結果報告状況

【防火対象物定期点検結果報告とは】

300人以上を収容する特定防火対象物（(16の3)項は除く。）、または火災危険の特に高い構造を有している特定一階段等防火対象物の管理権原者は、火災の予防に関する専門的知識を持つ資格者に、火災の予防上必要な事項について1年に1回点検をさせ、消防機関に報告しなければなりません。

これにより、管理権原者による防火対象物の管理に関する法令適合の確保を目的としています。

【特例認定とは】

防火対象物定期点検報告が必要な防火対象物のうち、その管理開始後、一定期間以上継続して火災の予防に関する事項を遵守しているものについて、一定期間、防火対象物定期点検報告の免除認定を受けることができます。

この特例認定を受けている防火対象物は、その旨を表示し、利用者に情報提供することができます。

【特定一階段等防火対象物とは】

特定用途（令別表第一の(1)項から(4)項、(5)項イ、(6)項、(9)項イ）の用途部分が、3階以上又は地階にあり、その階から避難するための階段が屋内に1本しかない防火対象物をいいます。

用途	合計			収容人員300人以上				特定一階段等防火対象物			
	全体義務数	全体報告数	点検報告率(%)	義務対象物数	点検報告数	特例認定数	点検報告率(%)	義務対象物数	点検報告数	特例認定数	点検報告率(%)
1項イ	5	2	40.0	5	2		40.0				
1項ロ	13	1	7.7	13	1		7.7				
2項イ	0										
2項ロ	22	17	77.3	22	13	4	77.3				
2項ハ	0										
2項ニ	2	0	0.0					2	0		0.0
3項イ	0										
3項ロ	32	11	34.4	6	1		16.7	26	10		38.5
4項	69	30	43.5	65	25	2	41.5	4	3		75.0
5項イ	25	8	32.0	19	2	4	31.6	6	2		33.3
6項イ(1)	10	5	50.0	10	5		50.0				
6項イ(2)	0										
6項イ(3)	15	8	53.3	12	5		41.7	3	3		100.0
6項イ(4)	2	2	100.0	1	1		100.0	1	1		100.0
6項ロ(1)	5	4	80.0	1	1		100.0	4	2	1	75.0
6項ロ(2)	0										
6項ロ(3)	0										
6項ロ(4)	0										
6項ロ(5)	0										
6項ハ(1)	0										
6項ハ(2)	0										
6項ハ(3)	0										
6項ハ(4)	0										
6項ハ(5)	3	0	0.0	1	0		0.0	2	0		0.0
6項ニ	1	1	100.0					1	1		100.0
9項イ	1	0	0.0					1	0		0.0
16項イ	127	50	39.4	82	29	4	40.2	45	17		37.8
合計	332	139	41.9	237	85	14	41.8	95	39	1	41.1
前年数	348	118	33.9	237	83	17	42.2	111	17	1	16.2

6 消火・避難訓練実施状況

【訓練の法定回数とは】

特定防火対象物は、消火訓練と避難訓練を年2回以上実施しなければなりません。

非特定防火対象物は、消火訓練と避難訓練を定期的の実施しなければなりません。

(1) 特定防火対象物 消防訓練実施状況

用途	訓練義務対象数	法定回数 実施数	実施率 (%)	消 火 訓 練				避 難 訓 練			
				1回	実施率(%)	2回以上	実施率(%)	1回	実施率(%)	2回以上	実施率(%)
1項イ	7	4	57.1	1	14.3	4	57.1	1	14.3	4	57.1
1項ロ	37	12	32.4	6	16.2	12	32.4	6	16.2	13	35.1
2項イ	0										
2項ロ	25	19	76.0			19	76.0			21	84.0
2項ハ	0										
2項ニ	9	4	44.4			4	44.4			6	66.7
3項イ	1	0									
3項ロ	240	16	6.7	25	10.4	16	6.7	26	10.8	19	7.9
4項	368	71	19.3	40	10.9	71	19.3	41	11.1	79	21.5
5項イ	79	20	25.3	27	34.2	20	25.3	25	31.6	24	30.4
6項イ(1)	23	18	78.3	4	17.4	18	78.3	3	13.0	18	78.3
6項イ(2)	10	5	50.0			5	50.0			5	50.0
6項イ(3)	44	27	61.4			28	63.6			27	61.4
6項イ(4)	16	4	25.0			4	25.0			5	31.3
6項ロ(1)	79	38	48.1			38	48.1			39	49.4
6項ロ(2)	1	1	100.0			1	100.0			1	100.0
6項ロ(3)	0										
6項ロ(4)	1	1	100.0			1	100.0			1	100.0
6項ロ(5)	8	6	75.0			6	75.0			6	75.0
6項ハ(1)	50	21	42.0			21	42.0			21	42.0
6項ハ(2)	1	1	100.0			1	100.0			2	200.0
6項ハ(3)	104	84	80.8			84	80.8			87	83.7
6項ハ(4)	4	1	25.0			1	25.0			1	25.0
6項ハ(5)	20	17	85.0			17	85.0			19	95.0
6項ニ	26	16	61.5			16	61.5			18	69.2
9項イ	1	0									
16項イ	580	105	18.1	66	11.4	105	18.1	69	11.9	113	19.5
合計	1,734	491	28.3	169	9.7	492	28.3	171	9.8	529	30.5

(2) 非特定防火対象物 消防訓練実施状況

用途	訓練義務対象数	法定回数 実施数	実施率 (%)	消 火 訓 練				避 難 訓 練			
				1回	実施率(%)	2回以上	実施率(%)	1回	実施率(%)	2回以上	実施率(%)
5項ロ	408	26	6.4	25	6.1	1	0.2	28	6.9	1	0.2
7項	115	43	37.4	35	30.4	8	6.9	37	32.2	8	7.0
8項	6	6	100.0	5	83.3	1	16.7	5	83.3	1	16.7
9項ロ	3	0	0			1	33.3			1	33.3
10項	0										
11項	42	7	16.7	6	14.3	1	2.4	6	14.3	1	2.4
12項イ	38	15	39.5	14	36.8	2	5.3	13	34.2	2	5.3
12項ロ	0										
13項イ	0										
13項ロ	0										
14項	4	1	25.0	1	25.0			1	25.0		
15項	254	90	35.4	83	32.7	9	3.5	81	31.9	9	3.5
16項ロ	62	5	8.1	5	8.1	1	1.6	4	6.5	1	1.6
17項	4	3	75.0	3	75.0			3	75.0		
18項	0										
合計	936	200	21.4	177	18.9	24	2.6	178	19.0	24	2.6

## 7 防災管理等に係る状況

### 【防災管理とは】

多数の者が出入りする大規模・高層の防火対象物の管理権原者は、火災以外の災害として、地震や毒性物質等を用いたテロ災害等を想定し、それら被害の軽減に関する知識を有する者を防災管理者として選任し、防災管理に係る消防計画を作成する等、防災管理上の必要な業務を行わせなければなりません。

### 【自衛消防組織とは】

多数の者が出入りする大規模・高層の防火対象物の管理権原者は、防災管理業務を統括する統括管理者を含めた要員を置き、自衛消防組織を設置し、その旨を届け出なければなりません。

#### (1) 特定防火対象物 防災管理等状況

用途	自衛消防組織設置・防災管理者選任等状況					防災管理点検報告	
	対象数	自衛消防組織設置届	防災管理者選任済数	防災に係る消防計画作成数	防災に係る避難訓練実施数	防災管理点検報告数	防災管理点検特例認定数
1項イ	1	1	0				
5項イ	1	1	1	1	1	1	
6項イ	3	2	2	2	1	2	
6項ロ	1	1	1	1	1	1	
16項イ	9	8	9	9	6	7	1
合計	15	13	13	13	9	11	1
割合(%)		86.7	86.7	86.7	60.0	73.3	6.7

#### (2) 非特定防火対象物 防災管理等状況

用途	自衛消防組織設置・防災管理者選任等状況					防災管理点検報告	
	対象数	自衛消防組織設置届	防災管理者選任済数	防災に係る消防計画作成数	防災に係る避難訓練実施数	防災管理点検報告数	防災管理点検特例認定数
7項	6	5	5	5	3	2	1
12項イ	1	0	0				
15項	4	4	4	4	2	2	1
合計	11	9	9	9	5	4	2
割合(%)		81.8	81.8	81.8	45.5	36.4	18.2

8 各種届出・証明書等受付・交付状況

消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	
防火対象物使用開始届	164
炉設置届出書	1
厨房設備設置届出書	
温風暖房機設置届出書	
ボイラー設置届出書	13
給湯湯沸設備設置届出書	9
乾燥設備設置届出書	3
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	2
火花を生ずる設備設置届出書	
放電加工機設置届出書	
サウナ設備設置届出書	1
発電設備設置届出書	22
変電設備設置届出書	48
蓄電池設備設置届出書	34
燃料電池設備設置届	
急速充電設備設置届出書	
ネオン管灯設備設置届出書	
禁止行為の解除申請書	86
水素ガスを充填する気球の設置届出書	
火災とまざらわしい煙等を発するおそれのある行為の届出書	412
煙火打上げ・仕掛け届出書	13
催物開催届出書	
水道断水・減水届出書	
道路工事届出書	1,051
露店等の開設届出書	65
少量危険物・貯蔵取扱届出書	37
ミニローリー・貯蔵取扱届出書	
指定可燃物・貯蔵取扱届出書	14
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届	45
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書	10
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書	
指定可燃物・貯蔵取扱廃止届出書	3
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届	1
消防用設備等設置届	689
消防用設備等着工届	256
自衛消防組織設置届	9
自衛消防組織変更届	8
防火・防災管理者選任届	116
防火・防災管理者解任届	10
防火・防災管理者選解任届	354
統括防火・防災管理者選任届	1
統括防火・防災管理者解任届	1
統括防火・防災管理者選解任届	1
消防計画（防火・防災）作成	417
消防計画（防火・防災）変更届	139
全体についての消防計画（防火・防災）作成	1
全体についての消防計画（防火・防災）変更	
合計	4,036

通知書、意見書、証明書等交付状況	
消防法令適合通知書	2
消防法令適合通知書（住宅宿泊事業法用）	3
興行場等防火安全性に関する通知書	2
消防法令等遵守状況確認書	59
消防用設備等設置証明	
液化石油ガス意見書	
防災表示者認定申請	6
高圧ガス協議	
防火管理者終了証再交付	12
完成検査済証交付	69
合計	153



9 火災予防広報等活動状況

(1) 署所別 火災予防広報等活動件数

種別	合計	中央消防署	西出張所	北消防署	旭出張所	東消防署	東部出張所	三里出張所	南消防署
自主訓練	1,451	324	165	281	77	307	46	34	217
立会訓練	208	33	34	60	18	11	8	7	37
DVD立会	17					7			10
DVD貸出	5						1	3	1
水消火器	458	81	46	87	24	100	16	32	72

【DVD立会・DVD貸出】

防火・防災DVDを用いた研修等に、消防機関が立ち会ったものと立ち会わなかったものです。

【水消火器】

消火訓練に消防署の訓練用水消火器を使用又は貸し出したものです。

(2) 用途別 消防訓練立会件数

用途	合計	中央消防署	西出張所	北消防署	旭出張所	東消防署	東部出張所	三里出張所	南消防署
1項イ	2								2
1項ロ	4	1					3		
2項イ	0								
2項ロ	0								
2項ハ	0								
2項ニ	3		1	2					
3項イ	0								
3項ロ	1			1					
4項	3	1		1					1
5項イ	3	1		1		1			
5項ロ	2			1	1				
6項イ(1)	1		1						
6項イ(2)	0								
6項イ(3)	6			3	1			1	1
6項イ(4)	0								
6項ロ(1)	14		3	7	2		1		1
6項ロ(2)	0								
6項ロ(3)	2								2
6項ロ(4)	1			1					
6項ロ(5)	1								1
6項ハ(1)	9		1	4	2				2
6項ハ(2)	0								
6項ハ(3)	71	8	15	21	5	3	3	3	13
6項ハ(4)	0								
6項ハ(5)	5		1	1		1			2
6項ニ	15	3	4	3	2			1	2
7項	13	4	2	2	2		1		2
8項	1	1							
9項イ	0								
9項ロ	0								
10項	0								
11項	3	1							2
12項イ	3	1		1					1
12項ロ	0								
13項イ	0								
13項ロ	0								
14項	1							1	
15項	14	4		3	1	4			2
16項イ	26	7	5	7	2	2		1	2
16項ロ	1								1
17項	3	1	1	1					
18項	0								
合計	208	33	34	60	18	11	8	7	37

10 消防同意事務

【消防同意とは】

消防法第7条に基づき、同意を求められた建築物の火災予防について、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築物の火災予防について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。

署所別 消防同意処理状況（工事種別）

区分	署所 合計	中央消防署		北消防署		東消防署			南消防署
		中央署	西出張所	北署	旭出張所	東署	東部出張所	三里出張所	南署
新 築	285	54	26	55	51	57	7	10	25
増 築	43	9	5	4	7	5	2	5	6
改 築	1				1				
模様替	0								
移 転	1								1
修 繕	0								
用途変更	2			1					1
その他	1								1
合 計	333	63	31	60	59	62	9	15	34

## 11 防火クラブの状況

組 織	高知消防防火クラブ委員会（平成21年7月1日結成）		
	幼年消防クラブ	少年消防クラブ	女性防火クラブ
組織数	84	4	5
名 称	高知市内保育園・幼稚園等	内ノ谷少年消防クラブ (昭和59年5月1日結成)	潮江婦人消防クラブ (昭和61年3月9日結成) 薊野西町女性消防クラブ (平成19年10月13日結成)
		秦少年消防クラブ (昭和59年5月13日結成)	みさと女性防火クラブ (平成21年2月7日結成)
		弘中北少年消防クラブ (昭和59年5月1日結成)	土佐山女性防火クラブ (平成23年3月1日結成)
		潮江・港ジュニア 消防クラブ (令和4年10月30日結成)	かもだ女性防火クラブ (平成23年12月27日結成)

女性防火クラブの活動については、新型コロナウイルス感染症の影響から活動が縮小傾向でしたが、新たな活動取組みとして、住宅用火災警報器の普及について、感染対策を実施しながらいきいき百歳体操等の会場において、既存住宅に対する設置・維持管理の啓発を実施しました。また、一日震災訓練・リーダー研修への参加による防火・防災意識の向上も行っています。



一日震災訓練参加（住民救助隊養成研修・消火器取扱い訓練）



住宅用火災警報器普及啓発活動

危険物

1 行政区別危険物施設一覧表

令和5年3月31日

行政区	区分	製造所	貯蔵所						取扱所				合計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売	第二種販売		一般取扱所
	上 街		1			4				1		1		7
	高知街				5	18			1	1			6	32
	南 街		2	13	4	7			41	6	1		3	79
	北 街					2				1			1	4
	下 知		7	5	2	8			4	9	1	4	3	43
	江ノ口				1	18			15	10				44
	小高坂					3				1				4
	旭 街		1	1		6			1	3			1	13
	潮 江	2	23	11	7	12			8	3	17		12	95
	三 里		4		1	8			12		11		3	39
	五台山		7	38	2	5			43	9	5		5	114
	高 須		2	2	5	8				4			1	22
	布師田		4	3	3	7			11		8		2	38
	一 宮		3	1	5	5			1	13			2	30
	棗			1		3			1	4			1	10
	初 月			2	1	1			1	2			2	9
	朝 倉		3	1	2	10			3	8			1	28
	鴨 田		4	1		3				1	4		4	17
	長 浜		2	1	5	11			1	1	12		6	39
	御壺瀬		1							1				2
	浦 戸					1								1
	大 津		3	2	2	3			10	7				27
	介 良		2	1		5			1	4		1	1	15
	鏡					1				1				2
	土佐山					1				1				2
	春 野		1	10	3	11			42	1	14		8	90
	合計	2	70	93	48	161	0	196	21	144	3	6	62	806

2 署所別 危険物施設数

令和5年3月31日

署所	区分	製造所	貯蔵所						取扱所				合計	
			屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油取扱所	第一種販売	第二種販売		一般取扱所
中央署	中央	2	24	3	12	11	32		9	20	1		18	132
	西		7	1	2	2	13		3	12			5	45
北 署	北		3		9	4	29		5	26			5	81
	旭		1			1	9		1	3		1	1	17
東 署	東		18	6	14	25	37		79	36	2	4	10	231
	東部		2			1	5		1	4		1	1	15
	三里		11	9	3	38	13		54	16			8	152
南署			4	2	8	11	23		44	27			14	133
合計		2	70	21	48	93	161	0	196	144	3	6	62	806

3 消防手数料徴収状況

(単位：円)

区分	設置許可		変更許可		完成検査(設置)		完成検査(変更)		完成検査前検査				少量タンク検査		仮貯蔵仮取扱		仮使用承認		合計			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	水圧・水張 件数	金額	基礎・地盤 件数	金額	溶接部 件数	金額	水圧・水張 件数	金額	件数	金額	件数	金額		
令和4年	14	386,000	41	909,500	11	170,500	42	467,750	6	66,000	0	0	0	0	13	78,000	46	248,400	23	124,200	196	2,450,350

4 署所別・施設別 危険物施設設置察実施数

施設	署所			中央消防署			北消防署			東消防署			南消防署			予防課	実施件数	指導件数	是正件数
	中央署	西出張所	旭出張所	北署	旭出張所	東署	東部出張所	三里出張所	南署	実施数	施設数	東署	東部出張所	三里出張所	南署				
製造所																0	0	0	
屋内貯蔵所	24		7	3	1	18	2	11	3	4	5	2	11	3	4	9	3	2	
屋外貯蔵所	1		1			6		9	2	2	13		9	2	2	16	1	0	
屋内タンク	2		2	2	9	14			3	2	8			2	2	6	1	0	
屋外タンク	11		2	1	4	25	1	38	2	11	50	1	38	2	11	53	5	1	
地下タンク	4		13	5	29	37	5	13	8	23	2	5	13	8	23	22	9	4	
簡易タンク																0	0	0	
移動タンク	9		3	5	1	79	1	54	44	10	0	1	54	44	10	10	0	0	
給油取扱所	7		12	5	26	36	4	16	8	27	1	4	16	8	27	24	11	5	
販売取扱所	1				1	6	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0
一般取扱所	3		5	2	5	10	1	8	2	14	8	1	8	2	14	15	3	2	
実施数・施設数の小計	17	132	0	45	15	231	0	152	27	133	89	0	152	27	133	156	34	14	
実施数の合計		17		22		1			27		27			27		89			





# 119番等受信状況

通報種別	事案	受付種別														小計	比率(%)	
		本来の通報							本来以外の通報					その他				
		火災	救急	口頭指導(救急)	救助	自火報鳴動	訓練	その他(受付種別)	転送	いたずら	まちがい	問い合わせ	応答なし	医療情報	回線テスト			
119通報	覚知	119番固定	12	3,099	112	1	36	669	139	3	19	193	390	48	42	705	5,468	18.38%
		119番携帯	71	11,767	503	23	12	289	451	130	158	1,008	2,395	376	366	138	17,687	59.46%
		119IP	10	3,717	118	0	1	648	59	8	12	99	321	25	43	43	5,104	17.16%
		119番転入	2	142	6	0	0	2	2	0	0	1	8	0	3	2	168	0.56%
		計	95	18,725	739	24	49	1,608	651	141	189	1,301	3,114	449	454	888	28,427	95.56%
		比率	77.5%							17.8%					4.7%			
119番以外の通報		警察指令室	4	107	4	7	3	0	15	0	0	0	2	0	0	0	142	0.48%
		加入電話(固定)	0	243	1	0	1	0	21	0	0	0	1	0	0	1	268	0.90%
		加入電話(携帯)	3	51	0	0	0	0	16	0	0	0	1	0	0	0	71	0.24%
		緊急通報※1	0	53	0	0	0	0	2	0	0	15	7	19	3	4	103	0.35%
		専用線※2	1	154	1	3	0	0	25	0	0	0	0	0	0	1	185	0.62%
		駆付通報	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0.01%
		自己覚知	4	20	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	28	0.09%
		事後聞知	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.01%
		FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	45	46	0.15%
		Net119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	41	42	0.14%
		その他	11	7	0	2	0	65	31	0	0	3	7	4	0	300	430	1.45%
			計	25	638	6	13	4	65	114	0	0	20	18	23	3	392	1,321
		比率	65.5%							4.6%					29.9%			
		小計	120	19,363	745	37	53	1,673	765	141	189	1,321	3,132	472	457	1,280		
		合計	29,748															

3者通話による外国語対応 0件

- ※1 緊急通報システム会社からの通報
- ※2 専用回線による関係機関からの通報



# 火災統計

## 1 火災概要

項目		区分	令和4年	令和3年	増減	増減率	
			(A)	(B)	(A) - (B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$ (%)	
火災件数	計		101	75	26	34.7	
	建物		66	46	20	43.5	
	林野		5	2	3	150.0	
	車両		9	6	3	50.0	
	船舶		2				
	その他		19	21	▲ 2	▲ 9.5	
焼損棟数	計		97	57	40	70.2	
	全焼		17	9	8	88.9	
	半焼		2	8	▲ 6	▲ 75.0	
	部分焼		48	20	28	140.0	
	ぼや		30	20	10	50.0	
建物 m <sup>2</sup>	焼損床面積		4,612	1,167	3,445	295.2	
	焼損表面積		835	243	592	243.6	
林野焼損面積 (a)			25	24	1	4.2	
死傷者	死者		5	3	2	66.7	
	負傷者		19	10	9	90.0	
被災世帯	計		57	28	29	103.6	
	全損		13	4	9	225.0	
	半損		3	4	▲ 1	▲ 25.0	
	小損		41	20	21	105.0	
被災人員			108	55	53	96.4	
損害額 (千円)	計		282,556	167,408	115,148	68.8	
	建物	建物	107,129	41,552	65,577	133.6	
		収容物	164,460	74,733	89,727		
	林野						
	車両			3,392	1,571	1,821	115.9
	船舶			7,301			
	航空機						
	その他			274	49,552	▲ 49,278	▲ 99.4
* 出火率			3.2	2.3	0.9	39.1	

\* 出火率 人口1万人当たりの火災件数

▲ …… 減

## 2 火災件数

項目	年									
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数	151	108	99	82	100	88	80	77	75	101
* 出火率	4.5	3.2	2.9	2.5	3.0	2.7	2.4	2.4	2.3	3.2
出火率(全国)	3.7	3.4	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	2.7	2.8	2.9

\* 出火率 人口1万人当たりの火災件数

## 3 四季別発生状況

四季	令和3年				令和4年			
	件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春(3~5月)	19	25.4	16,663	9.9	21	20.8	16,241	5.8
夏(6~8月)	7	9.3	71	0.1	19	18.8	217,588	77.0
秋(9~11月)	18	24.0	51,850	31.0	21	20.8	2,381	0.8
冬(12~2月)	31	41.3	98,824	59.0	40	39.6	46,346	16.4
合計	75	100.0	167,408	100.0	101	100.0	282,556	100.0

4 行政区別発生状況

月 行政区	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上 街													0
高知街	1		1			1						3	6
南 街			1								2		3
北 街					1	1				1			3
下 知	1	1			2				1	1			6
江ノ口		1							2		1		4
小高坂	3								1	1		1	6
旭 街		2		1		1			2			2	8
潮 江			1		1			1				2	5
三 里	1		1		2	1	1	1				1	8
五台山													0
高 須				1		1		1	1				4
布師田			1										1
一 宮	1		1						1	1		1	5
秦	2									1			3
初 月					1			1					2
朝 倉	2	4	2			1				1			10
鴨 田	1	2					1					1	5
長 浜							1						1
御 壘 瀬													0
浦 戸													0
大 津	2					2		1					5
介 良			2			1							3
鏡						1					1		2
土佐山			2							1		1	4
春 野		4				1			1		1		7
合 計	14	14	12	2	7	11	3	5	9	7	5	12	101

## 5 建物用途別発生状況

用途 \ 年	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	件数	割合 %	件数	割合 %	件数	割合 %	件数	割合 %	件数	割合 %
住宅	14	23.7	16	29.6	15	36.6	19	41.3	25	37.9
共同住宅	15	25.4	7	13.0	9	21.9	5	10.9	11	16.7
その他	30	50.9	31	57.4	17	41.5	22	47.8	30	45.4
合計	59	100.0	54	100.0	41	100.0	46	100.0	66	100.0

## 6 建物用途別火災件数

用途 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住宅	5	5	3	1		3	1	1	3	1	1	1	25
共同住宅	3		2			1			1	1	1	2	11
準住宅													0
居住農林水産業併用													0
居住鉱工業併用													0
居住商業併用						1		1					2
居住サービス業併用							1		1	1	1		4
居住産業併用													0
事務所						1							1
店舗	1	2	1		1							1	6
工場, 作業場	1			1	1				2				5
倉庫		1	2		2	1		1					7
車庫													0
研究所													0
養畜舎													0
劇場, 映画館													0
旅館, ホテル					1								1
校舎, 体育館						1							1
病院, 診療所										1			1
遊技場													0
浴場													0
神社, 寺院													0
その他	2												2
合計	12	8	8	2	5	8	2	3	7	4	3	4	66

7 過去10年間の火災概況

項目 年	火災種別					焼損棟数	被災世帯数	被災人員数	建物焼損 (㎡)	床面積 焼損 (㎡)	建物焼損 (㎡)	林野焼損 (a)	死傷者		損害額 (千円)			主要出火原因
	合計	建物	林野	車両	船舶								その他	合計	建物	その他		
平成25年	151	88	4	6	1	52	238	2,628	854	35	7	32	147,563	146,640	923	○放火(疑い含む)46件 ○たばこ, こんろ各19件 ○たき火15件 ○電灯・電話等の配線12件 ○火遊び5件		
平成26年	108	66	4	8		30	134	2,641	519	22	6	18	175,867	172,657	3,210	○放火(疑い含む)27件 ○たばこ15件 ○こんろ12件 ○たき火9件 ○ストーブ7件		
平成27年	99	60	4	12		23	129	1,561	293	4	5	10	87,682	84,433	3,249	○放火(疑い含む)18件 ○たばこ13件 ○こんろ9件 ○たき火7件 ○ストーブ5件		
平成28年	82	51	5	6		20	113	911	284	14	6	20	44,464	44,020	444	○放火, たばこ各15件 ○こんろ9件 ○たき火6件 ○火遊び5件 ○電気機器, 電灯・電話等の配線各4件		
平成29年	100	55	6	8		31	69	1,090	297	1,713	2	19	68,171	57,574	10,597	○たき火16件 ○放火(疑い含む)15件 ○こんろ14件 ○たばこ9件 ○ストーブ, 電灯・電話等の配線各5件		
平成30年	88	59	2	5		22	94	666	243	27	2	12	21,839	20,678	1,161	○放火18件 ○こんろ11件 ○たき火7件 ○配線器具6件 ○たばこ, 電気機器, 電灯・電話等の配線各4件		
令和元年	80	54	3	6		17	109	1,913	817	32	5	19	133,730	133,086	644	○たばこ, こんろ各12件 ○電灯・電話等の配線, たき火各7件 ○放火4件 ○排気管, 電気装置, 配線器具各3件		
令和2年	77	41	7	4		25	76	1,154	1,235	11	2	15	68,117	66,011	2,106	○放火14件 ○たき火12件 ○たばこ8件 ○こんろ, 電気機器各6件 ○ストーブ5件		
令和3年	75	46	2	6		21	55	1,167	243	24	3	10	167,408	115,793	51,615	○放火(疑い含む)17件 ○たばこ10件 ○電灯・電話等の配線9件 ○たき火7件 ○こんろ5件		
令和4年	101	66	5	9	2	19	108	4,612	835	25	5	19	282,556	271,589	10,967	○こんろ17件 ○放火(疑い含む)16件 ○たばこ14件 ○たき火7件 ○ストーブ, 電気機器, 電灯・電話等の配線各5件		

## 8 死傷者の発生状況

### (1) 年齢別死者発生状況

年 \ 区分	新生児 0～28日	乳幼児 29日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	高齢者 65歳以上	不明	合計
令和3年				1	2		3
令和4年					5		5

### (2) 死者の発生した火災の一覧

時間帯	種別	年齢区分	出火場所	出火時に死者 がいた場所	死者の発生 した場所	死者の発生 した原因
15時台	建物	高齢者（男）	寝室	居室	居室	逃げ遅れ
20時台	建物	高齢者（男）	寝室	寝室	寝室	逃げ遅れ
6時台	建物	高齢者（女）	居室	居室	居室	自損
8時台	車両	高齢者（男）	車両	車両	車両	自損
6時台	建物	高齢者（女）	寝室	寝室	寝室	逃げ遅れ

(3) 負傷者発生状況

内訳	年	
	令和3年	令和4年
消防職・団員		1人
応急消火義務者	10人	16人
消防協力者		
その他の者		2人
合計	10人	19人

9 初期消火状況

種別	区分	初期消火状況							合計	
		水バケツ	粉末消火器	水道水	寝具・衣類	もみ消した	屋内消火栓	その他		初期消火なし
建物		1	13	28	5	2	1	4	12	66
林野				1					4	5
車両			2	3					4	9
船舶								1	1	2
その他			1	8		1		2	7	19
合計		1	16	40	5	3	1	7	28	101

10 月別火災統計

項目	火災種別				焼損棟数						建物焼損面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	死傷者		被災世帯数			被害														
	建物	林	車	船	その他	火元		類焼		合計				死者	負傷者	全	半	小	合計	建物	建物	林	車	船	航空機	その他	合計						
						全	半	全	部分																			部分	ぼ	合計	建物	収容物	野
1	12	1			1	14	3	6	3	2	1	7	1	23	598	409	8	4	4	2	10	16	35	30,788	6,834		54			73	37,749		
2	8	1	1		4	14	3	3	2		5	4	17	230	161	2	1	4	3		6	9	13	4,533	3,750		4			13	8,300		
3	8	2	2		12	2	6				1	1	10	124	120	3	2	1	1	6	7	8	6,438	1,692		2443			52	10,625			
4	2				2		1	1					2		9					1	1	3	61	125							186		
5	5	1			1	7	1	3	1		1		6	77	89							0	4,458	425		537			10	5,430			
6	8		1		2	11	3	2	3		5		13	3242	15		1	2	1	2	5	8	53,077	147,372					200	200,449			
7	2		1		3		1		1				2	43						1	2	4	752	755		7301			1	8,809			
8	3	1			1	5	2		1		2		5	219	13		2	1	2	3	7	5,899	2,409		20			2	8,330				
9	7				2	9	1	1	5				7	46						1	3	15	776	908				4	1,688				
10	4		3		7		2	2					4	33	7		1	1	3	6	3	6	336	153		194				683			
11	3	1			1	5		1	2		1		4		7	12				2	2	4	3	7						10			
12	4		1		7	12		1	3				4		5		1	1		3	5	8	30	140				119	297				
合計	66	5	9	2	19	101	15	1	26	24	2	1	22	6	97	4,612	835	25	5	19	13	3	41	57	108	107,129	164,460	0	3,392	7,301	0	274	282,556



11 署所別火災統計

項目 署所	火災種別					焼損棟数						被災世帯数			被災人員		死傷者		建物焼損床面積 (㎡)	建物焼損表面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	損害額 (千円)					
	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	火元			焼損種類			全	半	小	合計	死者	負傷者				建物	その他	合計			
							全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや													
中央署消防署	8				3	11	1		3	4		1			9	1	3	4	6	1	54	11		1,292	104	1,396	
西出張所	9	2	1		3	15	5	1	2	1	2	1	11	4	27	6	2	13	34	2	3,594	277	10	222,130	120	222,250	
小計	17	2	1		6	26	6	1	5	5	2	1	12	4	36	7	2	16	40	3	3,648	288	10	223,422	224	223,646	
北消防署	16		5		3	24	3		8	5					16	2	9	11	20	3	346	333		12,747	728	13,475	
旭出張所	8	1	1			10	3		2	3		7	2	17	3	1	4	8	15	2	266	38	12	18,252	140	18,392	
小計	24	1	6		3	34	6		10	8		7	2	33	5	1	13	19	35	5	612	371	12	30,999	868	31,867	
東消防署	15	2	1		5	23			7	8					15		5	5	11	2	24	97	3	4,448	20	4,468	
東部出張所	2					2			2					2			2	2	3	1	7	48		1,120		1,120	
三里出張所	3		1	2	2	8	2		1			2		5			1	1	5	3	237	25		8,502	9,842	18,344	
小計	20	2	2	2	7	33	2		10	8		2		22			8	8	19	6	268	170	3	14,070	9,862	23,932	
南消防署	5				3	8	1		1	3		1		6	1		4	5	14	2	84	6		3,098	13	3,111	
小計	5				3	8	1		1	3		1		6	1		4	5	14	2	84	6		3,098	13	3,111	
合計	66	5	9	2	19	101	15	1	26	24	2	1	22	6	97	13	3	41	57	108	5	4,612	835	25	271,589	10,967	282,556

12 気象別火災件数

気象		件数
風 向	N	5
	N N E	1
	N E	5
	E N E	2
	E	5
	E S E	6
	S E	6
	S S E	7
	S	6
	S S W	8
	S W	
	W S W	12
	W	14
	W N W	14
	N W	5
	N N W	1
静穏・不明	4	
合計	101	
天 候	快 晴	
	晴	49
	く も り	37
	雨・雷雨	13
	不 明	2
	合計	101
湿 度	30%未満	5
	30～50	24
	50～65	13
	65～80	22
	80%以上	34
	不明	3
	合計	101
風 速	1未満	2
	1～3	89
	4～6	7
	7以上	
	不明	3
	合計	101

13 時間帯別火災件数

年 時間帯	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	件数	件数	件数	件数	件数
0 時台	3	3	2	1	3
1 時台	1	4	3	3	3
2 時台		1	2	3	5
3 時台	1		1		1
4 時台	1	1	2	3	1
5 時台		1	2	1	5
6 時台	4	1	1	1	6
7 時台	8	4	3	1	2
8 時台		4	4	4	6
9 時台	1	4	5	2	2
10 時台	2	2	4	3	5
11 時台	5	4	3	3	5
12 時台	5	4	10	7	7
13 時台	7	5	4	3	6
14 時台	8	3	3	7	3
15 時台	6	3	3	2	5
16 時台	1	5	4	5	9
17 時台	7	3	3	4	8
18 時台	5	6	3	6	4
19 時台	2	6	5	4	3
20 時台	5	7	1	4	7
21 時台	4	4	3	3	2
22 時台	5	2	3	2	2
23 時台	2	3	3	3	1
不明	5				
合計	88	80	77	75	101

14 過去5年間の覚知別火災状況

覚知 種別 年	1 1 9		警 察	駆け付け	事後聞知	その他	合 計
	固定電話	携帯電話					
平成30年	17	24	4	1	40	2	88
令和元年	15	35	2		27	1	80
令和2年	15	36	3		19	4	77
令和3年	13	36			24	2	75
令和4年	16	41	6		32	6	101

15 過去5年間の曜日別火災件数

曜日 年	曜日							合計
	日	月	火	水	木	金	土	
平成30年	13	5	15	14	15	10	16	88
令和元年	14	11	13	11	13	10	8	80
令和2年	8	11	15	16	10	11	6	77
令和3年	14	11	14	8	8	11	9	75
令和4年	14	16	13	9	14	19	16	101
合 計	63	54	70	58	60	61	55	421

16 損害額別火災件数

1万円未満	1万円～ 10万円未満	10万円～ 100万円未満	100万円～ 1,000万円未満	1,000万円以上	合 計
42	21	17	17	4	101

17 原因別・火災別件数及び損害額

火災種別 出火原因	建 物		林 野		車 両		船 舶		その他		爆 発		合 計	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
たばこ	9	17,700			1	2			4	1			14	17,703
こんろ	17	5,590							0	1			17	5,591
かまど													0	0
風呂かまど													0	0
炉													0	0
焼却炉	1	129											1	129
ストーブ	5	7,850											5	7,850
こたつ	1	16,409			0	2			0	1			1	16,412
ボイラー													0	0
煙突・煙道									1	16			1	16
排気管													0	0
電気機器	4	7,450			1	140			0	1			5	7,591
電気装置					1	20	1	0					2	20
電灯・電話等の配線	2	7			1	4			2	4			5	15
内燃機関													0	0
配線器具	1	7,494							0	2			1	7,496
火遊び													0	0
マッチ・ライター					1	437							1	437
たき火	2	3,214	2	0					3	27			7	3,241
溶接機・溶断機	1	45											1	45
灯 火													0	0
衝突の火花													0	0
取 灰	1	0											1	0
火 入 れ			1	0									1	0
放 火	5	2,382			1	100			4	0			10	2,482
放火の疑い	1	1,307	1	0	1	43			3	3			6	1,353
そ の 他	11	3,787	1	0					1	150			13	3,937
不明・調査中	5	198,225			2	2,644	1	7,301	1	68			9	208,238
合 計	66	271,589	5	0	9	3,392	2	7,301	19	274	0	0	101	282,556

※件数ありかつ損害額なしのものは、損害額の合計が500円未満又は損害がないもの。  
 件数なしかつ損害額ありのものは、類焼による損害額を計上したもの。

18 原因別・月別件数及び損害額

出火原因	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計				
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	
たばこ	3	1,457	2	2,163	1	62	1	0	2	12,510	1	1,508									2	3	1	0	1	0	14	17,703	
こんろ	2	263	2	2,713	2	171			1	1,400			1	0	1	961	3	43	1	16	2	7	2	17	5,591	17	5,591		
かまど																										0	0	0	0
風呂かまど																										0	0	0	0
炉																										0	0	0	0
焼却炉											1	129														1	129	1	129
ストーブ	2	7,430	1	274	1	143																				5	7,850	5	7,850
こたつ	1	16,412																								1	16,412	1	16,412
ボイラー																										0	0	0	0
煙突・煙道																										1	16	1	16
排気管																										0	0	0	0
電気機器					1	98					1	1	1	7,347	1	5										5	7,591	5	7,591
電気装置										1	0															2	20	2	20
電灯・電話等の配線			2	9																						5	15	5	15
内燃機関																										0	0	0	0
配線器具					1	7,496																				1	7,496	1	7,496
火遊び																										0	0	0	0
マッチ・ライター									1	437																1	437	1	437
たき火	1	14	2	3,078	3	149									1	0										7	3,241	7	3,241
溶接機・切断機									1	45																1	45	1	45
灯																										0	0	0	0
衝突の火花																										0	0	0	0
取灰	1	0																								1	0	1	0
火入れ	1	0																								1	0	1	0
放火	1	1,826	3	63	1	25																				10	2,482	10	2,482
放火の疑い			2	0	1	43																				6	1,353	6	1,353
その他	1	29			1	100																				13	3,937	13	3,937
不明・調査中	1	10,318			1	2,400	1	124	1	1,221	3	186,782	1	7,301												9	208,238	9	208,238
合計	14	37,749	14	8,300	12	10,625	2	186	7	5,430	11	200,449	3	8,809	5	8,330	9	1,688	7	683	5	10	12	297	101	282,556	101	282,556	

※件数ありかつ損害額なしのものは、損害額の合計が500円未満又は損害又は損害額が500円未満又は損害額が500円未満かつ損害額ありのものは、類焼による損害額を計上したものの、件数なしかつ損害額がないものは、類焼による損害額を計上したものの。

# 救急統計

## 1 救急出動件数及び搬送人員の推移

年	救急出動件数 (件)		搬送人員 (人)			
	(件)	増減数 (増減率)	(人)	増減数 (増減率)	男	女
平成29年	17,962	635 (3.7%)	16,508	590 (3.8%)	7,818	8,690
平成30年	18,788	826 (4.6%)	17,173	665 (4.0%)	8,187	8,986
令和元年	18,816	28 (0.1%)	17,242	69 (0.4%)	8,387	8,855
令和2年	17,299	▲ 1,517 (▲ 8.1%)	15,779	▲ 1,463 (▲ 8.5%)	7,542	8,237
令和3年	17,860	561 (3.2%)	16,384	605 (3.8%)	7,803	8,581
令和4年	20,432	2,572 (14.4%)	18,183	1,799 (11.0%)	8,751	9,432

## 2 救急出動件数及び平均所要時間の推移

年	出動件数 (件)	入電～ 現場到着(分)	現場到着～ 搬送開始(分)	搬送開始～ 病院到着(分)	合計(分)
平成29年	17,962	8.6	16.6	8.5	33.7
平成30年	18,788	8.6	17.6	8.7	34.9
令和元年	18,816	8.6	18.0	8.7	35.3
令和2年	17,299	9.0	17.9	8.9	35.8
令和3年	17,860	9.1	16.6	9.0	34.7
令和4年	20,432	9.6	19.4	9.8	38.8

### 3 事故種別の救急出動件数（対前年比）

事故種別	令和4年		令和3年		対前年比	
	出動件数	構成比	出動件数	構成比	増減数	増減率
火災	52	0.3%	28	0.2%	24	85.7%
自然災害	1	0.0%			1	
水難	19	0.1%	8	0.0%	11	137.5%
交通事故	1,312	6.4%	1,286	7.2%	26	2.0%
労働災害	137	0.7%	108	0.6%	29	26.9%
運動競技	121	0.6%	99	0.6%	22	22.2%
一般負傷	3,277	16.0%	2,769	15.5%	508	18.3%
加害	79	0.4%	83	0.5%	▲ 4	▲ 4.8%
自損行為	194	0.9%	196	1.1%	▲ 2	▲ 1.0%
急病	13,597	66.5%	11,691	65.5%	1,906	16.3%
転院搬送	1,611	7.9%	1,539	8.6%	72	4.7%
その他	32	0.2%	53	0.3%	▲ 21	▲ 39.6%
合計	20,432	100%	17,860	100%	2,572	14.4%

※上表は出動時の事故種別から抽出

（注）端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

### 4 事故種別の搬送人員（対前年比）

事故種別	令和4年		令和3年		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	増減数	増減率
火災	11	0.1%	7	0.0%	4	57.1%
自然災害	2	0.0%			2	
水難	8	0.0%	6	0.0%	2	33.3%
交通事故	1,175	6.5%	1,176	7.2%	▲ 1	▲ 0.1%
労働災害	147	0.8%	122	0.7%	25	20.5%
運動競技	120	0.7%	103	0.6%	17	16.5%
一般負傷	3,201	17.6%	2,603	15.9%	598	23.0%
加害	60	0.3%	69	0.4%	▲ 9	▲ 13.0%
自損行為	151	0.8%	151	0.9%		
急病	11,707	64.4%	10,608	64.7%	1,099	10.4%
転院搬送	1,599	8.8%	1,538	9.4%	61	4.0%
その他	2	0.0%	1	0.0%	1	100.0%
合計	18,183	100%	16,384	100%	1,799	11.0%

※上表は搬送時の事故種別から抽出

（注）端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

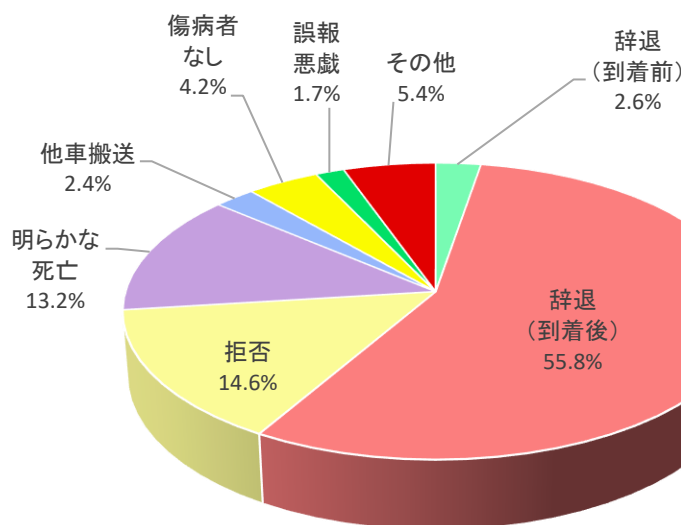
## 5 事故種別不搬送理由別件数

事故種別	区分	辞退 (到着前)	辞退 (到着後)	拒否	明らかな 死亡	他車搬送	傷病者 なし	誤報 悪戯	その他	合計	
										件数	割合
火災			1		1		35	1		38	1.6%
自然災害										0	0.0%
水難			1		5				4	10	0.4%
交通事故		1	105	40		15	9		3	173	7.5%
労働災害			2		2	1			1	6	0.3%
運動競技			2						1	3	0.1%
一般負傷		6	169	75	13	7	7	1	9	287	12.4%
加害		1	9	7			1	3	1	22	1.0%
自損行為		2	11	11	26		2	1	2	55	2.4%
急病		48	983	204	256	31	36	25	93	1,676	72.6%
転院搬送		2	1	1	1	1	1		4	11	0.5%
その他		1	4		1	1	7	8	7	29	1.3%
合計		61	1,288	338	305	56	98	39	125	2,310	100%

※上表は出動時の事故種別から抽出

(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

## 6 不搬送理由別割合



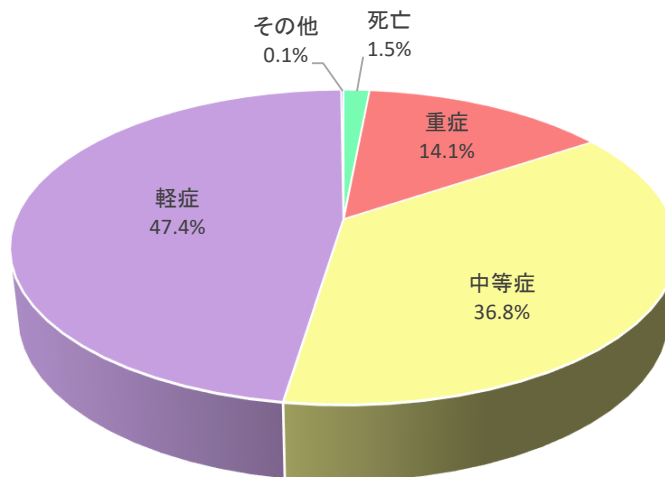
(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。



## 7 事故種別傷病程度別搬送人員

事故種別 \ 区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災	1		7	3		11
自然災害			1	1		2
水難	1	2	2	2	1	8
交通事故	6	74	208	887		1,175
労働災害	2	18	46	80	1	147
運動競技		1	35	83	1	120
一般負傷	22	446	1058	1667	8	3,201
加害			5	55		60
自損行為	14	30	40	67		151
急病	221	1492	4330	5653	11	11,707
転院搬送	5	508	954	129	3	1,599
その他			2			2
合計	272	2,571	6,688	8,627	25	18,183

## 8 傷病程度別搬送割合



※ 初診時における傷病程度は次による。

- (1) 死亡：初診時において死亡が確認されたもの。
  - (2) 重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
  - (3) 中等症：傷病程度が重症または軽症以外のもの。
  - (4) 軽症：傷病程度が入院加療を必要としないもの。
  - (5) その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの。
- (注) 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

9 年齢区分別の搬送人員及び人口当たり搬送割合

	搬送人員の合計		新生児乳幼児		少年		成人		高齢者						
									(65～74歳)		(75～84歳)		(85歳以上)		
平成29年	16,508	4.9%	581	3.1%	591	1.8%	5,011	2.7%	10,325 11.0%						
	(334,049)		(18,896)		(33,029)		(188,430)		(93,694)	2,790	5.8%	3,758	12.5%	3,777	23.9%
									(47,824)	(30,098)	(15,772)				
平成30年	17,173	5.2%	522	2.8%	621	1.9%	5,290	2.8%	10,740 11.3%						
	(332,276)		(18,557)		(32,682)		(186,253)		(94,784)	2,911	6.1%	3,932	12.9%	3,897	23.7%
									(47,790)	(30,521)	(16,473)				
令和元年	17,242	5.2%	552	3.0%	609	1.9%	5,236	2.8%	10,845 11.3%						
	(330,167)		(18,140)		(32,004)		(184,349)		(95,674)	3,003	6.3%	3,976	12.8%	3,866	22.7%
									(47,580)	(31,073)	(17,021)				
令和2年	15,779	4.8%	393	2.2%	480	1.5%	4,563	2.5%	10,343 10.7%						
	(327,575)		(17,492)		(31,537)		(182,189)		(96,357)	2,625	5.6%	3,619	11.4%	4,099	23.5%
									(47,136)	(31,775)	(17,446)				
令和3年	16,384	5.0%	537	3.2%	535	1.7%	4,613	2.6%	10,699 11.0%						
	(325,218)		(16,791)		(31,050)		(180,281)		(97,096)	2,730	5.7%	3,683	11.7%	4,286	23.8%
									(47,531)	(31,522)	(18,043)				
令和4年	18,183	5.6%	560	3.4%	632	2.1%	4,985	2.8%	12,006 12.3%						
	(322,526)		(16,281)		(30,565)		(178,372)		(97,308)	2,746	5.9%	4,319	13.5%	4,941	26.9%
									(46,916)	(31,994)	(18,398)				

※ ( ) 内の数字については高知市ホームページの「地域別・年齢別人口(令和4年1月1日)」を引用

10 年齢区分別事故種別の搬送人員

事故種別	年齢区分	年齢区分					合計
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
急病			350	302	3,204	7,851	11,707
交通事故			19	166	618	372	1,175
一般負傷		1	139	76	535	2,450	3,201
転院搬送		33	17	12	275	1,262	1,599
上記以外			1	76	353	71	501
合計		34	526	632	4,985	12,006	18,183

## 11 年齢区分別傷病程度別の搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡			1 (0.2%)	44 (0.9%)	227 (1.9%)	272 (1.5%)
重症	4 (11.8%)	2 (0.4%)	18 (2.8%)	470 (9.4%)	2,077 (17.3%)	2,571 (14.1%)
中等症	29 (85.3%)	116 (22.1%)	95 (15.0%)	1,180 (23.7%)	5,268 (43.9%)	6,688 (36.8%)
軽症	1 (2.9%)	408 (77.6%)	517 (81.8%)	3,287 (65.9%)	4,414 (36.8%)	8,627 (47.4%)
その他			1 (0.2%)	4 (0.1%)	20 (0.2%)	25 (0.1%)
合計	34 (100%)	526 (100%)	632 (100%)	4,985 (100%)	12,006 (100%)	18,183 (100%)

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

## 12 急病に係る発生場所別年齢区分別搬送人員

発生場所 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
住宅		295	174	2,234	5,863	8,566 (73.2%)
遊技場			1	63	32	96 (0.8%)
店舗		10	13	244	172	439 (3.7%)
医療機関			1	27	14	42 (0.4%)
宿泊施設		3	8	55	20	86 (0.7%)
各種養老施設				43	1,351	1,394 (11.9%)
各種学校		25	66	33	6	130 (1.1%)
その他公衆出入場所		6	13	118	92	229 (2.0%)
仕事場		1		94	36	131 (1.1%)
道路・公園等		8	21	235	210	474 (4.0%)
その他		2	5	58	55	120 (1.0%)
合計	0	350	302	3,204	7,851	11,707 (100%)

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

※発生場所は次による。

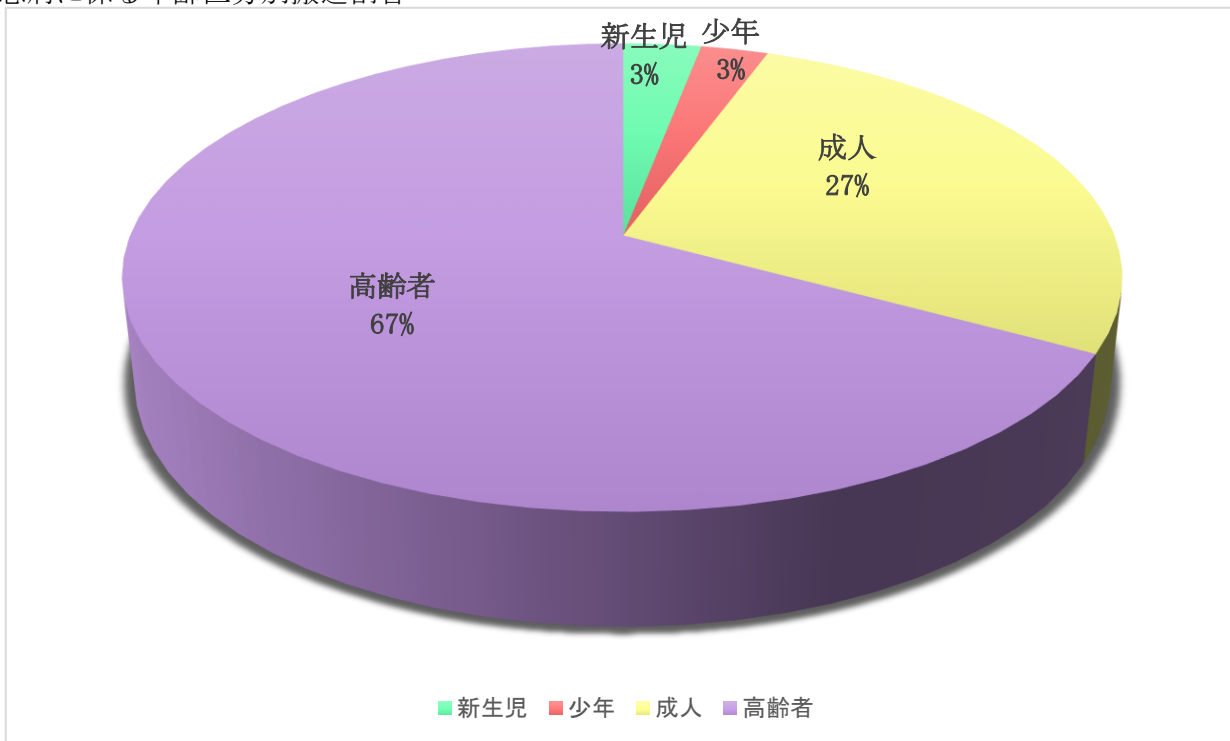
- (1) 住宅 住宅(玄関、庭等を含む)
- (2) 遊技場 劇場・演芸場等、映画館、集会場、スナック・バー等、ボーリング場、パチンコ店、カラオケ店、ゲームセンター  
競馬場、競輪場、その他遊技場等
- (3) 店舗 飲食店、大規模小売店舗、その他小売店舗、展示場等
- (4) 医療機関等 接(整)骨院、病院、診療所(医院)等
- (5) 宿泊施設 ホテル、旅館等
- (6) 各種養老施設 老人ホーム、介護施設等
- (7) 各種学校 幼稚園、各種養護学校、小学校、中学校、高等学校、大学等
- (8) その他公衆出入場所 図書・博物館、公衆浴場、駅構内、空港、寺社・教会等、撮影スタジオ、駐車場・車庫、地下街、運動・競技施設  
官公庁、動・植物園、遊園地、キャンプ場等
- (9) 仕事場 工場・屋内作業所、屋外作業所、屋内工事現場、屋外工事現場、事務・事業所、格納庫、倉庫等
- (10) 道路・公園等 道路、公園・広場、河川敷、堤防、空き地等
- (11) その他 上記以外の場所

13 急病に係る傷病程度別の年齢区分別搬送人員

傷病程度 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				31 (1.0%)	190 (2.4%)	221 (1.9%)
重症		1 (0.3%)	2 (0.7%)	292 (9.1%)	1,197 (15.2%)	1,492 (12.7%)
中等症		84 (24.0%)	49 (16.2%)	705 (22.0%)	3,492 (44.5%)	4,330 (37.0%)
軽症		265 (75.7%)	251 (83.1%)	2,173 (67.8%)	2,964 (37.8%)	5,653 (48.3%)
その他				3 (0.1%)	8 (0.1%)	11 (0.1%)
合計	0 (0%)	350 (100%)	302 (100%)	3,204 (100%)	7,851 (100%)	11,707 (100%)

(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

14 急病に係る年齢区分別搬送割合



(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

15 急病に係る疾病分類別年齢区分別搬送人員

年齢区分 疾病分類		年齢区分					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
新生物					32 (1.0%)	171 (2.2%)	203 (1.7%)
精神系				26 (8.6%)	349 (10.9%)	103 (1.3%)	478 (4.1%)
感覚系			24 (6.9%)	43 (14.2%)	173 (5.4%)	264 (3.4%)	504 (4.3%)
循環器系	脳疾患				146 (4.6%)	738 (9.4%)	884 (7.6%)
	心疾患等			6 (2.0%)	176 (5.5%)	888 (11.3%)	1,070 (9.1%)
呼吸器系			51 (14.6%)	19 (6.3%)	152 (4.7%)	920 (11.7%)	1,142 (9.8%)
消化器系			19 (5.4%)	30 (9.9%)	444 (13.9%)	722 (9.2%)	1,215 (10.4%)
泌尿器系				6 (2.0%)	195 (6.1%)	555 (7.1%)	756 (6.5%)
その他			70 (20.0%)	83 (27.5%)	737 (23.0%)	1,818 (23.2%)	2,708 (23.1%)
症状診断名不明確			186 (53.1%)	89 (29.5%)	800 (25.0%)	1,672 (21.3%)	2,747 (23.5%)
合計		0 (0%)	350 (100%)	302 (100%)	3,204 (100%)	7,851 (100%)	11,707 (100%)

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

※ 傷病名の分類はWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類により分類された次によるものである。

- (1) 脳疾患：「IX循環器系の疾患」のうち「a-0904脳梗塞」及び「a-0905その他の脳疾患」
- (2) 心疾患等：「IX循環器系の疾患」のうち「a0901高血圧性疾患」から「a-0903その他の心疾患」まで及び「a-0906その他循環器系の疾患」
- (3) 消化器系：「XI消化器系の疾患」
- (4) 呼吸器系：「X呼吸器系の疾患」
- (5) 精神系：「V精神及び行動の障害」
- (6) 感覚系：「VI神経系の疾患」, 「VII眼及び付属器の疾患」及び「VIII耳及び乳様突起の疾患」
- (7) 泌尿器系：「XIV腎尿路生殖器系の疾患」
- (8) 新生物：「II新生物」
- (9) その他：上記以外の大分類項群「I・III・IV・XII・XIII・XV・XVI・XVII・XIX・XX・XXI」に分類されるもの及び医療機関以外に搬送されたもの。
- (10) 症状診断名不明確：「XVIII症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」

16 急病に係る年齢区分別受傷形態

年齢区分 受傷形態	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
頭痛、頭重等		1 (▲ 3)	25 (15)	166 (28)	153 (▲ 22)	345 (18)
胸痛、胸苦等		2 (2)	6	162 (▲ 5)	400 (▲ 19)	570 (▲ 22)
腹痛、膨満等		8 (▲ 1)	46 (12)	514 (37)	443 (▲ 18)	1,011 (30)
腰・背部痛			3 (3)	137 (▲ 20)	246 (▲ 45)	386 (▲ 62)
四肢痛		1 (1)	1	69 (6)	207 (▲ 10)	278 (▲ 3)
その他の痛み		1 (▲ 2)	2	39	82 (▲ 8)	124 (▲ 10)
悪心(気分が悪くなったもの)		1	8 (▲ 2)	79 (▲ 8)	150 (5)	238 (▲ 5)
嘔気・嘔吐		15 (▲ 5)	16 (4)	142 (7)	285 (44)	458 (50)
めまい			4 (2)	225 (6)	403	632 (8)
動悸(息苦しい)		2 (1)	4 (1)	112 (2)	240 (25)	358 (29)
意識障害	(▲ 1)	14 (1)	30 (5)	258 (26)	1,105 (194)	1,407 (225)
知覚障害			(▲ 1)	4 (▲ 3)	11 (6)	15 (2)
言語障害				14 (▲ 5)	90 (11)	104 (6)
排泄障害				9 (2)	47 (▲ 6)	56 (▲ 4)
睡眠障害				(▲ 1)	1 (▲ 1)	1 (▲ 2)
精神障害			(▲ 1)	21 (▲ 4)	5 (1)	26 (▲ 4)
運動マヒ・失調			1	69 (14)	250 (▲ 3)	320 (11)
呼吸障害・困難	(▲ 1)	17 (11)	28 (10)	230 (3)	730 (81)	1,005 (104)
発熱		76 (27)	35 (27)	253 (111)	984 (222)	1,348 (387)
けいれん		187 (▲ 27)	56 (16)	114 (▲ 8)	85 (21)	442 (2)
脱力感(ぐったり)	(▲ 1)	6 (2)	16 (3)	179 (27)	903 (177)	1,104 (208)
しびれ			3	74 (2)	74 (▲ 16)	151 (▲ 14)
下痢		1 (1)	2 (2)	15 (12)	22 (5)	40 (20)
発疹		3 (▲ 1)	5 (▲ 2)	14 (5)	12 (1)	34 (3)
浮腫				3 (2)	18 (4)	21 (6)
喀血				(▲ 1)	12 (2)	12 (1)
吐血				18 (▲ 8)	60 (1)	78 (▲ 7)
下血				15 (▲ 6)	91 (21)	106 (15)
鼻出血		3 (▲ 1)	4 (3)	16	47 (▲ 2)	70 (0)
性器出血			1 (1)	7 (▲ 2)	5 (▲ 1)	13 (▲ 2)
産科疾患(正常分娩を除く)				3 (▲ 4)		3 (▲ 4)
自宅療養中病状悪化によるもの				2	16 (9)	18 (9)
酩酊、泥酔			1 (1)	103 (26)	6 (▲ 7)	110 (20)
その他の急病	(▲ 2)	12 (2)	5 (▲ 11)	138 (▲ 28)	668 (123)	823 (84)
合計	0 (▲ 5)	350 (8)	302 (88)	3,204 (213)	7,851 (795)	11,707 (1,099)

※ ( ) 内の数値は前年比増減数

17 一般負傷に係る発生場所別年齢区分別搬送人員

発生場所	年齢区分					合計	
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		
住宅	1	98	18	245	1,514	1,876	(58.6%)
遊技場		1		15	11	27	(0.8%)
店舗		4	1	44	80	129	(4.0%)
医療機関					5	5	(0.2%)
宿泊施設		3	1	6	6	16	(0.5%)
各種養老施設				4	284	288	(9.0%)
各種学校		8	28	5	4	45	(1.4%)
その他公衆出入場所		8	1	37	62	108	(3.4%)
仕事場		1		10	12	23	(0.7%)
道路・公園等		15	25	135	407	582	(18.2%)
その他		1	2	34	65	102	(3.2%)
合計	1	139	76	535	2,450	3,201	(100%)

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

※発生場所は次による。

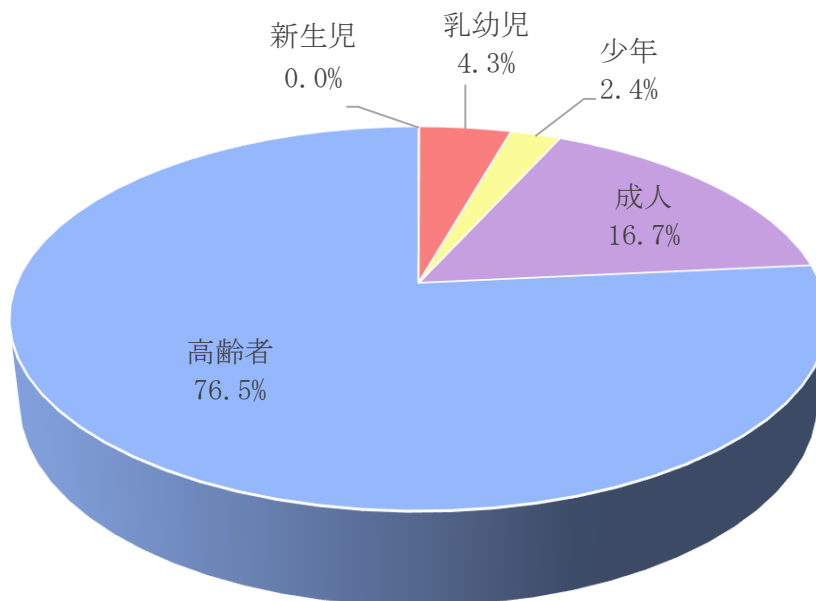
- (1) 住宅 住宅(玄関、庭等を含む)
- (2) 遊技場 劇場・演芸場等、映画館、集会場、スナック・バー等、ボーリング場、パチンコ店  
カラオケ店、ゲームセンター競馬場、競輪場、その他遊技場等
- (3) 店舗 飲食店、大規模小売店舗、その他小売店舗、展示場等
- (4) 医療機関等 接(整)骨院、病院、診療所(医院)等
- (5) 宿泊施設 ホテル、旅館等
- (6) 各種養老施設 老人ホーム、介護施設等
- (7) 各種学校 幼稚園、各種養護学校、小学校、中学校、高等学校、大学等
- (8) その他公衆出入場所 図書・博物館、公衆浴場、駅構内、空港、寺社・教会等、撮影スタジオ、駐車場・車庫  
地下街、運動・競技施設、官公庁、動・植物園、遊園地、キャンプ場等
- (9) 仕事場 工場・屋内作業所、屋外作業所、屋内工事現場、屋外工事現場、事務・事業所、格納庫、倉
- (10) 道路・公園等 道路、公園・広場、河川敷、堤防、空き地等
- (11) その他 上記以外の場所

18 一般負傷に係る傷病程度別の年齢区分別搬送人員

傷病程度 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				2 (0.4%)	20 (0.8%)	22 (0.7%)
重症			4 (5.3%)	35 (6.5%)	407 (16.6%)	446 (13.9%)
中等症	1 (100.0%)	16 (11.5%)	12 (15.8%)	113 (21.1%)	916 (37.4%)	1,058 (33.1%)
軽症		123 (88.5%)	60 (78.9%)	385 (72.0%)	1099 (44.9%)	1,667 (52.1%)
その他					8 (0.3%)	8 (0.2%)
合計	1 (100%)	139 (100%)	76 (100%)	535 (100%)	2,450 (100%)	3,201 (100%)

(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

19 一般負傷に係る年齢区分別搬送割合

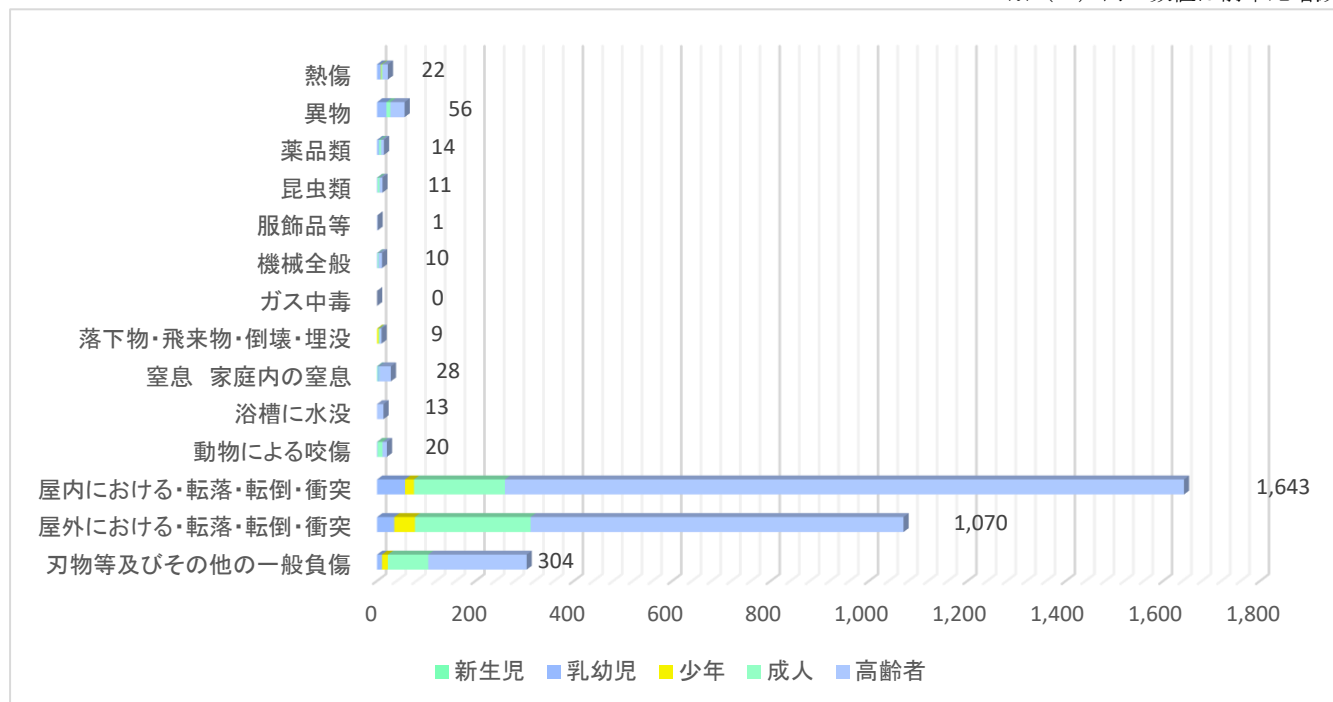




20 一般負傷に係る年齢区分別受傷形態

受傷形態	年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
熱傷			8 (2)	1 (▲ 2)	2 (▲ 3)	11 (3)	22 (0)
異物			19 (9)	(▲ 2)	8 (6)	29 (▲ 13)	56 (0)
薬品類			4 (1)	(▲ 1)	4 (▲ 4)	6 (▲ 4)	14 (▲ 8)
昆虫類			1		4	6 (1)	11 (1)
服飾品等			(5)		(1)	1	1 (6)
機械全般			1 (1)		2 (▲ 1)	7 (1)	10 (1)
ガス中毒							0 (0)
落下物・飛来物・倒壊・埋没				3 (▲ 3)	2 (1)	4 (1)	9 (▲ 1)
窒息 家庭内の窒息		1 (1)	3 (1)	(▲ 1)	1	23 (3)	28 (4)
浴槽に水没			(▲ 1)		(▲ 1)	13 (4)	13 (2)
動物による咬傷			1	(▲ 1)	10 (6)	9	20 (5)
屋内における・転落・転倒・衝突			57 (▲ 2)	18 (1)	185 (20)	1,383 (208)	1,643 (227)
屋外における・転落・転倒・衝突			35 (10)	42 (13)	235 (60)	758 (101)	1,070 (184)
刃物等及びその他の一般負傷			10 (▲ 3)	12 (▲ 4)	82 (42)	200 (137)	304 (172)
合計		1 (1)	139 (23)	76 (0)	535 (127)	2,450 (442)	3,201 (593)

※ ( ) 内の数値は前年比増減数



21 行政区別事故種別出動件数

街区	街区別人口	高齢者(65歳~)の占める割合	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計	出人口に数対する割合	傷す出病者心肺停止の割合
上街	2,997	35.4%			1	22	1		32		3	134 (2)	85	1	279 (2)	9.3%	0.7%
高知街	5,261	33.1%	1			55 (1)	6	8	191	26	9	692 (9)	95 (1)	1	1,084 (11)	20.6%	1.0%
南街	3,061	32.6%	1			28 (1)	3		40	2		169	55		298 (1)	9.7%	0.3%
北街	3,668	29.1%	1			25	1		53 (1)	3	4	226	4		317 (1)	8.6%	0.3%
下知	15,768	22.3%	4		1	121	12	3	150	2	15 (1)	599 (14)	70	1	978 (16)	6.2%	1.6%
江ノ口	17,304	31.0%	4		1	94	2	1	234 (1)	4	13	903 (14)	177	6	1,439 (15)	8.3%	1.0%
小高坂	9,290	30.6%	4 (1)		1	29	1	2	83 (1)	1	5	359 (7)	83	1	569 (9)	6.1%	1.6%
旭街	33,975	32.0%	6		1	125	7	5	355 (2)	6	15 (2)	1,325 (30)	150	3	1,998 (34)	5.9%	1.7%
潮江	26,394	31.1%	3		1 (1)	171 (2)	17 (1)	57	353 (2)	6	16 (1)	1,423 (25)	72	2	2,121 (32)	8.0%	1.5%
三里	11,104	36.8%	4		2	32	11 (1)	1	96 (1)	1	9	489 (13)	72	2	719 (15)	6.5%	2.1%
五台山	2,304	41.6%				17	3	4	23	1	1	113 (2)	17		179 (2)	7.8%	1.1%
高須	12,305	24.4%	1			58	4	5	100 (2)	1	2	488 (9)	25	2	686 (11)	5.6%	1.6%
布師田	1,448	34.4%				22	2		10 (1)			49 (3)			83 (4)	5.7%	4.8%
一宮	25,251	27.1%	3			54 (1)	7	1	194 (3)	2	16 (1)	947 (20)	113 (1)		1,337 (26)	5.3%	1.9%
秦	16,854	28.8%	1			31	6		162 (2)		6 (2)	551 (8)	78	1	836 (12)	5.0%	1.4%
初月	15,965	25.7%	1			37	4		95 (2)	3	11	459 (8)	4		614 (10)	3.8%	1.6%
朝倉	27,550	29.2%	6		1	90 (1)	11	5	257 (3)	3	19	1126 (29)	171	6	1,695 (33)	6.2%	1.9%
鴨田	25,932	29.5%	2			74	6	5 (1)	237 (3)	8	12	916 (18)	45	1	1,306 (22)	5.0%	1.7%
長浜	25,643	33.4%	2			86	19	2	262 (6)	6	13 (2)	1058 (26)	103 (3)	2	1,553 (37)	6.1%	2.4%
御畳瀬	287	64.8%			1				5	1		14			21 (0)	7.3%	0.0%
浦戸	814	52.1%			6	2	2		6			60			76 (0)	9.3%	0.0%
大津	10,371	26.2%	1			32	6	4	81 (2)	1	10 (2)	374 (8)	96		605 (12)	5.8%	2.0%
介良	12,671	27.4%	2	1		36	1	5	86 (1)	2	8	410 (10)	8	1	560 (11)	4.4%	2.0%
鏡	1,189	44.6%	1			3			14		3 (7)	46			67 (7)	5.6%	10.4%
土佐山	920	39.7%				7			19		1	34	2		63 (0)	6.8%	0.0%
春野	14,422	36.8%	3		2	58	5	13	138 (7)		3 (2)	633 (24)	86	2	943 (33)	6.5%	3.5%
高速道路			1			1									2 (0)	—	0.0%
管外その他					1	2 (1)	(1)		1						4 (2)	—	50.0%
合計	322,748	30.1%	52 (1)	1 (0)	19 (2)	1,312 (7)	137 (3)	121 (1)	3,277 (40)	79 (0)	194 (20)	13,597 (279)	1,611 (5)	32 (0)	20,432 (358)	6.3%	1.8%

※ ( ) 内は心肺停止傷病者に対する出動件数

※街区別人口については高知市ホームページの「地域別・年齢別人口(令和4年1月1日)」を引用

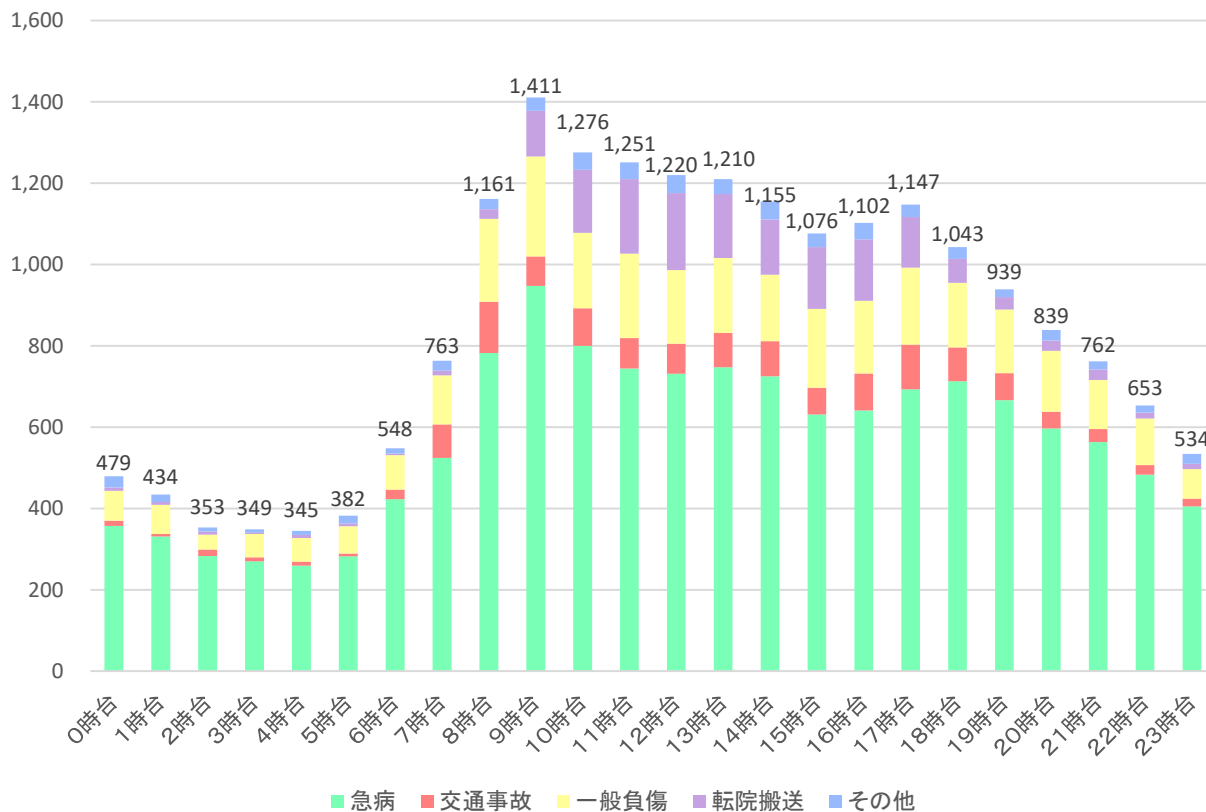
22 月別事故種別出動件数及び搬送人員

	急病		交通事故		一般負傷		転院搬送		左記以外		合計		
	件数	対前年 (増減比)	件数	対前年 (増減比)	件数	対前年 (増減比)	件数	対前年 (増減比)	件数	対前年 (増減比)	件数	対前年 (増減比)	
1月	1,127	180 (19.0%)	87	▲8 (▲8.4%)	268	6 (2.3%)	138	▲11 (▲7.4%)	55	8 (17.0%)	1,675	175 (11.7%)	
2月	991	155 (18.5%)	77	2 (2.7%)	237	30 (14.5%)	145	33 (29.5%)	46	▲5 (▲9.8%)	1,496	215 (16.8%)	
3月	1,074	157 (17.1%)	111	9 (8.8%)	263	46 (21.2%)	142	3 (2.2%)	50	1 (2.0%)	1,640	216 (15.2%)	
4月	978	125 (14.7%)	106	▲1 (▲0.9%)	272	61 (28.9%)	104	▲29 (▲21.8%)	44	▲9 (▲17.0%)	1,504	147 (10.8%)	
5月	1,043	66 (6.8%)	117	5 (4.5%)	258	27 (11.7%)	147	39 (36.1%)	49	▲3 (▲5.8%)	1,614	134 (9.1%)	
6月	1,045	114 (12.2%)	111	6 (5.7%)	267	70 (35.5%)	118	▲23 (▲16.3%)	69	33 (91.7%)	1,610	200 (14.2%)	
7月	1,373	223 (19.4%)	112	▲3 (▲2.6%)	265	35 (15.2%)	122	4 (3.4%)	69	13 (23.2%)	1,941	272 (16.3%)	
8月	1,478	374 (33.9%)	107	▲3 (▲2.7%)	220	2 (0.9%)	128	▲9 (▲6.6%)	44	2 (4.8%)	1,977	366 (22.7%)	
9月	1,113	156 (16.3%)	109	16 (17.2%)	235	57 (32.0%)	136	25 (22.5%)	49	8 (19.5%)	1,642	262 (19.0%)	
10月	1,017	58 (6.0%)	115	▲11 (▲8.7%)	329	59 (21.9%)	110	▲11 (▲9.1%)	51	5 (10.9%)	1,622	100 (6.6%)	
11月	1,016	▲7 (▲0.7%)	127	11 (9.5%)	245	▲4 (▲1.6%)	147	26 (21.5%)	50		1,585	26 (1.7%)	
12月	1,342	305 (29.4%)	133	3 (2.3%)	418	119 (39.8%)	174	25 (16.8%)	59	7 (13.5%)	2,126	459 (27.5%)	
合計	13,597	1,906 (16.3%)	1,312	26 (2.0%)	3,277	508 (18.3%)	1,611	72 (4.7%)	635	60 (10.4%)	20,432	2,572 (14.4%)	
													18,183

23 曜日別事故種別出動件数及び搬送人員

曜日 \ 事故種別	急病 (件)	交通事故 (件)	一般負傷 (件)	転院搬送 (件)	左記以外 (件)	合計 (件)	搬送人員 (人)
月曜	2,143	182	479	292	81	3,177	2,837
火曜	1,935	204	424	260	83	2,906	2,586
水曜	1,819	201	421	222	76	2,739	2,473
木曜	1,790	212	433	245	97	2,777	2,485
金曜	1,931	168	485	297	76	2,957	2,645
土曜	2,041	200	532	181	108	3,062	2,683
日曜	1,938	145	503	114	114	2,814	2,474
合計	13,597	1,312	3,277	1,611	635	20,432	18,183

24 時刻・事故種別ごとの出動件数

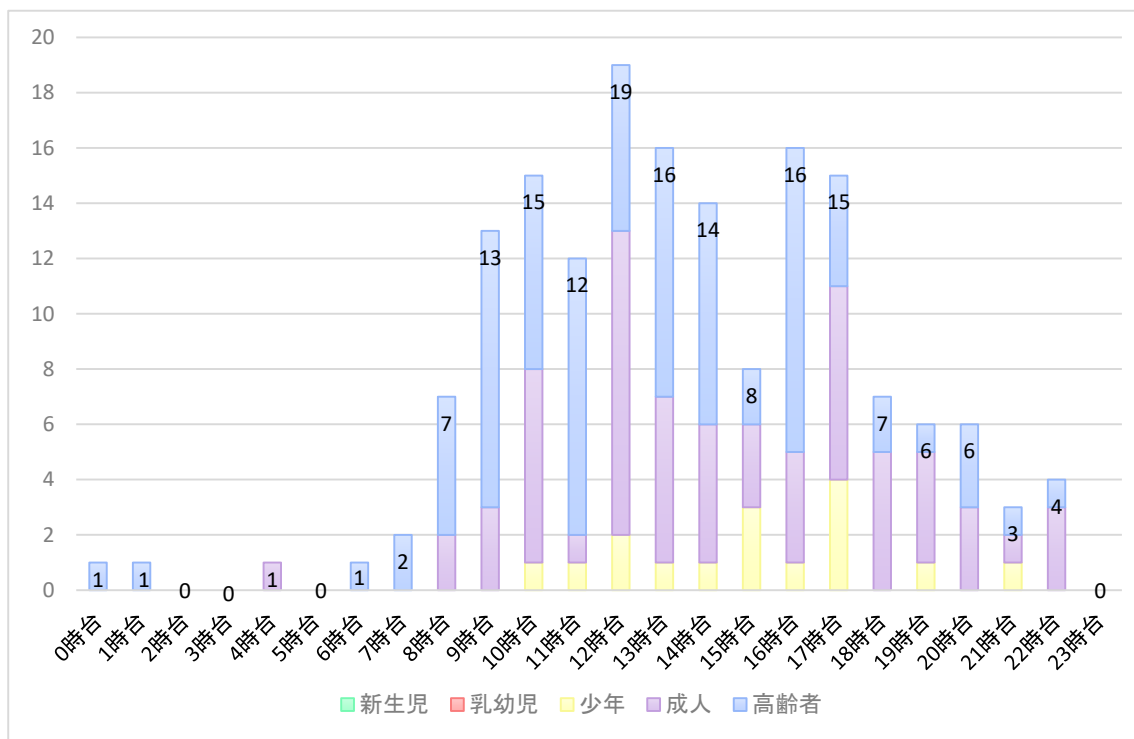


25 熱中症に係る年齢区分別発生場所別搬送人員

発生場所 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計 (割合)
住宅			2	19	39	60 (35.9%)
遊技場				1	1	2 (1.2%)
店舗				6	6	12 (7.2%)
医療機関等				3		3 (1.8%)
宿泊施設			1		1	2 (1.2%)
各種養老施設					1	1 (0.6%)
各種学校			7	3		10 (6.0%)
その他公衆出入場所			5	6	7	18 (10.8%)
仕事場				12	2	14 (8.4%)
道路・公園等			1	14	21	36 (21.6%)
その他				2	7	9 (5.4%)
合計	0	0	16	66	85	167 (100%)

(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

26 熱中症に係る年齢区分・時間帯別発生状況



27 熱中症に係る傷病程度別年齢区分別搬送人員

傷病程度 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡						0
重症				2	3	5
中等症			1	7	26	34
軽症			15	57	56	128
その他						0
合計	0	0	16	66	85	167

28 救急隊員による応急処置等の状況

応急処置	事故種別				合計
	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	
応急処置対象人員	11,703	1,173	3,200	2,094	18,170
止血	51	47	177	27	302
固定	87	538	756	142	1,523
人工呼吸	28	1		6	35
胸骨圧迫	15	1	1	3	20
うち自動式心マッサージ器	12		1		13
心肺蘇生	271	6	32	27	336
うち自動式心マッサージ器	85		16	7	108
酸素吸入	2,061	35	144	573	2,813
気道確保	349	8	38	35	430
うち経鼻エアウェイ	6				6
うち喉頭鏡・鉗子等	24		16	4	44
うちラリングアルマスク等（*）	82		4	7	93
うち気管挿管（*）	8		9	2	19
保温	9,390	765	2,438	1,711	14,304
被覆	49	262	548	76	935
在宅療法継続	54		5		59
ショックパンツ					0
除細動（*）	20		1	3	24
静脈路確保（*）	88		8	6	102
うち心肺停止前	3				3
うち心肺停止後	75		8	6	89
薬剤投与（アドレナリン）（*）	43		6	5	54
血圧測定	11,092	1,143	3,036	1,825	17,096
心音呼吸音聴取	1,463	143	181	85	1,872
血中酸素飽和度測定	11,403	1,160	3,120	2,012	17,695
心電図	10,354	758	2,489	1,280	14,881
血糖測定（*）	29				29
ブドウ糖投与（*）	8				8
エピペン使用（*）	1				1
その他の処置	23,009	2,280	6,265	3,991	35,545
合計	69,865	7,147	19,245	11,807	108,064

※（\*）は高知県救急医療協議会が定めた救急救命処置実施基準第4に規定された救急救命処置

29 応急手当の普及活動

項目 講習種別	令和2年まで		令和3年		令和4年		受講者数 合計
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	
普通救命講習（Ⅰ・Ⅲ）	3,133	58,056	24	328 (261)	29	434 (409)	58,818
上級救命講習	83	1,405	2	22 (18)			1,427
その他	4,035	118,257	50	1,330	61	1,256	120,843
その他の救命講習 (市立中学2年生)	1,717	42,665	47 (35)	1,197 (1050)	42 (27)	917 (723)	44,779
外傷コース	114	2,706					2,706
その他の手当	2,204	72,886	3	133	19	339	73,358

※ 普通救命講習Ⅰ・Ⅲ及び上級救命講習の（ ）内の数値は、受講者数の内、新規受講者数を示すもの

30 応急手当有資格者数

項目 資格種別	応急手当指導員 (消防職員)	応急手当指導員 (団員)	応急手当普及員
令和4年度	8	3	6
令和3年度	4		
令和2年度まで	570	51	21
合計(累計)	582	54	27

31 応急手当の実施及び救命効果の推移

年	項目	救急隊が搬送した心肺停止傷病者数					
		一般市民による応急手当有				一般市民による応急手当無	
				うち1か月生存者数			
平成29年	301 (82)	188 (56)	15 (8)	8.0% (14.3%)	113 (26)	9 (3)	8.0% (11.5%)
平成30年	260 (54)	160 (35)	16 (5)	10.0% (14.3%)	100 (19)	10 (3)	10.0% (15.8%)
令和元年	295 (78)	172 (43)	18 (13)	10.5% (30.2%)	123 (35)	12 (6)	9.8% (17.1%)
令和2年	252 (53)	150 (35)	11 (5)	7.3% (14.3%)	102 (18)	5 (4)	4.9% (22.2%)
令和3年	272 (57)	202 (44)	11 (3)	5.4% (6.8%)	70 (13)	6 (1)	8.6% (7.7%)
令和4年	338 (66)	233 (47)	15 (8)	6.4% (17.0%)	105 (19)	1 (1)	1.0% (5.3%)

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

※ 救急隊が搬送した心肺停止傷病者数は、救急隊が心肺機能停止を目撃した傷病者数を除く。

( ) は心原性(除外診断による心原性を含む。)であり、かつ心肺機能停止状態を一般市民により目撃された傷病者数又はその割合。

「一般市民による応急手当有」とは、現場到着時、救急隊が一般市民による応急手当(胸骨圧迫、人工呼吸等)が実施されているのを現認したものをいう。

「1か月生存者数」とは、1か月後においても医療機関に入院中又は1か月以内に生存退院若しくは他の医療機関へ転院となった傷病者数をいう。

32 口頭指導・応急手当件数及び応急手当実施率

年	項目	救急隊が搬送した心肺停止傷病者数					応急手当実施率
		指令課等による口頭指導有			指令課等による口頭指導無		
				うち救急隊現着時応急手当有			
平成29年	324 (23)	175 (54.0%)	133	149 (46.0%)	55	58.0%	
平成30年	280 (20)	163 (58.2%)	120	117 (41.8%)	40	57.1%	
令和元年	306 (11)	178 (58.2%)	129	128 (41.8%)	43	56.2%	
令和2年	278 (26)	153 (55.0%)	105	125 (45.0%)	45	54.0%	
令和3年	291 (19)	180 (61.9%)	157	111 (38.1%)	45	69.4%	
令和4年	358 (20)	224 (62.6%)	179	134 (37.4%)	54	65.1%	

※救急隊が搬送した心肺停止傷病者数は、救急隊が心肺機能停止を目撃した傷病者数を含む

※( )は、救急隊が心肺機能停止を目撃した傷病者数又はその割合



33 署所別出動件数，救急救命士乗車率

所 属		項	出動件数		救命士乗車件数	救命士乗車率
			件数	割合		
中央署	中央		4,745	23.2%	4,745	100.0%
	西		2,080	10.2%	2,080	100.0%
北署	北		3,985	19.5%	3,962	99.4%
	旭		2,449	12.0%	2,445	99.8%
東署	東		2,200	10.8%	2,181	99.1%
	東部		1,344	6.6%	1,158	86.2%
	三里		806	3.9%	785	97.4%
南署	南		2,371	11.6%	2,352	99.2%
消防局			452	2.2%	62	13.7%
合計			20,432	100%	19,770	98.6%

消防局は、署所以外の職員で特別に編成された救急隊をいう。特別に編成された救急隊のため、救命士乗車率の平均からは除く。

北消防署に配備している小型救急自動車（救急20）は、土佐山及びび一宮の6件、鏡の3件、旭街、秦及び朝倉の各1件の合計18件の救急出動において使用された。

（注）端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

34 署所別所要時間

所 属		項	出動件数 (件)	入電～ 現場到着 (分)	現場到着～ 搬送開始 (分)	搬送開始～ 病院到着 (分)	1件当たりの 所要時間 (入電～病着) (分)
	西	2,080	9.04	19.50	10.48	38.9	
北署	北	3,985	10.59	19.43	7.79	37.5	
	旭	2,449	9.26	19.81	9.64	38.6	
東署	東	2,200	9.73	18.72	8.27	36.6	
	東部	1,344	8.34	18.91	9.87	37.1	
	三里	806	9.46	21.30	13.30	43.9	
南署	南	2,371	10.59	18.91	15.26	44.6	
消防局			452	11.51	11.81	12.69	35.6
合計			20,432	9.65	19.44	9.75	38.8

※「入電～現場到着」時間は出動した事案（途中引揚は除く）、「現場到着～搬送開始」及び「搬送開始～病院到着」時間は、出動した事案のうち傷病者を医療機関へ搬送した事案の平均とする。

※ 1件当たりの所要時間（入電～病着）は、出動した事案のうち傷病者を医療機関まで搬送した事案の平均とする。

35 署所別救急救命処置件数

所属	項目	出動件数	搬送した心肺停止傷病者数 (出動件数に対する割合)	除細動	気道確保		静脈路確保		薬剤投与	ブドウ糖投与
					食道閉鎖式	気管挿管	心肺停止前	心肺停止後		
中央署	中央	4,745	56 (1.2%)	7	3	2		15	11	
	西	2,080	34 (1.6%)	1	8	1	1	3	1	
北署	北	3,985	55 (1.4%)	3	14			8	5	2
	旭	2,449	55 (2.2%)	6	7	2	1	15	5	4
東署	東	2,200	48 (2.2%)	4	18	5		9	4	
	東部	1,344	26 (1.9%)		10	2		4	3	
	三里	806	15 (1.9%)	1	6			2	2	
南署	南	2,371	69 (2.9%)	2	27	7	1	33	23	2
消防局		452								
合計		20,432	358 (1.8%)	24	93	19	3	89	54	8

36 署所（車両）別地区別出動状況

所属 街区	消防局		中央署			北署			東署			南署		合計
	消防局	特命 救急隊	中央		西	北		旭	東	東部	三里	南		
			救急5	救急15	救急10	救急1	救急6	救急8	救急2	救急7	救急11	救急13	救急3	
上街	1	28	63	51	7	7	4	112	2	1	1	1	1	279
高知街	3	22	459	445	9	46	47	33	8	6	3	1	2	1,084
南街	1	15	113	113		9	7	7	21	5	3	3	1	298
北街		2	106	123		14	9	2	59	1	1			317
下知	4	21	81	68	1	51	51	3	643	46	7	2		978
江ノ口	19	41	66	91	4	546	520	22	106	7	6	6	5	1,439
小高坂	1	15	76	71	3	107	94	192	4	1	1		4	569
旭街	3	26	166	189	204	88	92	1,201(1)	12	6	3	2	6	1998(1)
潮江		28	903	871	24	78	72	30	47	15	3	25	25	2,121
三里		10	11	5		1			72	35	578	2	5	719
五台山		5	6	1					60	83	23	1		179
高須		4	19	10		5	5	2	252	382	7			686
布師田			1			1	4		54	21	1	1		83
一宮	9	24	11	18	1	360(2)	373(3)	2	492(1)	35	8	1	3	1337(6)
秦	17	23	31	27	1	349	364(1)	9	7	2	3	1	2	836(1)
初月		1	13	12	9	271	255	44	5	2	1		1	614
朝倉	5	26	96	95	959	14	14	456(1)	5	1	1	10	13	1696(1)
鴨田	2	13	85	84	798	6	15	281	1	1	1	8	11	1,306
長浜	1	24	50	46		1	2	1	4	1	53	511	859	1,553
御豊瀬											2	6	13	21
浦戸				1					2		62	4	7	76
大津		30	8	7	1	17	15	2	274	243	7	1		605
介良		3	11	10	1	3	2		66	448	16			560
鏡			3	4(1)	20(2)	1	3	36						66(3)
土佐山			1	3		29(2)	25(4)	2	2	1				63(6)
春野		25	9	12	38	4	2	11	1		15	316	510	943
高速道路						1	1							2
管外 その他								1	1	1			1	4
合計	66	386	2,388	2,357 (1)	2,080 (2)	2,009 (4)	1,976 (8)	2,449 (2)	2,200 (1)	1,344	806	902	1,469	20,432 (18)

※（ ）内は小型救急車の使用件数

※消防局は、署所以外の職員で特別に編成された救急隊をいう。

37 署所（車両）別時間帯別出動状況

時間帯	所属 消防局	中央署			北署			東署			南署		合計
		中央		西	北		旭	東	東部	三里	南		
		救急5	救急15	救急10	救急1	救急6	救急8	救急2	救急7	救急11	救急13	救急3	
0時台		61	61	51	45	42	68	51	30	16	16	38	479
1時台		72	62	53	34	39	43	54	22	13	10	32	434
2時台		38	49	39	37	27	40	40	31	7	18	27	353
3時台		51	40	42	33	29	37	31	19	20	13	34	349
4時台		40	47	39	22	31	52	39	20	13	14	28	345
5時台		51	39	42	41	34	45	42	24	14	14	36	382
6時台		57	57	63	56	49	80	58	32	23	22	51	548
7時台		79	87	96	93	64	98	82	47	28	38	51	763
8時台	8	136	119	112	109	118	146	126	93	53	55	86	1,161
9時台	46	145	151	135	137	138	160	163	90	72	72	102	1,411
10時台	66	130	141	118	118	122	151	130	80	63	60	97	1,276
11時台	58	149	138	129	129	120	139	124	67	56	66	76	1,251
12時台	71	153	132	109	120	111	127	133	78	42	60	84	1,220
13時台	76	129	129	130	116	120	127	131	77	45	44	86	1,210
14時台	58	111	139	93	100	103	136	128	88	55	56	88	1,155
15時台	66	126	109	101	100	109	121	114	66	45	47	72	1,076
16時台	3	140	142	109	113	112	146	101	61	42	56	77	1,102
17時台		126	127	108	116	143	126	134	73	47	56	91	1,147
18時台		125	112	104	108	92	133	115	85	45	49	75	1,043
19時台		110	113	99	102	88	113	102	70	36	42	64	939
20時台		106	100	81	102	95	106	79	55	23	31	61	839
21時台		91	85	100	71	76	105	84	54	18	31	47	762
22時台		85	92	70	61	61	94	78	38	17	20	37	653
23時台		77	86	57	46	53	56	61	44	13	12	29	534
合計	452	2,388	2,357	2,080	2,009	1,976	2,449	2,200	1,344	806	902	1,469	20,432

※消防局は、署所以外の職員で特別に編成された救急隊をいう。

38 事故種別受入照会回数

項目 回	急病		交通事故		一般負傷		左記以外		合計	
	人員	割合	人員	割合	人員	割合	人員	割合	人員	割合
1回	8,376	71.5%	866	73.7%	2,157	67.4%	1,947	92.7%	13,346	73.4%
2回	1,725	14.7%	181	15.4%	566	17.7%	93	4.4%	2,565	14.1%
3回	757	6.5%	70	6.0%	252	7.9%	25	1.2%	1,104	6.1%
4回	312	2.7%	30	2.6%	107	3.3%	11	0.5%	460	2.5%
5回	182	1.6%	14	1.2%	63	2.0%	7	0.3%	266	1.5%
6回以上	355	3.0%	14	1.2%	56	1.7%	17	0.8%	442	2.4%
合計	11,707	100%	1,175	100%	3,201	100%	2,100	100%	18,183	100%

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

39 急病に係る疾病分類別受入照会回数

分 回	新生物	精神系	感覚系	循環器系		呼吸器系	消化器系	泌尿器系	その他	症状診断名不明確	合計	
				心疾患	脳疾患						人員	割合
1回	169	311	386	844	690	802	861	495	1,773	2,045	8,376	71.5%
2回	16	88	75	130	114	153	215	130	399	405	1,725	14.7%
3回	10	39	26	60	50	87	73	56	211	145	757	6.5%
4回	3	19	5	18	16	28	34	29	98	62	312	2.7%
5回	2	8	6	6	7	21	16	13	71	32	182	1.6%
6回以上	3	13	6	12	7	51	16	33	156	58	355	3.0%
合計	203	478	504	1,070	884	1,142	1,215	756	2,708	2,747	11,707	100%

(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%とはならない場合がある。

40 医療機関等への搬送状況

開設者	区分	救急告示医療機関		救急非告示医療機関		合計	
			うち管外		うち管外		うち管外
医療機関	国立	2,058	953			2,058	953
	公立	2,478	148	11		2,489	148
	公的	4,150	210			4,150	210
	私的病院	8,933	6	338	3	9,271	9
	私的診療所	151	2	64		215	2
	小計	17,770	1,319	413	3	18,183	1,322
その他の場所	接骨院等					0	0
	その他の場所					0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
合計		17,770	1,319	413	3	18,183	1,322

※救急告示医療機関とは、救急病院を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき、県知事が認定した医療機関を言う。

# 救助統計

## 1 救助状況

区分 年	出動件数	火	交	水	自	機	よ	建	よ	ガ	酸	破	そ	活動件数	救助人員
		災	通	難	然	械	る	物	る	ス	欠	裂	の		
平成30年	106	2	42	11		4	8	1					38	73	76
令和元年	109	7	21	16	2	2	6						55	98	101
令和2年	83	2	19	13		2	7	1					39	73	79
令和3年	85	3	24	5			32	1					20	79	76
令和4年	83	4	21	13		3	21	1					20	74	70

(注) 火災の出動件数は、救助活動を行った火災のみ件数を計上

## 2 事故種別出動人員

事故種別 隊員	火	交	水	自	機	よ	建	よ	ガ	酸	破	そ	合計
	災	通	難	然	械	る	物	る	ス	欠	裂	の	
救助隊員	12	76	123		20	54	4					43	332
消防隊員	100	177	126		29	29						85	546
救急隊員	9	85	49		9	66	3					62	283
消防団員	110		15									5	130
合計	231	338	313	0	58	149	7	0				195	1,291

(注) 火災の出動隊員は、救助活動を行った火災に出動した隊員数を計上

3 事故種別・発生場所別出動件数

区分		事故種別									合計	
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故		
屋内	住居	4					21			1	26	
	その他の屋内					1					1	
屋外	道路	高速自動車道		1								1
		その他の道路		12								12
	水面	内水面	鏡ダム									
			鏡川			3						
			江ノ口川			2					1	
			国分川									
			久万川									
			下田川									
			舟入川									
			新川川									
			仁淀川			1						
			その他河川		2							
	その他		4			1				5		
	外水面	高知港			1							
高知新港												
その他港				1								
その他海域				5						1		
	山岳									3	3	
	その他の屋外		2			1				9	12	
	地下										0	
	その他							1			1	
合計		4	21	13	0	3	21	1	0	20	83	

4 事故種別・年代別救助人員数

年代	事故種別									合計
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	
～9歳			1						2	3
10～19歳			1							1
20～29歳									1	1
30～39歳		1			1				1	3
40～49歳		1				1				2
50～59歳		2				2	1		1	6
60～69歳		4				3			4	11
70～79歳	1	6	5			10			7	29
80～89歳		2	3		1	3			1	10
90～99歳						1			2	3
100歳～										0
その他(人定不明)			1							1
合計	1	16	11	0	2	20	1	0	19	70

### 5 事故種別月別件数

事故種別 月	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
1月			1			4			5	10
2月	1	1	2			4			1	9
3月		2			2	1			1	6
4月		2	1			1			1	5
5月		2							1	3
6月	1	1	1			4			1	8
7月		3	1			2			1	7
8月		2	1		1	2			4	10
9月	1	3	2						2	8
10月		1	1			1			1	4
11月		1	2			1				4
12月	1	3	1			1	1		2	9
合計	4	21	13	0	3	21	1	0	20	83

### 6 事故種別曜日別件数

事故種別 曜日	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
月曜日		2	2		1	5	1		3	14
火曜日	1	2	1			3			3	10
水曜日	1	2							4	7
木曜日		7	2			1			1	11
金曜日	2	3	3			7			1	16
土曜日		2	1		1	3			7	14
日曜日		3	4		1	2			1	11
合計	4	21	13	0	3	21	1	0	20	83



7 時間帯別救助出動件数

事故種別 時間帯	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
0時台		1							1	2
1時台										0
2時台										0
3時台						2				2
4時台			1			1				2
5時台		1								1
6時台		1							1	2
7時台	1	2	1			2				6
8時台		1	2						1	4
9時台	1		1			3			2	7
10時台			1		1	4			1	7
11時台			1			1			2	4
12時台		2	3			1			1	7
13時台		3	1		2	1			1	8
14時台		2	1			1			1	5
15時台	1	3				2			2	8
16時台		1				2			1	4
17時台		1								1
18時台		2	1						2	5
19時台		1								1
20時台	1								1	2
21時台						1	1		2	4
22時台									1	1
23時台										0
合計	4	21	13	0	3	21	1	0	20	83

※時間は入電時間とする。

8 行政区別救助出動件数

行政区	事故種別出動件数									合計
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	
上街			1							1
高知街						3				3
南街										0
北街										0
下知		3	1			3			1	8
江ノ口	1	1	1			2			2	7
小高坂	1	1							1	3
旭街	2	2	1			1			2	8
潮江		1	2		1	3				7
三里			2						1	3
五台山		1								1
高須		1				1				2
布師田										0
一宮		2							3	5
秦		1				1			2	4
初月										0
朝倉		2			1	2			1	6
鴨田		1			1	1			2	5
長浜						1				1
御豊瀬			1							1
浦戸			2							2
大津									2	2
介良		1				2				3
鏡									1	1
土佐山		1							2	3
春野		3	2			1	1			7
※管外応援(合計外)										0
合計	4	21	13	0	3	21	1	0	20	83

9 署所別出動状況

署所	事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
消防局		4	15	11		3				6	39
中央署	中央	3	10	8		3	9			2	35
	西	2	4			1	2	1		3	13
北署	北	4	9	3		1	4			8	29
	旭	3	5	2			2			4	16
東署	東	3		11		1	6			6	27
	東部		2				1			1	4
	三里		2	4						1	7
南署	南	1	4	4			3	1		1	14
合計		20	51	43	0	9	27	2	0	32	184

.....  
消 防 団 編  
.....

1 高知市消防団の沿革

年月日	沿革
明治22. 4. 1	高知市制施行
7. 9	高知市を四区に分ち、上街組、高知街組、南街組、北街組と称する消防組を設置する
27.	消防組を第1部、第2部、第3部とし、従来の高知街を解散し、これを以って高知市消防組を組織する 初代組頭 高橋正勝、人員149名、竜吐水21台
34.	旧高知街区内に第4部を増設する
43.	蒸気ポンプを購入、蒸気部第1部、第2部、第3部と組織を改める
大正 6. 3. 15	江ノ口町が市に合併、同消防組を高知市消防組第3部とする 2代目組頭 入江集、実員106名
14. 1. 1	旭村が市に合併、高知市消防組に編入する
15. 1. 25	下知町が市に合併、同消防組を高知市消防組第5部とする 潮江村が市に合併、同消防組を高知市消防組第6部とする 3代目組頭 南部博、実員252名
昭和 2. 5. 1	小高坂村が市に合併、同消防組を高知市消防組第7部とする 実員316名
10. 9. 1	初月、秦両村が市に合併、両村消防部を高知市に編入し初月消防部、秦消防部とする 実員381名
11. 1. 15	帯屋町1番地の高知警察署庁舎内に消防組本部を設置する
14. 4. 1	警防団令発布され、高知市消防組を改組統合、高知市警防団と改称する 団長に南部博発令 実員673名
15. 10. 1	港分団を増設する
17. 6. 1	一宮、布師田、高須、朝倉、鴨田、三里、長浜、浦戸、御豊瀬、五台山の各町村が市に合併、高知市警防団に統合する 実員 910名
19.	港警察署管内の警防団を分離し港警防団を設置する 港警防団長に臼井鹿太郎発令
20.	警防団長 南部博退職、前田嘉郎が警防団長（4代目）に就任
22. 10. 27	消防組織法施行により警防団を解散し消防団を設置する 高知市消防団長（5代目）に山本義孝発令 実員431名 高知市港消防団長に服部久吉発令 実員236名
23.	高知市消防団と高知市港消防団を合併、団長に山本義孝発令 実員657名
27. 5. 20	山本団長退職 後任団長（6代目）に池道長発令 実員652名
31. 8. 15	一斉指令装置付消防専用電話設置に伴い出動の合理化を図る
31.	第1回高知県消防操法大会自動車ポンプの部優勝（初月分団）
34. 4. 1	団員報酬を運営交付金制度に改める
10. 1	池団長退職 後任団長（7代目）に野村包美発令 定員641名
37. 7. 7	野村団長退職 後任団長（8代目）に松村菊馬発令 定員641名
42. 11. 15	本町四丁目1番27号 消防総合庁舎竣工に伴い庁舎内に消防団本部を移転する
43. 4. 1	消防団運営交付金制度を団員報酬制度に改める
43.	第7回高知県消防操法大会自動車ポンプの部優勝（初月分団）
46. 4. 1	松村団長退職 後任団長（9代目）に山本鶴喜発令 定員616名、実員546名
47. 2. 1	大津、介良両村が高知市に合併、大津分団、介良分団として高知市消防団に編入する 定員664名、実員597名
55. 4. 1	高知市消防団規則改正、長浜分団南部部が分団に昇格し全25分団となる 定員664名、実員575名
56. 11. 1	山本団長退職 後任団長（10代目）に山崎寿喜発令 定員664名
60. 4. 1	山崎団長退職 後任団長（11代目）に岩松才吉発令 定員664名、実員570名
平成元. 4. 1	女性消防団員採用（団本部3名、分団1名）
7. 10	消防100周年記念式典挙行 新消防団旗が市長より贈呈される
8. 29	高知市コミュニティ消防センター（高知市消防団本部・高知街分団合同庁舎）完成に伴い、消防団本部を永国寺町6番18号に移転する
2. 2. 14	日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞
10. 5	岩松団長退職
11. 5	後任団長（12代目）に依光重利発令 定員664名、実員562名（内女性団員10名）

年月日	沿革
4. 4. 1	定員664名, 実員558名 (内女性団員9名)
11. 19	第19回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝 (介良分団)
5. 3. 31	サイレン自動吹鳴装置完了
4. 1	定員664名, 実員558名 (内女性団員11名)
6. 4. 1	定員664名, 実員561名 (内女性団員12名)
7. 4. 1	定員664名, 実員574名 (内女性団員12名)
8. 4. 1	定員664名, 実員566名 (内女性団員14名)
9. 4. 1	定員664名, 実員562名 (内女性団員17名)
10. 3. 31	依光団長退職
4. 1	後任団長 (13代目) に加田繁喜発令 定員664名, 実員564名 (内女性団員21名)
11. 18	平成10年防災功労者消防庁長官表彰を受賞
11. 4. 1	定員664名, 実員568名 (内女性団員19名)
5. 27	災害救助用ゴムボートを18分団に配備完了
9. 1	平成11年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
12. 3. 31	ファックス指令書送信システム整備完了
4. 1	定員664名, 実員561名 (内女性団員19名)
8. 1	高知市消防団女性コーラス隊発足
10. 29	第23回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝 (介良分団)
13. 3. 13	平成12年度消防防災機器の開発等及び消防科学論文消防庁長官賞 (優秀賞) 受賞 (一宮分団長・楠瀬幸陽)
3. 31	消防団緊急伝達システム (無線サイレン装置等) 整備完了
4. 1	定員664名, 実員587名 (内女性団員41名)
14. 1. 20	高知市消防出初式を高知市東部運動場屋内競技場 (くろしおアリーナ) にて開催
3. 27	平成13年度消防団地域活動表彰消防庁長官賞受賞 (高知市消防団)
4. 1	定員664名, 実員606名 (内女性団員41名)
11. 18	高知市消防団幹部OB会発足
12. 1	災害情報通知システム運用開始
15. 2. 6	財団法人日本消防協会より赤バイ3台の交付を受ける
4. 1	定員664名, 実員615名 (内女性団員46名)
10. 23	第16回全国女性消防操法大会準優勝
16. 2. 12	財団法人日本消防協会より赤バイ3台の交付を受ける 合計6台
4. 1	定員664名, 実員602名 (内女性団員46名)
17. 1. 1	土佐山・鏡両村が高知市に合併 土佐山分団・鏡分団として高知市に編入され, 全27分団となる 定員759名, 実員664名 (内女性団員46名)
18. 2. 24	平成17年度全国消防団員意見発表会にて優秀賞受賞 (団本部・村岡望美)
4. 1	定員759名, 実員652名 (内女性団員42名)
19. 4. 1	定員759名, 実員655名 (内女性団員40名)
10. 7	平成19年度高知県消防操法大会小型ポンプの部優勝 (鏡分団)
20. 1. 1	春野町と合併 春野北分団・春野東分団・春野中分団・春野西分団・春野南分団として高知市に編入され, 全32分団となる 定員900名, 実員802名 (赤バイ合計7台)
4. 1	定員900名, 実員806名 (内女性団員45名)
10. 12	第21回全国消防操法大会小型ポンプの部準優勝 (鏡分団)
21. 3. 1	高知市消防団協力事業所表示制度実施要綱策定
3. 31	加田団長退職
4. 1	後任団長 (14代目) に大野富至雄発令 定員900名, 実員791名 (内女性団員46名)
11. 5	第15回全国女性消防団員活性化岡山大会にて火災予防啓発劇を発表 (介良・大津分団)
22. 4. 1	定員900名, 実員796名 (内女性団員45名)
23. 3. 7	朝倉分団屯所建替え (移転)
3. 31	大野団長退職

年 月 日	沿 革
4. 1	後任団長（15代目）に堀内清朗発令 定員900名，実員796名（内女性団員45名）
24. 3. 1	春野中分団屯所建替え（移転）
4. 1	定員900名，実員816名（内女性団員46名）
5. 31	堀内団長退職
6. 1	後任団長（16代目）に友村承蔵発令 定員900名，実員818名（内女性団員48名）
8. 31	分団別「地震災害初動活動計画」の策定
10. 14	第29回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝（鏡分団）
10. 30	エアージャケットを全団員に配備
25. 3. 26	浦戸分団屯所建替え（移転）
4. 1	定員900名，実員808名（内女性団員53名）
26. 1. 1	高知市消防団公式ホームページ開設
3. 24	長浜分団屯所建替え（移転）
3. 24	春野東分団屯所建替え（移転）
4. 1	定員900名，実員813名（内女性団員58名）
27. 1. 30	介良分団西部部屯所建替え（移転）
3. 9	新型防火衣を全分団に配備完了（3か年計画）
4. 1	定員900名，実員817名（内女性団員60名）
28. 2. 19	春野南分団屯所建替え（移転）
2. 22	高知市消防団消防救急デジタル無線（仮）運用開始
2. 25	布師田分団屯所建替え（移転）
4. 1	定員900名，実員826名（内女性団員57名）
4. 1	高知市消防団消防救急デジタル無線運用開始
29. 3. 31	友村団長退職
4. 1	後任団長（17代目）に山本紘宇発令 定員900名，実員829名（内女性団員59名）
7. 10	高須分団屯所建替え
30. 1. 1	高知市消防団基本構想～自らの地域は自ら守る～策定
1. 19	初月分団屯所建替え（移転）
3. 27	土佐山分団屯所改修
4. 1	定員900名，実員818名（内女性団員62名）□
6. 24	高知市消防団夏季訓練（訓練礼式）実施
31. 4. 1	定員900名，実員795名（内女性団員61名）
令和元. 8. 23	江ノ口分団屯所建替え（移転）
2. 2. 29	山本団長退職
3. 18	（仮称）横浜分団屯所新築
4. 1	後任団長（18代目）に近澤利衛発令 高知市消防団規則改正，長浜分団横浜部が横浜分団に昇格し全33分団となる
3. 4. 1	定員900名，実員772名（内女性団員61名）
3. 4. 1	定員900名，実員753名（内女性団員61名）
10. 1	御豊瀬分団屯所建替え（移転）
4. 3. 24	介良分団介良野部屯所建替え（移転）
3. 30	介良分団介良野部に小型動力消防ポンプ積載車を導入
4. 1	定員900名，実員734名（内女性団員59名） 費用弁償を改め出勤報酬とし，新たに休団制度を新設
10. 1	南部分団屯所建替え（移転）
5. 1. 17	団本部一部改修（2階事務室増床，2階及び3階トイレの改修）
4. 1	定員900名，実員720名（内女性団員59名）

2 高知市消防団編成

1団 5大隊  
33分団 12部  
定数 900人  
実員 720人

団本部  
実員 14人

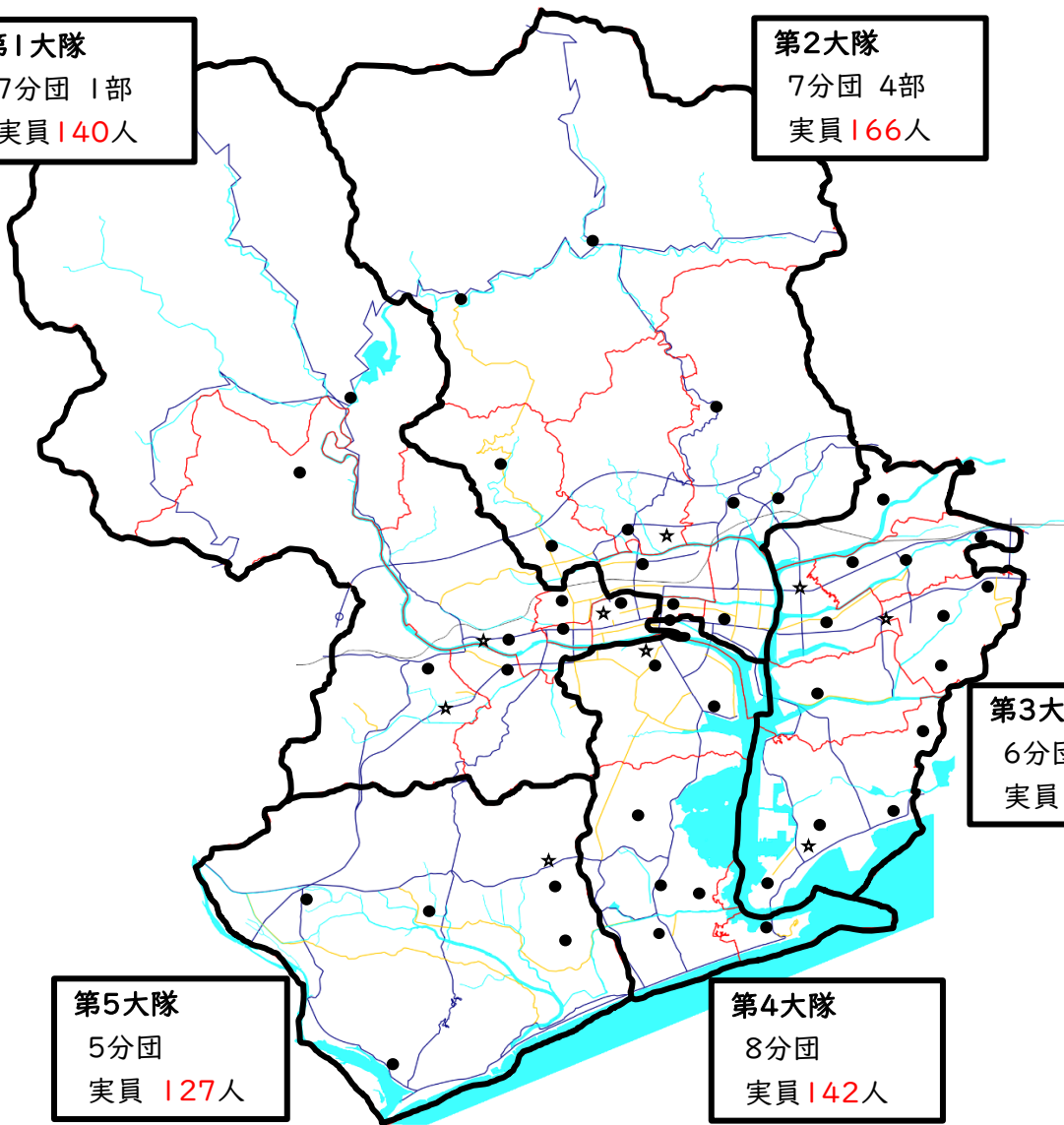
第1大隊  
7分団 1部  
実員 140人

第2大隊  
7分団 4部  
実員 166人

第3大隊  
6分団 7部  
実員 131人

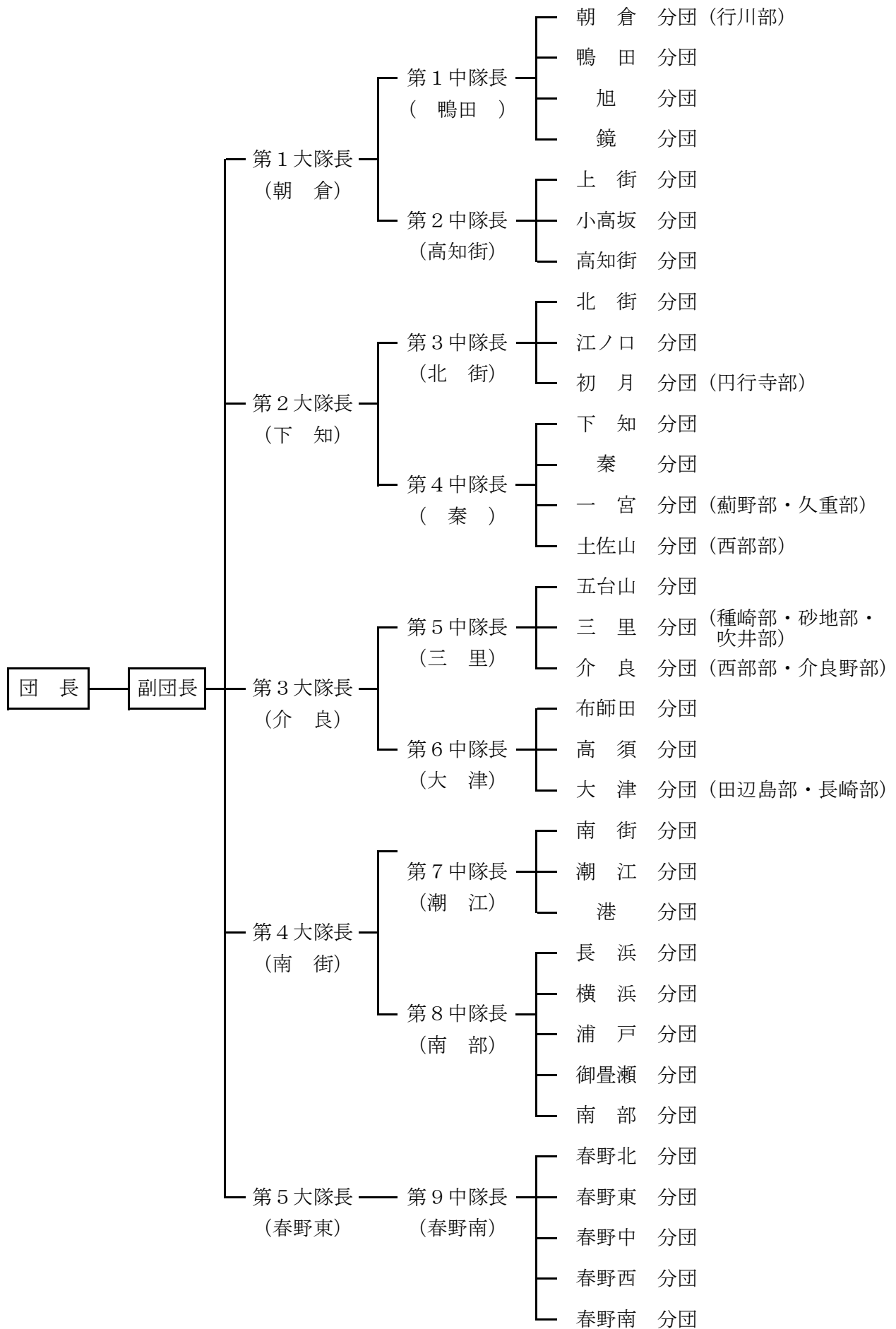
第5大隊  
5分団  
実員 127人

第4大隊  
8分団  
実員 142人



- ☆ 消防局・消防署・出張所
- 分団屯所・部

3 消防団部隊編成表





4 消防団庁舎概要

名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日
団本部	高知市永国寺町6番18号	356.64	723.25	RC造3階建地下1階	平成元. 8. 29
朝倉	朝倉本町一丁目7番10号	190.85	105.21	鉄骨造2階建	平成23. 3. 7
行川	行川888番地2	165.00	45.60	木造2階建	平成3. 2. 7
鴨田	鴨部1354番地8	217.31	149.04	軽量鉄骨造2階建	昭和61. 11. 22
旭	旭町二丁目38番4号	150.98	155.89	鉄骨造3階建	昭和59. 3. 13
鏡	鏡小浜4番地1	785.15	391.98	鉄骨造2階建	平成12. 12. 12
上街	上町三丁目4番8号	149.15	208.60	鉄骨造3階建	平成19. 6. 14
小高坂	山ノ端町190番地4	179.19	112.00	鉄骨造2階建	平成22. 3. 10
高知街	永国寺町6番18号	高知市消防団本部内併設			平成元. 8. 29
北街	はりまや町二丁目14番14号	234.36	165.50	鉄骨造2階建	昭和63. 12. 20
江ノ口	愛宕町三丁目10番24号	235.32	188.43	鉄骨造2階建	令和元. 8. 23
初月	万々389番地	540.82	198.00	鉄骨造2階建	平成30. 1. 19
円行寺	円行寺672番地4	125.76	47.61	木造平家建	平成6. 2. 15
下知	知寄町一丁目4番34号	325.14	293.99	鉄骨造2階建	平成14. 12. 20
秦	愛宕山18番3号	212.43	156.78	鉄骨造2階建	昭和60. 3. 22
一宮	一宮中町一丁目5番16号	214.50	136.71	鉄骨造3階建	昭和59. 2. 6
薊野	薊野北町四丁目7番27号	80.78	55.11	木造2階建・鉄骨造平家建	平成5. 3. 1
久重	重倉1488番地7	523.00	38.09	木造平家建	昭和58. 2. 26
土佐山	土佐山125番地2	213.73	328.21	RC造2階建 (平成30年3月改修)	昭和58. 3. 1
土佐山西部	土佐山弘瀬379番地2	113.00	84.00	鉄骨造2階建	平成8. 3. 29
五台山	五台山5001番地	203.83	163.2	軽量鉄骨造2階建	平成17. 4. 21
三里	仁井田1536番地5	274.18	138.94	木造2階建・軽量鉄骨造平家建	平成10. 3. 27
種崎	種崎405番地5	563.39	724.89	RC造4階建 (津波避難センターに併設)	平成21. 1. 30
砂地	仁井田3368番地16	201.14	104.32 (17.43)	木造平家建 (公民館の一部)	平成6. 3. 30
吹井	仁井田2971番地4	100.00	54.65	木造平家建	平成18. 8. 11
介良	介良乙1778番地1	197.68	140.91	鉄骨造3階建	昭和61. 3. 20
介良西部	介良丙277番地6	100.81	35.21	鉄骨造平屋建	平成27. 1. 30
介良野	潮見台一丁目203番地	495.72	20.96	鉄骨造平屋建	令和4. 3. 24
布師田	布師田1824番地4	212.74	113.71	鉄骨造2階建	平成28. 2. 25
高須	高須新町二丁目5番14号	165.46	112.99	鉄骨造2階建	平成29. 7. 10
大津	大津乙930番地7	197.89	154.91	鉄骨造2階建	昭和62. 12. 3
田辺島	大津乙2178番地3	74.62	19.42	鉄骨造平家建	平成4. 1. 14
長崎	大津甲130番地2	25.86	13.78	コンクリートブロック造平家建	平成14. 8. 22
南街	南はりまや町二丁目1番34号	161.62	190.01	鉄骨造2階建	平成9. 3. 26
潮江	塩屋崎町一丁目5番12号	273.88	168.68	軽量鉄骨造2階建	昭和61. 11. 25
港	棧橋通六丁目4番43号	194.93	156.50	鉄骨造2階建	平成4. 3. 13
長浜	瀬戸南町二丁目10番30号	377.35	123.44	鉄骨造2階建	平成26. 3. 24
横浜	横浜西町36番地10	315.11	114.66	鉄骨造2階建	令和2. 3. 18
浦戸	浦戸817番地1	470.05	123.56	鉄骨造2階建	平成25. 3. 26
御豊瀬	長浜209番地	583.17	114.66	鉄骨造2階建	令和3. 8. 10
南部	長浜4550番地32	299.84	114.66	鉄骨造2階建	令和4. 8. 19
春野北	春野町平和3393番地13	308.47	117.12	鉄骨造2階建	平成19. 3. 20
春野東	春野町東諸木296番地1	274.81	113.31	鉄骨造2階建	平成26. 3. 24
春野中	春野町西分337番地	182.39	102.06	鉄骨造2階建	平成24. 3. 1
春野西	春野町弘岡中2294番地1	162.74	126.00	鉄骨造2階建	平成20. 2. 21
春野南	春野町西畑1824番地2	218.80	138.00	鉄骨造2階建	平成28. 2. 19

5 分団管轄区域

大隊	中隊	名称	区 域
		団本部	
第1大隊	第1中隊	朝倉	朝倉甲 朝倉乙 朝倉丙 朝倉丁 朝倉戊 朝倉己 宗安寺 行川 針原 上里 領家 唐岩 曙町一丁目 曙町二丁目 朝倉本町一丁目 朝倉本町二丁目 若草町 若草南町 鶴来巢 横山町 針木東町 大谷公園町 朝倉南町 朝倉横町 朝倉東町 朝倉西町一丁目 朝倉西町二丁目 針木北一丁目 針木北二丁目 針木本町 針木南 針木西
		行川	
		鴨田	鴨部 神田 鴨部高町 鴨部上町 鴨部一丁目 鴨部二丁目 鴨部三丁目
		旭	東城山町 城山町 東石立町 石立町 玉水町 縄手町 鏡川町 下島町 旭町一丁目 旭町二丁目 旭町三丁目 赤石町 中須賀町 旭駅前町 元町 南元町 旭上町 水源町 本宮町 上本宮町 大谷 岩ヶ淵 鳥越 塚ノ原 西塚ノ原 長尾山町 旭天神町 佐々木町 北端町 山手町 横内 口細山 尾立 蓮台 福井町 福井扇町 福井東町 井口町 平和町
	鏡	鏡大河内 鏡小浜 鏡大利 鏡今井 鏡草峰 鏡白岩 鏡狩山 鏡吉原 鏡的淵 鏡去坂 鏡竹奈路 鏡敦の山 鏡柿ノ又 鏡横矢 鏡増原 鏡葛山 鏡梅ノ木 鏡小山	
	第2中隊	上街	上町一丁目 上町二丁目 上町三丁目 上町四丁目 上町五丁目 本丁筋 水通町 通町
第2大隊	第3中隊	小高坂	三ノ丸 宮前町 西町 大膳町 山ノ端町 桜馬場 城北町 北八反町 宝町 小津町 越前町一丁目 越前町二丁目 新屋敷一丁目 新屋敷二丁目 八反町一丁目 八反町二丁目
		高知街	唐人町 与力町 鷹匠町一丁目 鷹匠町二丁目 本町一丁目 本町二丁目 本町三丁目 本町四丁目 本町五丁目 升形 帯屋町一丁目 帯屋町二丁目 追手筋一丁目 追手筋二丁目 廿代町 永国寺町 丸ノ内一丁目 丸ノ内二丁目
		北街	桜井町一丁目 桜井町二丁目 はりまや町一丁目 はりまや町二丁目 はりまや町三丁目
	第4中隊	江ノ口	入明町 洞ヶ島町 寿町 中水道 幸町 伊勢崎町 相模町 吉田町 愛宕町一丁目 愛宕町二丁目 愛宕町三丁目 愛宕町四丁目 大川筋一丁目 大川筋二丁目 駅前町 相生町 江陽町 北本町一丁目 北本町二丁目 北本町三丁目 北本町四丁目 柴田町 新本町一丁目 新本町二丁目 昭和町 和泉町 塩田町 比島町一丁目 比島町二丁目 比島町三丁目 比島町四丁目 柴田町一丁目 柴田町二丁目 柴田町三丁目
		初月	東久万 中久万 西久万 南久万 万々 中万々 南万々 柴巻 円行寺 一ツ橋町一丁目 一ツ橋町二丁目 みづき一丁目 みづき二丁目 みづき三丁目 みづき山
		下知	宝永町 弥生町 丸池町 小倉町 東雲町 日の出町 知寄町一丁目 知寄町二丁目 知寄町三丁目 青柳町 稲荷町 若松町 高そね 杉井流 北金田 南金田 札場 南御座 北御座 南川添 北川添 北久保 南久保 海老ノ丸 中宝永町 南宝永町 二葉町
第5中隊	秦	愛宕山 前里 東秦泉寺 中秦泉寺 三園町 西秦泉寺 北秦泉寺 宇津野 三谷 七ツ淵 加賀野井一丁目 加賀野井二丁目 愛宕山南町 秦南町一丁目 秦南町二丁目	
	一宮	一宮 薊野 重倉 久礼野 薊野西町一丁目 薊野西町二丁目 薊野西町三丁目 薊野北町一丁目 薊野北町二丁目 薊野北町三丁目 薊野北町四丁目 一宮しなね一丁目 一宮しなね二丁目 一宮南町一丁目 一宮南町二丁目 一宮中町一丁目 一宮中町二丁目 一宮中町三丁目 一宮東町一丁目 一宮東町二丁目 一宮東町三丁目 一宮東町四丁目 一宮東町五丁目 一宮徳谷	
	土佐山	土佐山菖蒲 土佐山西川 土佐山梶谷 土佐山 土佐山高川 土佐山桑尾 土佐山都網 土佐山弘瀬 土佐山東川 土佐山中切	
第3大隊	第5中隊	五台山	吸江 五台山 屋頭
		三里	
		種崎	池 仁井田 種崎 十津一丁目 十津二丁目 十津三丁目 十津四丁目 十津五丁目 十津六丁目
	第6中隊	介良	介良甲 介良乙 介良丙 介良 潮見台一丁目 潮見台二丁目 潮見台三丁目
		布師田	布師田
		高須	高須 葛島一丁目 葛島二丁目 葛島三丁目 葛島四丁目 高須新町一丁目 高須新町二丁目 高須新町三丁目 高須新町四丁目 高須砂地 高須本町 高須新木 高須一丁目 高須二丁目 高須三丁目 高須東町 高須西町 高須絶海 高須大谷 高須大島
第4大隊	第7中隊	大津	大津甲 大津乙
		田辺島	
		長崎	
	第8中隊	南街	中の島 九反田 菜園場町 農人町 城見町 堺町 南はりまや町一丁目 南はりまや町二丁目 弘化台
		潮江	土居町 役知町 潮新町一丁目 潮新町二丁目 仲田町 北新田町 新田町 梅ノ辻 棧橋通一丁目 棧橋通二丁目 棧橋通三丁目 棧橋通四丁目(1~9号 16号) 天神町 筆山町 塩屋崎町一丁目 塩屋崎町二丁目 百石町一丁目 百石町二丁目 百石町三丁目 百石町四丁目 竹島町 北竹島町 北高見町 高見町 幸崎 小石木町 大原町 河ノ瀬町 南河ノ瀬町
		港	南新田町 萩町一丁目 萩町二丁目 深谷町 孕西町 棧橋通四丁目(ただし 1~9号 16号を除く) 棧橋通五丁目 棧橋通六丁目 孕東町 南ノ丸町 南竹島町 六泉寺町 南中山 北中山
第9中隊	長浜	長浜 瀬戸 瀬戸西町三丁目 長浜宮田 瀬戸二丁目 瀬戸南町一丁目 瀬戸南町二丁目	
	横浜	横浜 横浜東町 横浜西町 横浜南町 横浜新町一丁目 横浜新町二丁目 横浜新町三丁目 横浜新町四丁目 横浜新町五丁目 瀬戸一丁目 瀬戸東町一丁目 瀬戸東町二丁目 瀬戸東町三丁目 瀬戸西町一丁目 瀬戸西町二丁目 長浜蒔絵台一丁目 長浜蒔絵台二丁目	
	浦戸	浦戸	
	御豊瀬	御豊瀬	
第5大隊	南部	長浜(長浜分団の区域を除く)	
	春野北	春野町芳原 春野町内ノ谷 春野町平和 春野町南ヶ丘一丁目 春野町南ヶ丘二丁目 春野町南ヶ丘三丁目 春野町南ヶ丘四丁目 春野町南ヶ丘五丁目 春野町南ヶ丘六丁目 春野町南ヶ丘七丁目 春野町南ヶ丘八丁目 春野町南ヶ丘九丁目	
	春野東	春野町東諸木 春野町西諸木 春野町甲殿	
	春野中	春野町秋山 春野町西分 春野町弘岡下	
	春野南	春野町弘岡上 春野町弘岡中 春野町森山	

6 消防団の分団別定員と実員

分 団	階級別		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	実 員
	定員									
団 本 部	17		1	4 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (5)	14 (10)
朝 倉	32				1	1	3	3	21	29
鴨 田	24				1	1	2	2	9 (1)	15 (1)
旭	24				1	1	2 (1)	2	10 (2)	16 (3)
鏡	40				1	1	2	2	25 (2)	31 (2)
上 街	24				1	1	2 (1)	2	11	17 (1)
小 高 坂	24				1	1	2	2	16 (4)	22 (4)
高 知 街	24				1	1	2	2	4	10
北 街	24				1	1	2 (1)	2	6 (2)	12 (3)
江 ノ 口	24				1	1	2	2	17 (5)	23 (5)
初 月	29				1	1	3	3	18 (1)	26 (1)
下 知	24				1	1	2	2	7 (3)	13 (3)
秦	24				1	1	2	2	17	23
一 宮	42				1	1	4	4	29 (2)	39 (2)
土 佐 山	40				1	1	3	3	22	30
五 台 山	24				1	1	2	2	13	19
三 里	48				1	1	5	5	25 (1)	37 (1)
介 良	24				1	1	3 (1)	3 (1)	10 (2)	18 (4)
布 師 田	24				1	1	2	2	15	21
高 須	24				1	1	2	2	10	16
大 津	24				1	1	3 (1)	3	12 (1)	20 (2)
南 街	24				1	1	2	2	18	24
潮 江	24				1	1	2	2 (1)	14 (3)	20 (4)
港	24				1	1	2	2 (1)	9	15 (1)
長 浜	24				1	1	2	2	13 (1)	19 (1)
横 浜	20				1	1	2	2 (1)	11 (3)	17 (4)
浦 戸	20				1	1	2	2	9	15
御 畳 瀬	20				1	1	2	2	11 (3)	17 (3)
南 部	20				1	1	2	2	9 (3)	15 (3)
春 野 北	30				1	1	2	2	23	29
春 野 東	30				1	1	2	2	23	29
春 野 中	30				1	1	2	2	23 (1)	29 (1)
春 野 西	30				1	1	2	2	15	21
春 野 南	20				1	1	2	2	13	19
合計	900		1	4 (1)	34 (1)	34 (1)	77 (6)	77 (5)	493 (45)	720 (59)

※ ( ) 内は女性

7 分団別勤続年数状況

分団	区分														実員
	定員	5年未満	5年以上	10年未満	10年以上	15年未満	15年以上	20年未満	20年以上	25年未満	25年以上	30年未満	30年以上		
団本部	17	2 (2)						4 (4)		2 (2)		6 (2)		14 (10)	
朝倉	32	6	2	2	5	5	4	5						29	
鴨田	24	2	2 (1)	3	1	1	5	1						15 (1)	
旭	24	4 (1)	2	1 (1)	2	3	2 (1)	2						16 (3)	
鏡	40	4	1	2	7 (2)	2	4	11						31 (2)	
上街	24	1	3	3	3	4	2 (1)	1						17 (1)	
小高坂	24	3 (2)	3	4 (2)	3	1	2	6						22 (4)	
高知街	24	5			1		1	3						10	
北街	24	2	2 (1)	3 (1)	3 (1)			2						12 (3)	
江ノ口	24	15 (5)	2	4	1	1								23 (5)	
初月	29	5	3 (1)	5	4	3	4	2						26 (1)	
下知	24	4 (2)	2 (1)	3	1	1	1	1						13 (3)	
秦	24	3	6	2	2	5	1	4						23	
一宮	42	4 (1)	3 (1)	6	1	3	8	14						39 (2)	
土佐山	40	3	4	8	3	3	5	4						30	
五台山	24	5	5	2	1	1	2	3						19	
三里	48	4	2	12 (1)	5	7	3	4						37 (1)	
介良	24	4		5 (1)	2	5 (3)	2							18 (4)	
布師田	24	3	3	4	3	5	2	1						21	
高須	24	6	2	2	2			4						16	
大津	24	2	1	4		5	4 (2)	4						20 (2)	
南街	24		4		4	6	1	9						24	
潮江	24	6 (1)	3 (1)	3	4 (2)	3		1						20 (4)	
港	24	1	4 (1)	4		2	2	2						15 (1)	
長浜	24	1	7 (1)	1	5	1		4						19 (1)	
横浜	20	3	7 (4)	2		1	1	3						17 (4)	
浦戸	20	1	3	2	1	3	2	3						15 (0)	
御畳瀬	20	4 (2)	7 (1)	1	1	1	2	1						17 (3)	
南部	20	4	4 (1)	2 (1)	1	4 (1)								15 (3)	
春野北	30	4	3	8	2	9	3							29	
春野東	30		6	4	4	4	11							29	
春野中	30	3	3	4 (1)	8	3	3	5						29 (1)	
春野西	30	3	4	4	6	1	2	1						21	
春野南	20	1	5	5		2	4	2						19	
合計	900	118 (16)	108 (14)	115 (8)	86 (5)	99 (8)	85 (6)	109 (2)						720 (59)	

※ ( ) 内は女性

8 分団別年齢状況

分団	20歳未満	20歳以上	25歳未満	25歳以上	30歳未満	30歳以上	35歳未満	35歳以上	40歳未満	40歳以上	45歳未満	45歳以上	50歳未満	50歳以上	55歳未満	55歳以上	60歳未満	60歳以上	実員
団本部				1 (1)										1 (1)	3 (3)	9 (5)			14 (10)
朝倉		2		3				1	3		6	7			1		6		29
鴨田								1	4 (1)		1	6			1		2		15 (1)
旭		3							2 (1)		6 (2)	2			1		2		16 (3)
鏡						3	3		2 (1)		3	8 (1)			4		8		31 (2)
上街		1				1	2		2		5	3 (1)			1		2		17 (1)
小高坂				1		1			3		1	1 (1)			7 (3)		8		22 (4)
高知街		1				1			2		1	3					2		10
北街				1				1	1		2	2 (1)					5 (2)		12 (3)
江ノ口	1	1				2	3		5		7 (4)	2 (1)			1		1		23
初月		1						2	4 (1)		3	7			5		4		26 (1)
下知				3 (1)				1 (1)			4 (1)	3			1		1		13 (3)
秦						1	2		2		5	7			2		4		23
一宮								1	6		8 (1)	4 (1)			1		19		39 (2)
土佐山						2	1		2		9	6			6		4		30
五台山						1			6		6	1					5		19
三里				2				7	6		2	6 (1)			4		10		37 (1)
介良				1				2	4		4				3 (1)		4 (3)		18 (4)
布師田								2	3		3	5			2		6		21
高須		1		3				1			1	1			4		5		16
大津								2	5		2	4			1		6 (2)		20 (2)
南街								2	3		3	2			5		9		24
潮江		2				1 (1)	1		3		5 (1)	6 (2)					2		20 (4)
港						1			1		2	5			4 (1)		2		15 (1)
長浜								4	3 (1)		2	5			2		3		19 (1)
横浜		1 (1)				3			1		3 (2)	2			1		6 (1)		17 (4)
浦戸				1		1	1		2		2	1			3		4		15
御豊瀬		1 (1)		1		1					8 (2)	2			1		3		17 (3)
南部						1	7 (3)		1		1	3			1		1		15 (3)
春野北								6	3		5	7			6		2		29
春野東									5		11	6			7				29
春野中		1		2				1	6		8	5			5 (1)		1		29 (1)
春野西				2		3	2		4		4	3			3				21
春野南						1	4		3		2	7			1		1		19
合計	1	15 (2)	21 (2)	24 (1)	60 (4)	97 (5)	135 (13)	133 (10)	87 (9)	147 (13)	720 (59)								

\*平均年齢 全体50.17歳 男性50.13歳 女性50.61歳

※ ( ) 内は女性

9 階級別年齢状況

	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合計
20歳未満							1	1
20歳以上～25歳未満							15 (2)	15 (2)
25歳以上～30歳未満							21 (2)	21 (2)
30歳以上～35歳未満					1		23 (1)	24 (1)
35歳以上～40歳未満				1	1	6	52 (4)	60 (4)
40歳以上～45歳未満			1	1	4	6	85 (5)	97 (5)
45歳以上～50歳未満				1	14 (1)	16 (1)	104 (11)	135 (13)
50歳以上～55歳未満			4	8	16 (1)	21 (1)	84 (8)	133 (10)
55歳以上～60歳未満			5	8	14 (2)	11 (2)	49 (5)	87 (9)
60歳以上	1	4 (1)	24 (1)	15 (1)	27 (2)	17 (1)	59 (7)	147 (13)
合計	1	4 (1)	34 (1)	34 (1)	77 (6)	77 (5)	493 (45)	720 (59)

※ ( ) 内は女性

10 階級別勤続年数状況

	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合計
5年未満					2	3 (0)	113 (16)	118 (16)
5年以上10年未満					1	9 (2)	98 (12)	108 (14)
10年以上15年未満				5	6	9	95 (8)	115 (8)
15年以上20年未満			1		7 (1)	16 (1)	62 (3)	86 (5)
20年以上25年未満			3	3	14 (1)	20 (2)	59 (5)	99 (8)
25年以上30年未満			8 (1)	10 (1)	24 (3)	13	30 (1)	85 (6)
30年以上35年未満		1 (1)	8	10	10 (1)	2	17	48 (2)
35年以上40年未満		1	6	4	10	2	10	33
40年以上	1	2	8	2	3	3	9	28
合計	1	4 (1)	34 (1)	34 (1)	77 (6)	77 (5)	493 (45)	720 (59)

※ ( ) 内は女性

11 実員及び平均年齢の推移

	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実員数	795	772	753	734	720
充足率 (定数：900人)	88.3%	85.8%	83.7%	81.5%	80.0%
入団者数	32	10	33	29	
退団者数	52	31	53	45	
平均年齢	48.75	49.10	49.46	50.00	50.17

入退団者数については、当該年度（4月1日～翌年3月31日）の人数

実員数は4月1日の入団者数を含んだ人数のため実員数の差と入退団者数の差は一致しない場合がある

## 12 ポンプ車配置状況

区分 分団名	登録番号	車名	登録年度	ポンプの種類	ぎ装 メーカー
朝 倉	830 た 101	トヨタ	平成 25	2段バランスタービン	ドライ
鴨 田	830 さ 201	トヨタ	平成 23	2段バランスタービン	日 機
旭	800 や 3	日 野	平成 28	2段バランスタービン	日 機
鏡	832 ひ 119	日 野	平成 20	2段バランスタービン	G M
上 街	830 さ 501	トヨタ	平成 24	2段バランスタービン	吉 谷
小 高 坂	800 さ 3275	いすゞ	平成 14	2段バランスタービン	日 機
高 知 街	832 ら 119	日 野	平成 21	2段バランスタービン	小 川
北 街	800 さ 1925	いすゞ	平成 12	2段バランスタービン	モリタ
江 ノ 口	800 ら 119	トヨタ	令和 4	2段バランスタービン	モリタ
初 月	800 さ 2536	いすゞ	平成 13	2段バランスタービン	モリタ
下 知	830 つ 33	トヨタ	平成 26	2段バランスタービン	長 野
秦	832 は 119	日 野	平成 20	2段バランスタービン	G M
一 宮	800 さ 801	いすゞ	平成 11	2段バランスタービン	吉 谷
土 佐 山	830 さ 1401	トヨタ	平成 23	2段バランスタービン	日 機
五 台 山	830 さ 1501	トヨタ	平成 23	2段バランスタービン	日 機
三 里	830 せ 1601	トヨタ	平成 24	2段バランスタービン	吉 谷
介 良	830 さ 1504	日 野	平成 28	2段バランスタービン	日 機
布 師 田	830 さ 1801	トヨタ	平成 25	2段バランスタービン	ドライ
高 須	830 な 2021	トヨタ	令和 3	2段バランスタービン	吉 谷
大 津	800 さ 8200	日 野	平成 28	2段バランスタービン	日 機
南 街	800 さ 802	いすゞ	平成 12	2段バランスタービン	吉 谷
潮 江	800 さ 3276	いすゞ	平成 15	2段バランスタービン	日 機
港	830 す 3710	トヨタ	平成 26	2段バランスタービン	長 野
長 浜	830 さ 2401	トヨタ	平成 24	2段バランスタービン	吉 谷
横 浜	800 さ 8955	いすゞ	令和 元	2段バランスタービン	モリタ
浦 戸	800 さ 1924	いすゞ	平成 12	2段バランスタービン	モリタ
御 豊 瀬	830 ち 911	日 野	平成 28	2段バランスタービン	日 機
南 部	801 せ 888	日 野	平成 30	2段バランスタービン	G M
春 野 北	830 す 2016	日 野	平成 27	2段バランスタービン	G M
春 野 東	800 さ 5123	三 菱	平成 19	2段バランスタービン	小 川
春 野 中	800 さ 8362	トヨタ	平成 29	2段バランスタービン	小 川
春 野 西	800 さ 4710	日 野	平成 18	2段バランスタービン	小 川
春 野 南	830 せ 373	トヨタ	平成 29	2段バランスタービン	小 川
団本部予備車	800 さ 568	いすゞ	平成 11	2段バランスタービン	吉 谷
春野予備車	88 す 6020	ニッサン	平成 10	2段バランスタービン	小 川

13 ポンプ車以外の車両配置状況

所 属	区 分	登録番号	車 名	登録年度	用 途
団 本 部		801 ゆ 1	ト ヨ タ	平成 25	指 揮 広 報 車
団 本 部		1 こ 3234	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 3235	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 3236	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 4338	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 4339	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 4340	ヤ マ ハ	平成 15	消防活動用二輪車
団 本 部		1 こ 530	ス ズ キ	平成 13	消防活動用二輪車
鏡		832 な 119	い す ゞ	平成 19	水槽付小型動力消防ポンプ積載車
土 佐 山		832 に 119	い す ゞ	平成 19	水槽付小型動力消防ポンプ積載車
朝 倉 (行川)		800 さ 2765	マ ツ ダ	平成 14	小型動力消防ポンプ積載車
鏡		830 さ 2771	ト ヨ タ	令和 元	小型動力消防ポンプ積載車
初月 (円行寺)		830 す 1003	ト ヨ タ	平成 24	小型動力消防ポンプ積載車
一 宮 (薊野)		883 あ 1303	ダイハツ (軽)	平成 24	小型動力消防ポンプ積載車
一 宮 (久重)		830 さ 2015	ト ヨ タ	平成 26	小型動力消防ポンプ積載車
土 佐 山		830 せ 1403	ト ヨ タ	令和 元	小型動力消防ポンプ積載車
土佐山 (西部)		830 す 1402	ト ヨ タ	平成 28	小型動力消防ポンプ積載車
三里 (種崎)		800 さ 8235	ト ヨ タ	平成 28	小型動力消防ポンプ積載車
三里 (砂地)		80 あ 683	ホンダ (軽)	平成 13	小型動力消防ポンプ積載車
三里 (吹井)		883 あ 1605	三 菱 (軽)	平成 24	小型動力消防ポンプ積載車
介 良 (西部)		880 あ 640	ダイハツ (軽)	平成 25	小型動力消防ポンプ積載車
介 良 (介良野)		883 あ 2022	ダイハツ (軽)	令和 3	小型動力消防ポンプ積載車
大津 (田辺島)		883 あ 1102	ダイハツ (軽)	令和 3	小型動力消防ポンプ積載車
春 野		88 す 2041	い す ゞ	平成 4	小型動力消防ポンプ積載車
旭		832 つ 119	ト ヨ タ	平成 18	人 員 搬 送 車
小 高 坂		88 に 1369	ト ヨ タ	平成 7	人 員 搬 送 車
北 街		800 さ 5178	ト ヨ タ	平成 10	人 員 搬 送 車
南 街		830 さ 373	マ ツ ダ	平成 19	人 員 搬 送 車
潮 江		88 す 6045	ト ヨ タ	平成 10	人 員 搬 送 車
春 野		88 す 2692	ト ヨ タ	平成 5	人 員 搬 送 車



14 小型動力消防ポンプ配置状況

所属	区分	購入(配置) 年 月 日	ポンプ名	級別
団本部1		平成 25 . 10 . 17	トーハツ	C 1
団本部2 (北署保管)		平成 30 . 9 . 11	シバウラ	D 1
朝倉分団		平成 19 . 7 . 27	ラビット	C 1
行川部		平成 10 . 2 . 20	ラビット	C 1
鴨田分団		平成 23 . 3 . 7	ラビット	C 1
旭分団		平成 29 . 2 . 23	トーハツ	C 1
鏡分団(水槽車)		平成 19 . 3 . 2	ラビット	B 3
鏡分団(水槽車)		平成 18 . 8 . 25	ラビット	C 1
鏡分団(1号車)		平成 29 . 8 . 23	トーハツ	C 1
鏡分団(積載車)		令和 2 . 3 . 27	トーハツ	B 2
鏡分団		平成 17 . 4 . 1	シバウラ	B 2
上街分団		平成 15 . 10 . 10	ラビット	C 1
小高坂分団		平成 17 . 10 . 15	ラビット	C 1
高知街分団		平成 14 . 8 . 9	ラビット	C 1
北街分団		平成 24 . 10 . 29	ラビット	C 1
江ノ口分団		令和 4 . 11 . 18	トーハツ	C 1
初月分団		平成 11 . 3 . 24	ラビット	C 1
円行寺部		平成 9 . 2 . 12	ラビット	C 1
下知分団		平成 13 . 7 . 31	ラビット	C 1
秦分団		平成 11 . 2 . 9	ラビット	C 1
一宮分団		平成 11 . 3 . 24	ラビット	C 1
薊野部		平成 20 . 12 . 2	ラビット	C 1
久重部		平成 27 . 3 . 20	トーハツ	C 1
土佐山分団(水槽車)		平成 19 . 3 . 2	ラビット	B 3
土佐山分団(水槽車)		平成 18 . 8 . 25	ラビット	C 1
土佐山分団(1号車)		平成 1 . 12 . 21	ラビット	C 1
土佐山分団(積載車)		令和 2 . 3 . 27	トーハツ	B 2
西部部		平成 29 . 8 . 10	トーハツ	B 2
五台山分団		平成 21 . 10 . 30	ラビット	C 1
三里分団		平成 23 . 3 . 7	ラビット	C 1
種崎部		平成 29 . 8 . 25	トーハツ	C 1
砂地部		平成 11 . 9 . 28	ラビット	C 1
吹井部		平成 12 . 8 . 28	ラビット	C 1
介良分団		平成 26 . 12 . 26	トーハツ	C 1
西部部		平成 26 . 12 . 26	トーハツ	C 1
介良野部		令和 4 . 3 . 30	トーハツ	C 1
布師田分団		平成 9 . 12 . 15	ラビット	C 1
高須分団		令和 3 . 12 . 16	トーハツ	C 1
大津分団		平成 27 . 11 . 9	トーハツ	C 1
田辺島部		令和 4 . 3 . 30	トーハツ	C 1
長崎部		平成 21 . 10 . 30	ラビット	C 1
南街分団		平成 23 . 11 . 1	ラビット	C 1
潮江分団		平成 19 . 7 . 27	ラビット	C 1
港分団		平成 26 . 12 . 26	トーハツ	C 1
長浜分団		平成 16 . 10 . 15	ラビット	C 1
横浜分団		令和 2 . 3 . 25	トーハツ	C 1
浦戸分団		平成 25 . 10 . 17	トーハツ	C 1
御畳瀬分団		平成 27 . 11 . 9	トーハツ	C 1
南部分団		平成 30 . 11 . 27	トーハツ	C 1
春野北分団(ポンプ車)		平成 29 . 2 . 23	トーハツ	B 2
春野北分団		平成 20 . 1 . 1	ラビット	B 2
春野北分団		平成 20 . 12 . 5	ラビット	C 1
春野東分団		平成 19 . 3 . 18	ラビット	B 2
春野中分団		平成 24 . 9 . 2	トーハツ	B 2
春野西分団		平成 18 . 3 . 13	ラビット	B 2
春野南分団		平成 29 . 11 . 28	トーハツ	B 2
団本部3 (初月保管)		平成 11 . 6 . 30	ラビット	C 1
団本部4 (春野保管)		平成 15 . 10 . 10	ラビット	C 1
団本部5 (春野保管)		平成 13 . 7 . 30	トーハツ	B 2

15 団員報酬及び出動手当一覧表

区分 年度	報酬 (年額 : 円)							費用弁償 (1人1回 : 円)	
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	災害・警戒出動	その他の出動訓練等
令和元年度	139,000	93,000	66,000	39,500	32,500	31,500	30,500	5,800	3,700
令和2年度									
令和3年度									

※ 平成11年10月1日改正 出動等が連続して8時間を超える場合は、8時間をもって1回とみなす。

区分 年度	報酬 (年額 : 円)							出動報酬 (円) (1人1日) ※1日を8時間とする	
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	災害出動等	訓練等
令和4年度	139,000	93,000	70,000	45,500	37,000	37,000	36,500	8,000	6,000 ※4時間以内は4,000
令和5年度									

※ 令和4年4月1日改正

16 消防団運営交付金等一覧表 (当初予算)

区分 年度	消防団本部・分団運営交付金 (円)	消防出初式交付金 (円)	年末警戒交付金 (円)
令和元年度	16,813,200	608,000	610,000
令和2年度	17,110,800	627,000	615,000
令和3年度	16,948,800	627,000	615,000
令和4年度	16,948,800	627,000	615,000
令和5年度	16,858,800	627,000	615,000

17 運営交付金内訳

種別	合計額 (円)	項目	金額 (円)	備考
消防団本部・分団運営交付金	16,858,800円	団本部運営交付金	720,000円	60,000円×12か月
		福祉共済	2,310,000円	3,000円×770名
		交通費	1,200,000円	
		分団運営交付金	7,524,000円	19,000円×33分団×12か月
		自動車管理費	4,356,000円	11,000円×33分団×12か月
		小型ポンプ管理費	748,800円	5,200円×12部×12か月
消防出初式交付金	627,000円		627,000円	19,000円×33分団
年末警戒交付金	615,000円		615,000円	15,000円×33分団
				10,000円×12部

18 過去5年間の分団別火災出動状況(誤報含む。団長・副団長の出動回数及び出動人員を除く。)

区分 分団別	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	出動回数	出動人員数	出動回数	出動人員数	出動回数	出動人員数	出動回数	出動人員数	出動回数	出動人員数
朝倉	4	37	4	34	9	71	7	48	10	107
鴨田	7	58	5	42	7	60	8	63	13	115
旭	7	92	9	121	10	121	8	88	14	147
鏡	3	25			1	6	2	29	2	20
上街	8	98	11	124	8	90	8	94	14	141
小高坂	5	69	12	158	3	41	4	41	7	89
高知街	4	14	7	34	6	29	3	12	6	25
北街	8	39	8	42	16	94	5	22	12	55
江ノ口	4	12	10	54	9	57	5	24	7	57
初月	3	33	8	76	1	12	4	19	3	34
下知	6	39	5	24	14	48	6	23	9	31
秦	3	20	9	72	3	23	1	5	7	48
一宮	4	56	2	24	2	18	1	11	4	46
土佐山	1	7			1	12	2	16	5	35
五台山	3	14	1	3	4	24	1	4	6	33
三里	3	33	2	16	6	62			6	78
介良	2	8	2	13	3	15	4	24	4	19
布師田	3	20	4	27	2	16			3	22
高須	3	15	2	14	7	29	4	21	6	30
大津	4	32	2	21	3	24	4	30	5	29
南街	8	63	13	85	18	133	2	23	9	48
潮江	5	39	9	81	12	130	4	27	6	52
港	4	26	7	73	5	36	1	10	2	18
長浜	4	34	3	22	6	61	1	8	3	29
横浜							2	14	1	9
浦戸	6	31	3	17	5	19			5	22
御豊瀬	1	12	1	10			1	2	1	6
南部	7	59	2	16	6	40	1	7	4	26
春野北	3	62			1	23	1	23	3	36
春野東	3	45			3	27			1	24
春野中	2	61	2	30	3	86	2	43	1	22
春野西	2	18			1	6	4	41	1	12
春野南	1	13			2	10	4	43	2	28
合計	131	1,184	143	1,233	177	1,423	100	815	182	1,493

## 19 消防団出動状況

区分	火災 (誤報含む)	風水害等の 災害	演習・訓練等	広報・指導	特別警戒	捜索	合計
件数	56		375	1		1	433
延人員	1,521		4,411	6		5	5,943

## 20 消防団出動件数の推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災 (誤報含む)	37	40	49	32	56
風水害等の災害	1		2		
演習・訓練等	171	75	206	140	375
広報・指導		90	23	3	1
特別警戒	2	23			
捜索	2	1	2	1	1
合計	213	229	282	176	433

## 21 過去5年間の団員公傷取扱状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
火災現場				1	
訓練中	2	1		1	1
作業中	1				
その他		1			
合計	3	2		2	1

## 22 消防団の装備

名称		数量等	備考
消防 機材	水槽付小型動力消防ポンプ積載車	2	鏡・土佐山
	消防ポンプ自動車	35	CD I 型
	小型動力ポンプ積載車	14	鏡・土佐山・春野 外11部
	小型動力ポンプ（車載を含む）	59	D1級：1台・C1級：45台・B2級：11台・B3級：2台
	団本部指揮広報車	1	
	人員搬送車	6	旭・小高坂・北街・南街・潮江・春野
	ボートトレーラー	1	春野南
	ボート	43	ゴムボート33艇（船外機付31艇）・FRP船外機付1艇・FRP折りたたみ式9艇
	緊急消防自動二輪車（赤バイ）	7	
連絡 器具	携帯型移動無線装置	134	団本部，各分団及び赤バイ
	無線受令機	41	
	デジタルトランシーバー	307	
	車載型移動無線装置	51	団本部車両・各分団車両及び予備車
救助 用資 機材 等	防火服一式	389	執行部，各分団10着，各部5着
	エンジンカッター	61	
	ジャッキ	33	災害救助用エアジャッキ
	油圧切断機	1	
	救命胴衣	875	
	チェーンソー	2	
貸与 品	制服一式	全団員	
	短靴・バッグ	女性団員	
	活動服一式	全団員	
	安全靴	全団員	
	アポロキャップ	全団員	
	雨衣	全団員	
	水防用ヘルメット・ヘッドライト	全団員	
	耐切創性手袋	全団員	
	防塵メガネ	全団員	
	防塵マスク	全団員	



.....  
参 考  
.....

# 四国四県県庁所在地消防現勢等比較

## 1 市 勢

令和5年4月1日

	面積 (k m <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)
松山市	429.35	254,292	502,052
高松市	375.65 ( 561.18 )	202,311 ( 224,427 )	419,628 ( 470,228 )
徳島市	191.52	122,002	247,978
高知市	309.00	164,077	317,639

( ) 受託含む。

## 2 消防職員の状況 (消防学校入校生, 国・県等への派遣職員, 救命士研修中職員, 再任用職員除く)

令和5年4月1日

	定数	階 級 別 実 員									計
		消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	その他	
松山市	502	1	7	14	41	133	169	48	33		446
高松市	500	1	4	18	30	134	187		93		467
徳島市	260	1	4	11	33	76	77	4	46		252
高知市	369	1	5	10	39	120	91		92	2	360

## 3 職員一人当たりの現況

令和5年4月1日

	面積 (k m <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)
松山市	0.96	570	1,125
高松市	0.80 ( 1.20 )	433 ( 480.57 )	899 ( 1,006.91 )
徳島市	0.76	484	984
高知市	0.86	456	882

( ) 受託含む。

## 4 一般予算と消防予算

令和5年4月1日

	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	消防予算の比率 (%)
松山市	207,770,000	6,722,605	3.2
高松市	168,900,000 ( 192,249,300 )	5,507,982 ( 6,323,700 )	3.3 ( 3.3 )
徳島市	107,710,000	3,125,949	2.9
高知市	148,500,000	5,394,240	3.6

( ) 受託含む。



5 一般予算と消防予算の市民負担

令和5年4月1日  
(単位：円)

	一 般 予 算		消 防 予 算	
	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり
松山市	817,053	413,842	26,437	13,390
高松市	834,853 ( 856,623 )	402,499 ( 408,843 )	27,225 ( 28,177 )	13,126 ( 13,448 )
徳島市	882,854	434,353	25,622	12,606
高知市	905,063	467,512	32,876	16,982

( ) 受託含む。

6 消防車両の現況

令和5年4月1日

		普	水	多	は	ス	化	救	水	電	指	作	救	火	積	広
		ン	ポ	ポ	し	ス	学	急	槽	源	揮	業	助	災	載	報
		通	付	的	ご	ケ	車	車	車	照	車	車	工	調	防	車
		車	車	車	車	ル				明			作	査	ポン	車
										車			車	車	プ	
松山市	常備	10	9		4	1	2	19	6		5		4	1	4	2
	非常備	24													89	
高松市	常備	15	6		3		2	19	1	1	5	8	2	1		11
	非常備	58							1		1				46	
徳島市	常備	8	3		1	1	1	11	2		5		2			6
	非常備	19													5	
高知市	常備	13	12	1	2		1	17	2		2	3	4			4
	非常備	35									1				16	

		起	支	そ	計
		震	援	の	
		車	車	他	
松山市	常備	1	1	26	95
	非常備				113
高松市	常備		2	12	88
	非常備			3	109
徳島市	常備		1	26	67
	非常備				24
高知市	常備		1	16	78
	非常備			6	58

## 7 消防団の現況

令和5年4月1日

		団	副	分	副	部	班	団	計
		長	団	団	分	長	長	員	
松山市	定数	1	12	41	41	142	327	1,987	2,551
	実員	1	12	41	41	137	320	1,912	2,464
高松市	定数	1	8	35	81	148	314	1123	1,710
	実員	1	8	35	81	144	300	767	1,336
徳島市	定数	1	5	19	38	50	69	492	674
	実員	1	5	19	38	50	69	479	661
高知市	定数	1	5	34	34	77	77	672	900
	実員	1	4	34	34	77	77	493	720

## 8 消防無線の現況

令和5年4月1日

	超短波無線		
	基地局	移動局(車載)	携帯局
松山市	4	81	携帯197 署活224
高松市	3	172	携帯183 署活118
徳島市	1	74	携帯91 署活124
高知市	1	128	携帯241 署活68

## 9 火災状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	火災件数	損害額	建物火災	
			1件あたり焼損床面積	1件あたり損害額
松山市	128件	183,460千円	30.32 m <sup>2</sup>	1,975千円
高松市	172件	286,151千円	53.13 m <sup>2</sup>	3,980千円
徳島市	83件	88,860千円	33.14 m <sup>2</sup>	1,656千円
高知市	101件	282,556千円	69.88 m <sup>2</sup>	4,115千円

## 10 救急状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	救急出動件数	搬送件数	搬送人員	1日平均出動件数	市民1人あたりの出動件数
松山市	28,390件	25,868件	26,026人	77.78件	0.057件
高松市	25,263件	21,737件	21,828人	69.21件	0.060件 (0.054)
徳島市	11,749件	10,445件	10,511人	32.19件	0.047件
高知市	20,432件	18,122件	18,183人	55.98件	0.064件

( ) 受託含む。

高知市消防年報

第73号

令和5年7月印刷発行

高知市消防局総務課編さん